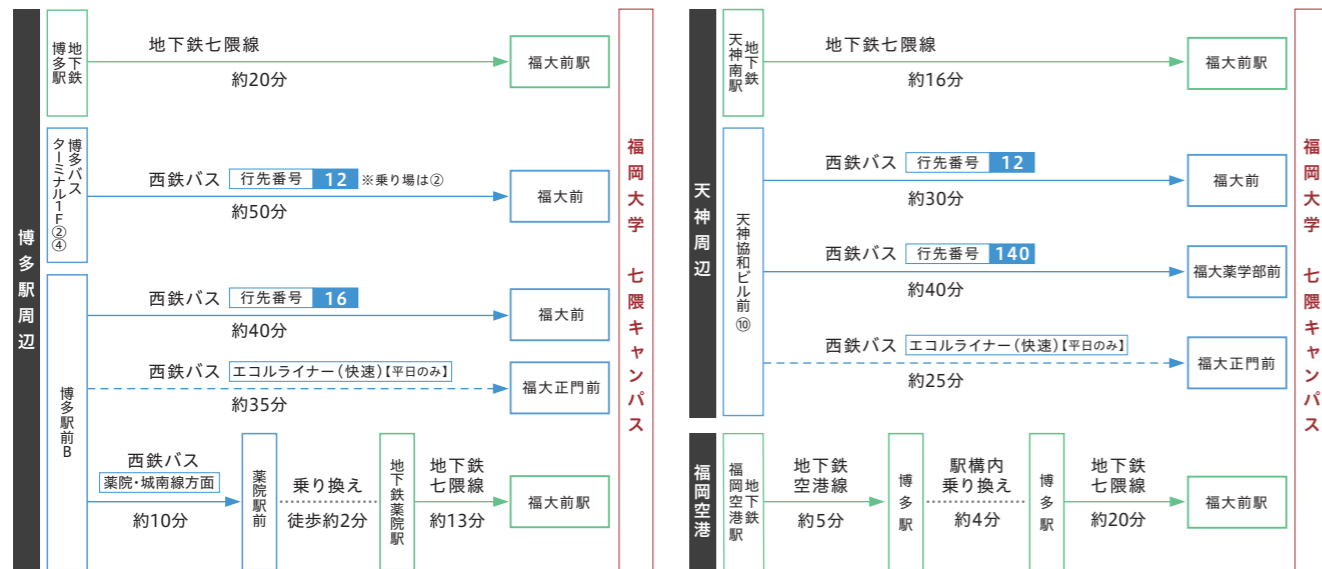


# 福岡大学アクセスマップ



## 交通案内



※時間帯によって交通混雑が予想されますので、所要時間は目安としてください。  
 ※バスの行先番号が同じでも行先が異なる場合がありますので、バス正面の行先(経由地)をご確認ください。  
 ※公共交通機関の運行状況に変更が生じる場合があります。最新の情報については、以下ウェブサイト等からご確認ください。  
 ●地下鉄に関する情報……福岡市交通局 <https://subway.city.fukuoka.lg.jp/>  
 ●バスに関する情報……西鉄バス <http://www.nishitetsu.jp/bus/>

### 【高速道路】

**唐津方面からの場合**  
 西九州自動車道(福岡前原道路)から都市高速道路環状線に入ります。野芥ランプで降りた後、福大トンネル出入口の手前を右折し、梅林中学校入口を左折します。500mほど直進した後、福岡大学病院東口交差点を直進します。

**北九州および福岡県外(大分・熊本方面など)からの場合**  
 九州自動車道の太宰府IC(インターチェンジ)から都市高速道路に乗り、月隈JCT(ジャンクション)を左折します。堤ランプで降り、国道202号線(福岡外環状道路)を2kmほど直進して福大トンネル出入口手前から右折し、福岡大学病院東口交差点を右に入ります。



Faculty of Humanities

# 福岡大学 人文学部

- 文化学科
- 歴史学科
- 日本語日本文学科
- 教育・臨床心理学科
- 英語学科
- ドイツ語学科
- フランス語学科
- 東アジア地域言語学科



人間・文化・世界・自身…。こだわり、好み、趣味。  
長い人生の4年間、  
そんなことを突きつめる時間があるといい。



# Understanding Humanity



※コロナ禍以前に撮影した写真や撮影時のみマスクを外した写真を含んでいます。

人間の知は膨大な文化遺産  
次の百年 この遺産をいかに生かすか  
この遺産に問いかけてみよう  
偉大な遺産はきっと答えてくれる  
それは喜ばしい知  
汲み尽くせぬほど深く  
心に触れる知

## Contents | 目次

学部長メッセージ	01
学科紹介	02
文化学科	04
歴史学科	10
日本語日文学科	16
教育・臨床心理学科	22
英語学科	28
ドイツ語学科	34
フランス語学科	40
東アジア地域言語学科	46
各種課程教育情報・主な就職先	52

### 個々の興味・関心に応じる、多様な学科構成

人文学部は、8学科で構成されています。その分野は、他の大学でいえば、文学部・外国語学部・教育学部などで扱う学問領域に当たります。特定の学科に所属して専門分野を学びながら、関連教育科目として他学科の授業が受けられるので、人文科学の幅広い研究分野に接することができます。

### 幅広い教養の修得(共通教育と専門教育のくさび)

人文学部は、学問の基幹となる分野を扱う学科から構成されています。そして、ゼミナールや卒業論文などの少人数教育によって専門分野について知見を深めていきます。しかし、その学問の基礎を確かなものにするには、人文科学以外の社会科学・自然科学などの諸領域の知見も欠かせません。

### 教育・航空業界をはじめ、多方面への就職を支援

人文学部では、大学全体の就職・進路支援に加え、学生が早い時期からキャリア形成を意識できるよう、エアラインセミナー等の学部独自のセミナーを実施しています。また同窓会の主催による就職支援セミナーや各種講演会を実施しており、学生が学部教育を通して身につけた能力を、社会の各方面で発揮できるように、きめ細かな支援をしています。

### 海外研修・留学・国際交流

人文学部は、外国語教育を重視し、第二外国語を選択必修にしています。そして、外国語学習を支援する制度として、海外研修や留学制度をカリキュラムの中に取り入れています。学科の多さを反映して、研修や留学先も多彩です。

## Message | 学部長メッセージ

### 人間を多様な視点から 理解する



人文学部長 関口 浩喜 SEKIGUCHI Hiroki

人文学とは、Humanitiesという英語が示すように「人間に関する様々な学問」という意味です。人間に関する様々な学問、それが人文学であり、それを学べるのが人文学部なのです。

人文学部は、文化学科、歴史学科、日本語日文学科、教育・臨床心理学科、英語学科、ドイツ語学科、フランス語学科、そして東アジア地域言語学科という、多様な8つの学科から構成されています。これら8学科に共通しているのは、「人間への関心」です。人文学部の8学科は「人間とは何か」という問いに、多様な視点からアプローチしています。この冊子に掲載されている各学科の紹介を読んでみてください。そこに必ずあなたの関心と一致する学科があるでしょう。

人文学部では「演習(ゼミナール)」と呼ばれる少人数科目が数多く開かれています。演習に参加することによって、専門的な知識を深めるだけでなく、自分の意見を明確に述べる力、相手の主張に耳を傾け理解する力を着実に格段に伸ばすことができます。このような力こそ、現代社会において求められている「コミュニケーション能力」に他なりません。人文学部の4年間で培ったコミュニケーション能力は、あなたが卒業後に社会で活躍するための基盤となります。

「受験勉強」が終われば、自分で思いのままに学ぶことができる自由な4年間という時間が待っています。皆さんと福岡大学人文学部で会えることを心待ちにしています。

## Three Policies | 三つのポリシー

### 人材養成の目的「三つのポリシー」

- アドミッション・ポリシー (AP) (入学受け入れの方針)
- カリキュラム・ポリシー (CP) (教育課程編成・実施の方針)
- ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針) を指します。

人文学部の詳細は以下のQRコードから(公式ウェブサイト)

▼ AP



▼ CP




▼ DP




# 学科内部のしくみ一覽


## 文化学科 Department of Culture

1年次	2 / 3 / 4年次	
基礎教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 哲学・倫理学</li> <li>● 宗教学</li> <li>● 芸術学・美術史</li> <li>● 社会学</li> <li>● 心理学</li> <li>● 地理学</li> <li>● 文化人類学・民俗学</li> </ul>	 <p>詳細は 04-09 ページへ</p>


## 英語学科 Department of English

1年次	2 / 3 / 4年次	
基礎教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 言語・コミュニケーションコース 英語学、スピーチ・コミュニケーション</li> <li>● 文化・文学コース イギリス文化・文学、アメリカ文化・文学</li> </ul>	 <p>詳細は 28-33 ページへ</p>


## 歴史学科 Department of History

1年次	2 / 3 / 4年次	
基礎教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本史</li> <li>● 東洋史</li> <li>● 西洋史</li> <li>● 考古学</li> </ul>	 <p>詳細は 10-15 ページへ</p>


## ドイツ語学科 Department of German

	1年次	2 / 3 / 4年次	
ドイツ語圏コース	基礎教育	専門教育	 <p>詳細は 34-39 ページへ</p>
ヨーロッパ特別コース	基礎教育	専門教育 (フランス語学科と一部共同授業)	


## 日本語日本文学科 Department of Japanese Language and Literature

1年次	2 / 3 / 4年次	
基礎教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本語学</li> <li>● 日本文学</li> <li>● 比較文学</li> </ul>	 <p>詳細は 16-21 ページへ</p>


## フランス語学科 Department of French

	1年次	2 / 3 / 4年次	
フランス語圏コース	基礎教育	専門教育	 <p>詳細は 40-45 ページへ</p>
ヨーロッパ特別コース	基礎教育	専門教育 (ドイツ語学科と一部共同授業)	

## 教育・臨床心理学科 Department of Education and Clinical Psychology

1年次	2 / 3 / 4年次	
基礎教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公認心理師トラック</li> <li>● キャリアデザイントラック</li> <li>● 学校教員トラック</li> </ul>	 <p>詳細は 22-27 ページへ</p>

## 東アジア地域言語学科 Department of East Asian Studies

1年次	2 / 3 / 4年次	
基礎教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中国コース</li> <li>● 韓国コース</li> </ul>	 <p>詳細は 46-51 ページへ</p>

# 文化学科

文化の総合的・多角的理解! 「哲学・倫理学」  
「宗教学」「芸術学・美術史」「社会学」  
「心理学」「地理学」「文化人類学・民俗学」。  
これら7領域を横断的に学びながら、  
現代社会が抱える課題の解決力を養う。

文化学科では、多様な価値観が共存する現代で活躍するための、広い視野と柔軟な発想力を併せもつ人材を育成します。祭りや儀礼、寺社仏閣、東西の思想、日本や海外の生活様式・都市デザイン、あるいは絵画や映画、アニメにマンガなどの「文化」、その「文化」を育む土壌である「社会」の構造やあるべき姿、そして、その「社会」で生きる「人間」の心のメカニズムや生きる意味に関心を持つあなたを、文化学科は待っています。

## 取得可能な主な資格

- 中学校・高等学校 教諭一種免許
- 博物館学芸員
- 社会教育主事
- 日本語教員
- 宗教文化士

福岡大学 人文学部 Webサイト >



## 求める人材像 (求める能力)

<b>A</b> 知識・理解	高等学校の教育内容を幅広く学修しており、文化の多様性を学ぶに十分な基礎学力を有している人
<b>B</b> 技能	学習や課外活動から得た経験を踏まえて、自らの視点で物事を順序立てて説明できる人
<b>C</b> 態度・志向性	本学科で学べる多様な文化の興味深さと有用性を理解し、その過程で得る知識や技能を社会のために積極的に活用したいと考えている人
<b>D</b> その他の能力・資質	自己研鑽によって英語の資格を取得した人やスポーツ活動などで顕著な成績をおさめた人

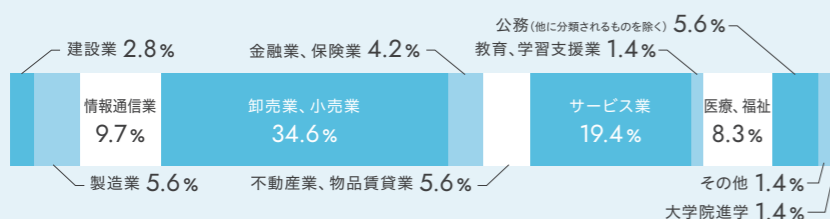
求める人材像 (求める能力) の詳細は



## 文化学科での4年間

1年次	2 / 3 / 4 年次	卒業後
<p><b>基礎教育</b></p> <p><b>基礎演習 I, II</b></p> <p>レポートの書き方、議論の仕方など、大学での学習方法を身に付ける。</p> <p><b>文化学科で学ぶ I, II</b></p> <p>学科全教員の講義を経験し、幅広い学問領域の考え方や視点の基礎を身に付ける。</p>	<p><b>専門教育・卒業論文・就職</b></p> <p><b>文化学演習 I, II, III, IV, V, VI</b></p> <p>「哲学・倫理学」「宗教学」「芸術学・美術史」「社会学」「心理学」「地理学」「文化人類学・民俗学」の7つの学問領域を専門とする教員のゼミから、自分に合ったテーマを選択。指導教員のきめ細かなサポートを受け、研究に取り組む。その集大成を「卒業論文」にまとめる。</p> <p><b>多彩な選択科目で、「深く」も「広く」も自由自在</b></p> <p>専門教育を「思想文化」「社会文化」「文化学共通」の3つの科目群から選択し、自分だけのカリキュラムを構成。人間・社会・文化に関する総合的・多角的かつ専門的な知識と視点を培う。</p>	<p><b>固定観念にとられない幅広い視野と柔軟な発想力を持つ人へ</b></p>

## 主な就職・進路先 (2022年度卒業生実績)



● 人文学部の主な就職先は [53ページ](#) >

## 在学生の声

「文化」を軸に、学びたい領域を自分で選択。  
自分の世界が広がり、目指す未来が見えてきた。

### Q1 この学科の魅力は？

文化を構成するさまざまな学問を学ぶことができます。入学前、芸術・民俗学・心理学に興味があった私は、どれか一つに絞るのではなく各分野に幅広く触れたいと思い、本学科を選びました。1年次からゼミに分かれ、興味のある領域に所属して活動します。文化を横断的に学ぶことで、「生きた知識」が身に付いたと感じます。

### Q2 好きな授業は？

古代から中世の芸術を学ぶ「西洋美術史」です。当時の書物の日本語訳を引用しながら、作品の時代背景や技法を学びます。それまであまり馴染みがなく見方が分からない西洋美術でしたが、聖書のどの場面が描かれているのか、どのような技法が使われているのかを知ることができ、美術館での作品鑑賞がよりいっそう楽しくなりました。

### 時間割 [2年次前期]

	MON	TUE	WED	THU	FRI
9:00	生涯スポーツ論	スペイン語ⅡA			
10:40		インターメディアイト・イングリッシュⅠ	西洋美術史	インターメディアイト・イングリッシュⅡ	司法・犯罪心理学
13:00	博物館概論	文化学演習Ⅰ	文化人類学特講		
14:40		哲学の基礎	芸術学入門		スペイン語ⅡB
16:20	理論社会学				

その他カリキュラムの詳細は >



仲西 奈名美さん

人文学部 文化学科 4年次生  
沖縄県 那覇国際高校出身

※2022年取材時の情報です。

## 卒業生の声

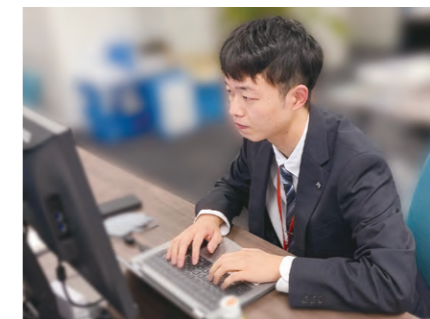
地理学ゼミで学んだフィールドワークが  
現地調査の仕事にそのまま生きている。

マンション開発に携わるディベロッパーとして、不動産業者を訪問して土地情報を入手し、その土地でどのくらいの規模のマンションが計画できるかを検討する仕事をしています。自分の仕事が「地図上に一生残る」という達成感を味わえる点に大きなやりがいを感じています。

本学科では2年次からゼミが始まり、早い段階から専門的な学習ができます。文化学演習(地理学ゼミ)ではフィールドワークを実施して、人口や交通機関、土地の高低差などを事前にチェックした後、現地で建物の種類や人流などを実際に自分の目で見て調査しました。学んだことは、土地の現地調査の仕事でまさに生かされています。

さまざまな分野の勉強ができるのが本学科の魅

力、それが理由でこの学科を選んだ友人も周りにたくさんいました。自分の将来像が定まっていなくても心配せずに飛び込んでみてください。



若林 優大さん (2022年卒業)

株式会社長谷工不動産  
開発事業部門 大阪支店 中四国開発部

※2022年取材時の情報です。

# 教員からのメッセージ

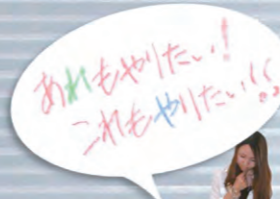
Department of Culture



文化学科HP

**磯田 則彦** 教授  
(人口研究)

世界には価値観や行動様式を異にするさまざまな人々がいます。私が担当する科目では、人口をキーワードに「現実世界の多様性」について考察します。



**植野 健造** 教授  
(芸術学・美術史・博物館学)

日常的な生活、人生の中で、知的な好奇心や精神的な慰安とともに、人間の可能性を開示して見せてくれるのがアート。その歴史と謎を学んでみませんか。



**浦上 雅司** 教授  
(西洋美術史)

私たちの周囲にはアートがあふれています。伝統的な絵画や彫刻だけではなく、家具や日用品の「見方」を学べば、私たちの生活はより豊かなものとなるでしょう。



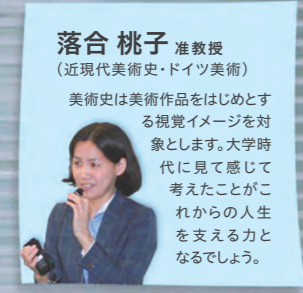
**大上 涉** 教授  
(認知心理学・犯罪心理学)

犯罪心理学を専門にしています。犯罪の原因を探る時、我々は犯人の心にその答えを求めようとしますが、それだけでは真の理解には至りません。その両側や生まれ育った環境、心の基盤にある生理的問題、その時の社会や経済の状況、文化や宗教などさまざまな要因を総合して見つめる必要があります。このような多角的・総合的に見る姿勢が文化学科で学べます。



**小笠原 史樹** 准教授  
(中世哲学・宗教哲学)

「人間が生まれてきたのは死ぬためではなく、新しく何かを始めるためである」と言われます。しかし、教科書の内容や教員の話は鵝呑みにしては、何かを始めることはできません。教員の言葉を安易に信じないでください。勿論、このメッセージも。

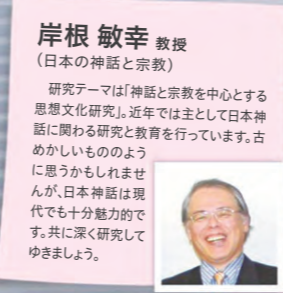


**落合 桃子** 准教授  
(近現代美術史・ドイツ美術)

美術史は美術作品をはじめとする視覚イメージを対象とします。大学時代に感じてきたことがこれからの人生を支える力となるでしょう。

**開田 奈穂美** 講師  
(社会学)

私たちが暮らす社会というのは、普段は目に見えず、触れることもできません。しかし確かに私たちの生活を支えているものです。コンビニ、家族、水道、学校など、身近なところから社会を捉え、考える訓練を一緒にやっていきましょう。



**岸根 敏幸** 教授  
(日本の神話と宗教)

研究テーマは「神話と宗教を中心とする思想文化研究」。近年では主として日本神話に関する研究と教育を行っています。古めかしいもののように思うかもしれませんが、日本神話は現代でも十分魅力的です。共に深く研究してゆきましょう。



**佐藤 基治** 教授  
(心理学)

心理学、心理学実験が専門です。日常を科学的・論理的に見ること考えることができる人間に成長してほしいと考えています。



**関口 浩喜** 教授  
(哲学)

大学での勉強は、自分で問いを見つけ、自分で答えを模索することが必要となります。文化学科で自分なりの問いと答えを見つけてください。



**高岡 弘幸** 教授  
(文化人類学)

日本文化はどのように変化していくのか? そもそも日本人とは何者なのか? そうした問題を、共に列島の各地を歩いて考えてみませんか。



**中村 未来** 准教授  
(中国哲学)

東アジアに大きな影響を及ぼした中国古代思想を中心に研究しています。竹筒や木簡(竹や木の札)に記された新出土文献の世界に皆さんをご案内します。



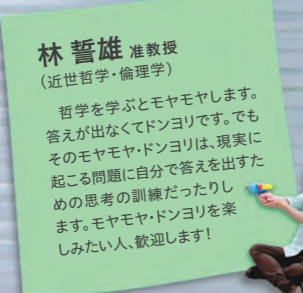
**中村 亮** 教授  
(文化人類学)

「常識への挑戦!」これが文化人類学のスローガンです(私は信じています)。文化人類学のメガネをかけて世界を眺めてみましょう。いろいろな文化的価値を知ることで、きっと、人生が豊かになるはずですよ!!



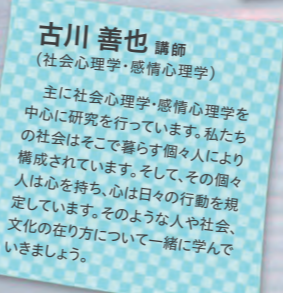
**縄田 健悟** 准教授(心理学)

社会心理学、特に集団を対象に研究しています。社会心理学は、人間が他者と関わり合いながら生きる社会生活を研究する、いわば人間関係の科学です。人間心理と行動を理解する視点と手法を、ぜひ一緒に学びましょう。



**林 誓雄** 准教授  
(近世哲学・倫理学)

哲学を学ぶとモヤモヤします。答えが出なくてドンヨリです。でもそのモヤモヤ・ドンヨリは、現実に起こる問題に自分で答えを出すための思考の訓練だったりします。モヤモヤ・ドンヨリを楽しみたい人、歓迎します!



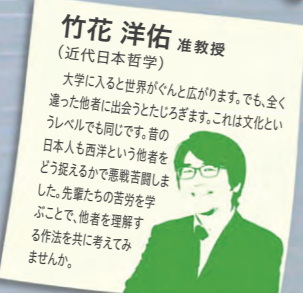
**古川 善也** 講師  
(社会心理学・感情心理学)

主に社会心理学・感情心理学を中心に研究を行っています。私たちの社会はそこで暮らす個人により構成されています。そして、その個人は心を持ち、心は日々の行動を規定しています。そのような人や社会、文化の在り方について一緒に学びましょう。



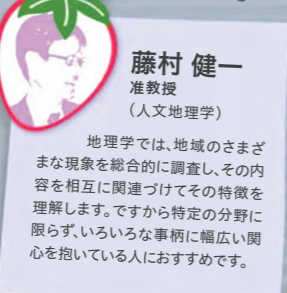
**平田 暢** 教授  
(数理社会学)

文化学科では、身近な疑問から社会について考えることができます。ペットは家族ですか? なぜ学歴が高いと有利なのですか?



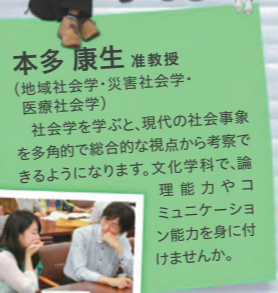
**竹花 洋佑** 准教授  
(近代日本哲学)

大学に入ると世界がぐんと広がります。でも、全く違った他者に出会うようになります。これは文化というレベルでも同じです。昔の日本人も西洋という他者をどう捉えるかで悪戦苦闘しました。先輩たちの苦闘を学ぶことで、他者を理解する作法を共に考えてみませんか。



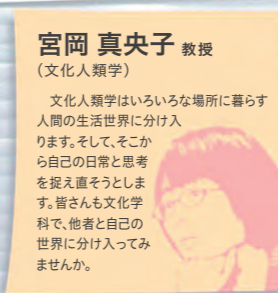
**藤村 健一** 准教授  
(人文地理学)

地理学では、地域のさまざまな現象を総合的に調査し、その内容を相互に関連づけてその特徴を理解します。ですから特定の分野に限らず、いろいろな事柄に幅広い関心を抱いている人におすすめです。



**本多 康生** 准教授  
(地域社会学・災害社会学・医療社会学)

社会学を学ぶと、現代の社会事象を多角的で総合的な視点から考察できるようになります。文化学科で、論理能力やコミュニケーション能力を身に付けませんか。



**宮岡 真央子** 教授  
(文化人類学)

文化人類学はいろいろな場所に暮らす人間の生活世界に分け入ります。そして、そこから自己の日常と思考を捉え直そうとします。皆さんも文化学科で、他者と自己の世界に分け入ってみませんか。



# 教員・研究の紹介

文化学科に所属している教員をご紹介します。 ※2023年4月1日現在

## 宗教学



**小笠原 史樹** 准教授  
専門分野  
「中世哲学」「宗教学」

西洋の宗教について思想的・哲学的に研究しています。中世ヨーロッパのキリスト教を中心に、他の宗教や神話、文学や映画、日本の古典などにも研究を拡大中です。



**岸根 敏幸** 教授  
専門分野  
「神話学」「宗教学」「仏教学」

研究テーマは「神話と宗教を中心とする思想文化研究」です。近年では特に日本の神話における諸問題を研究しています。

## 芸術学・美術史



**植野 健造** 教授  
専門分野  
「芸術学」「美術史」「博物館学」

日本近代美術史、特に黒田清輝、藤島武二を中心とした白馬会系の画家たちと、青木繁、坂本繁二郎など筑後地方生まれの画家たちの研究に意を注いでいます。



**浦上 雅司** 教授  
専門分野  
「芸術学」「美術史」

イタリアを中心とする近世(特に17世紀)の絵画と美術理論の関係を探っています。最近では、20世紀美術の多様性とその歴史的理解についても調査研究を進めています。



**落合 桃子** 准教授  
専門分野  
「芸術学」「美術史」

ドイツを中心とする西洋の近現代美術史を専門としています。ヨーロッパと日本・アジアの文化交流史についても調査研究を進めています。

## 心理学



**大上 渉** 教授  
専門分野  
「犯罪心理学」「認知心理学」

テロや異物混入事件など、さまざまな犯罪について、犯人の個人的属性や犯罪行動に着目して系統的に分析し、その犯罪の構造や特徴を明らかにする研究に取り組んでいます。



**佐藤 基治** 教授  
専門分野  
「認知心理学」「交通心理学」

もの見方、見え方に関心があります。それを自動車運転時の人間の行動と関連付けて研究しています。



**縄田 健悟** 准教授  
専門分野  
「社会心理学」「集団力学」「組織心理学」

集団の光と影をテーマとしています。影の側面として集団暴力や集団間紛争、光の側面として組織におけるチームワークを研究しています。



**古川 善也** 講師  
専門分野  
「社会心理学」「感情心理学」

人の善悪に関連した心理や行動をテーマにしています。道徳や規範に反した際に生じる感情による行動の修正や道徳や規範を守ることに対する認知的正当化による影響を研究対象として扱っています。



## 文化人類学・民俗学



**高岡 弘幸** 教授  
専門分野  
「民俗学」「文化人類学」

日本各地で怪異・妖怪に関する伝承の調査を行い、経済統計などでは明らかにできない、人びとの「生活実感」を明らかにしようと奮闘しています。



**中村 亮** 教授  
専門分野  
「文化人類学」「地域研究」

アフリカ(タンザニア、スーダン)と日本(福井県、千葉県)の沿岸部で、漁民文化、里海・資源管理、文化遺産、地域振興などをテーマに文化人類学研究をしています。



**宮岡 真央子** 教授  
専門分野  
「文化人類学」

東アジアにおける文化とエスニシティについて調査研究。特に台湾の先住民を主対象とし、植民地経験・国民国家・人類学史との関係に主たる関心を持つ。

## 地理学



**磯田 則彦** 教授  
専門分野  
「人文地理学」「人口研究(人口移動研究・人口問題研究)」

先進諸国および発展途上諸国の両社会について研究してきましたが、とりわけ、少子高齢化の進展による人口減少と各社会の人口政策に関心があります。



**藤村 健一** 准教授  
専門分野  
「宗教地理学」「文化地理学」「歴史地理学」

これまで主に下記のテーマで研究をしてきました。/ 宗教分布/寺院と地域社会の関係の歴史的变化/宗教と自然環境の関係/宗教と観光の関係/信仰の場所としての世界遺産

## 社会学



**開田 奈穂美** 講師  
専門分野  
「社会学」

地域開発等の事業が、ときに大規模な環境変化を介して地域社会のありかたに変化をもたらす側面に焦点をあてて、環境と地域社会がどうやって存続しつづけるのかについて研究しています。



**平田 暢** 教授  
専門分野  
「数理社会学」

環境問題などに見られる社会的行為の意図せざる結果や、投票など社会的決定の研究をしています。仮説の構築方法にも関心があります。



**本多 康生** 准教授  
専門分野  
「医療社会学」「災害社会学」「社会問題論」

ケアや支援をキーワードに、社会学の立場から、東日本大震災・熊本地震など災害被災地の高齢者支援や民生委員活動、およびハンセン病問題の研究を行っています。

## 哲学・倫理学



**関口 浩喜** 教授  
専門分野  
「哲学」

哲学が私の専門です。ウィトゲンシュタインという不思議な哲学者に魅せられ、いまは「言葉が意味を持つ」という、当たり前の事実(哲学的な)関心を持っています。



**竹花 洋佑** 准教授  
専門分野  
「近代日本哲学」「哲学」

「近代日本哲学(京都学派)」の哲学の研究/近代日本における西洋哲学(ドイツ哲学を中心に)の受容史をめぐる研究/歴史・文化の哲学的考察



**中村 未来** 准教授  
専門分野  
「中国哲学(中国思想史)」「日本漢学」

主に新出土文獻(竹簡や帛書)を用いた中国古代思想史の研究を行っています。また、それらを受容した江戸期の日本漢学についても関心を持っています。



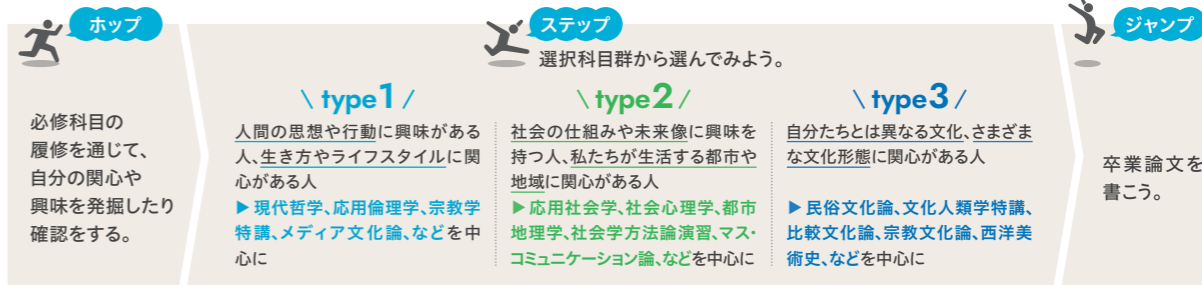
**林 誓雄** 准教授  
専門分野  
「倫理学」「近現代英米哲学」

18世紀スコットランドの哲学者デイヴィッド・ヒュームの思想を中心に、近現代の道徳哲学・倫理学を研究しています。

# 文化学科Q&A

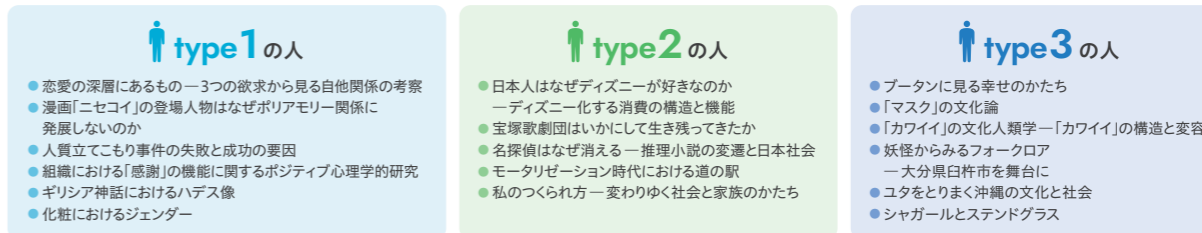
Q1 文化学科に入学したらどんな授業を受けることになるのでしょうか?

A1 文化学科でのあなたの4年間をおおよそ次のようにイメージしてみましょう。



Q2 先輩たちはどんな卒業論文を書いたのでしょうか?

A2 過年度に提出された卒業論文のタイトルを下に挙げてみましょう。



Q3 卒業後の進路は?

A3 学科の性格上、卒業後の進路も多様です。具体的には、一般企業に就職する人、在学中に教員の資格を取得して中学・高校の先生になる人、学芸員の資格を取得して専門職を目指す人、公務員試験に合格して官公庁に勤める人、あるいはもっと専門的に学びたくて福岡大学や他大学の大学院に進学する人たちもいます。どのような道を歩むにせよ、大学での4年間の過ごし方が、卒業後の進路に大きく影響することは言うまでもありません。

ひとりひとりに向き合う細やかな指導。  
専門性の高い「考える歴史」に  
取り組むことで、  
「過去」から「いま」の世界がみえてくる。

歴史学科で取り組むのは「考える歴史」です。日本史では古文書を、東洋史では漢文を、西洋史では欧文を読み解き、考古学では出土遺物等を調査して、情報収集・分析を行ったうえで研究発表を繰り返し、最終的には卒業論文を執筆します。専門性の高い学びですが、段階的に組まれたカリキュラムと丁寧な指導が4年間を支えます。また、学生参加型の授業や学会との連携など、充実した教育・研究環境がもたらすメリットも多々あります。卒業後はつちかった情報収集・分析力やプレゼン力をいかして、民間企業や公務員、教員など幅広い分野での活躍が期待されます。学芸員、研究者を目指して大学院に進学する人も増えています。

取得可能な主な資格

- 中学校教諭一種免許(社会)
- 高等学校教諭一種免許(地歴・公民)
- 学芸員資格
- 日本語教員

福岡大学 人文学部 Webサイト >



求める人材像(求める能力)

<b>A</b> 知識・理解	高等学校の教育内容を幅広く学修しており、歴史学を学ぶに十分な基礎学力を有している人
<b>B</b> 技能	問題点を発見し、それを他者に分かりやすく説明することが出来る人
<b>C</b> 態度・志向性	歴史学の高度な専門知識や幅広い教養をいかして社会で活躍したいと考える人
<b>D</b> その他の能力・資質	スポーツなどの課外活動で優秀な成績をおさめた人や、英語の資格を取得した人

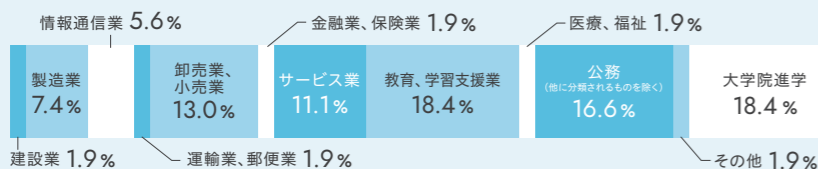
求める人材像(求める能力)の詳細は



歴史学科での4年間

1年次	2年次	3年次	4年次	卒業後
基礎教育	専門教育	専門教育	論文・就職	
<p><b>高校の「歴史学」から大学の「歴史学」へ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 歴史学入門演習(ゼミ) 少人数ゼミでレジュメづくりや発表、レポート作成に取り組み、情報の収集・整理・発信の手法を学びます。</li> <li>● 史学概論A・B さまざまな専門分野を持つ歴史学科の教員の講義を通じて、歴史学に必要な基礎知識や学問的な考え方を身に付けます。</li> <li>● 各概説科目 日本史・東洋史・西洋史・考古学に関する基本的な論点や知識を学びます。</li> </ul>	<p><b>調査・研究の能力を高める専門教育</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 基礎演習(ゼミ) 日本史・東洋史・西洋史・考古学の中から専修を選択し、専門的な学習に取り組んでいきます。基礎演習では各専門分野の論文を読んで発表を繰り返し、読解力とプレゼンテーション能力を高めます。</li> <li>● 原典講読・考古学方法論 原典講読では古文書や外国語文献の読み解き方を徹底的に学びます。考古学方法論では出土遺物や遺跡の調査方法について学びます。</li> </ul>	<p><b>専門性を深め、自分の研究テーマを探究する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 演習(ゼミ) 古文書や外国語文献を読み解き、研究課題をみつけてゼミ発表し、ディスカッションすることにより、課題発見能力や議論する能力を高めます。また、卒業論文の執筆に向けて、自分の研究テーマを探し、深めていきます。</li> </ul>	<p><b>4年間の集大成 卒業論文の執筆</b></p> <p>これまで学んできた知識や研究手法をいかして調査・研究を進め、自分で設定した研究テーマに関する知見を卒業論文にまとめ、データ収集・分析能力と論理的な思考力を養います。</p>	<p><b>4年間で培われた情報収集・分析力やプレゼン力をいかして、広範囲なフィールドで活躍できる人材に。</b></p> <p>高い専門性をいかし、教員や学芸員として活躍する卒業生も多い。</p>

主な就職・進路先(2022年度卒業生実績)



● 人文学部の主な就職先は [53ページ](#) >

在学生の声

歴史学とは、探求し、考える学問。  
身に付けた力は自分自身の糧となる。

Q1 この学科の魅力は？

大学の歴史学は暗記科目ではなく「自分で探求し、考える」学問だと思います。1年次に幅広い学問に触れるため、最初は研究テーマが見つからなくても、好きになるきっかけを見つけることができます。2年次からは、ゼミに分かれて研究やディスカッションを重ねていきます。学科での学びを通じて身に付いた人前で話すことや文章を構成する力は、どのような場面にも応用できるはずです。

Q2 好きな授業は？

「文化財学概論B」では、日本を中心にして世界の文化財のあり方を「保護」と「活用」の面から考えます。文化財の「活用」は、博物館学芸員課程においても大切な視点であり、広い視野を持って文化財を扱う必要があることを知りました。先生がトークを交えながら授業を進めてくださったので、毎回90分があっという間でした。



田村 優季 さん

人文学部 歴史学科 4年次生  
宮崎県 宮崎大宮高校出身

※2022年取材時の情報です。

🕒 時間割 [3年次後期]

	MON	TUE	WED	THU	FRI
9:00				日本史演習ⅢB	日本史特講B
10:40			博物館資料論		日本の文化と歴史B
13:00	博物館情報・メディア論				日本史演習ⅠB
14:40	西洋の文化と歴史B	博物館実習Ⅰ 歴史			
16:20	文化財学概論B	芸術B			

📄 その他カリキュラムの詳細は >



卒業生の声

将来の選択肢を増やすための  
多様な学びと経験ができる場所。

パイロットとして、国内や海外の空港へ飛行機を操縦して、お客さまを安全に目的地まで送り届ける仕事をしています。クルーと協力して計画立案や問題解決に取り組み、無事に目的地に到着できたときは達成感があります。

本当にパイロットになれるか不安で進路に迷っていた在学中、「大丈夫、君ならなれるよ」と言って優しく背中を押してくださったのが、日本近代史ゼミの先生でした。その言葉がとても心強かったのを、今でもよく覚えています。

「歴史」と聞くとも年号や歴史上の出来事をなぞるイメージを持つかもしれませんが、私も、小さい頃に祖父から戦時中の話をよく聞いていて、もっと深くこの時代について学びたいと歴史学科に進学した

一人です。しかし、学びの対象は想像以上に幅広く、進路もさまざまです。学生時代を振り返ると、小さな一歩を踏み出すことが大切だったように思います。多くのことを経験して、皆さんの将来の選択肢が増えていくことを願っています。



廣實 直樹 さん(2009年卒業)

全日本空輸株式会社  
フライトオペレーションセンター B787部

※2022年取材時の情報です。

# 日本史・東洋史・西洋史・考古学、専門性を高める4つの研究領域。

専門的な研究方法を学ぶために、2年次からは日本史・東洋史・西洋史・考古学の4専修からひとつを選択します。各専修は専門領域が異なるだけでなく、日々の学習にもそれぞれ個性があります。考古学は発掘や実測などを通じて学生と教員と一緒に実習する機会が多いです。日本史や東洋史は古文書や漢文をじっくり読み解く、いわば歴史学の「王道」。他方、西洋史では学生同士が歴史の現代性を意識し、活発にディスカッションを行います。

## 日本史専修

- 学びの内容
 

日本史の研究手法は当時の手紙や日記をじっくりと読み解き、その時に何が起きていたのかを正確に復元し、評価するというものです。授業では古文書の読解力と歴史的事象を把握する力を養います。3年次後期には自分のテーマを設定し、卒業論文に向けて研究を深めていきます。
- 昨年度提出された卒業論文のテーマ
  - ・中世における稚児の芸能と性愛
  - ・関ヶ原合戦後における西軍武将の浪牢
  - ・戦後久留米における軍用地利用と戦争関連碑分布



ゼミ旅行で史跡探訪。



古文書読解の授業風景。

## 西洋史専修

- 学びの内容
 

欧文で記された文献を読み解き、ヨーロッパやアメリカで発表されている研究論文や専門書を読み解く力を養います。また、過去の出来事やそれが発生した経緯が、今日のあり様にどのようにつながってきているのかを意識しつつグループワークを繰り返し、活発にディスカッションを行います。
- 昨年度提出された卒業論文のテーマ
  - ・ダンツィヒの商業政策と外来商人
  - ・第1次世界大戦における黒人兵士の従軍経験と黒人運動について
  - ・ドイツ帝国の形成と合唱協会



2・3年生合同での研究発表会。ゼミ合宿では登山もありました！



## 東洋史専修

- 学びの内容
 

福大歴史学科の東洋史では中国史研究を中心としますので、まず中国の編纂史料について扱える能力を培います。そのうえで、おもに王朝の官僚たちが記したその内容を批判的に検討できるよう、他の資史料との対照や先行研究の参照についても訓練を重ねます。3年次からは「卒論構想発表」を重ね、卒業論文執筆に向けて自らの研究にも取り組みます。
- 昨年度提出された卒業論文のテーマ
  - ・唐代におけるタンゴート
  - ・遼朝北面官制における著帳官について
  - ・宋代義荘の研究



ゼミ後にみんなで慰労会。



ゼミ旅行では海外に行くことも。

## 考古学専修

- 学びの内容
 

考古学は現在まで残っている物質資料から人類の歴史を復元する学問です。授業では、遺構や遺物を資料として用いることができるように、測量や実測なども行います。各地の遺跡や埋蔵文化財センター・博物館等をめぐって資料調査を行い、卒業論文に向けて研究を深めます。
- 昨年度提出された卒業論文のテーマ
  - ・石器組成から見た西北九州円筒形土器の編年観
  - ・律令期の製塩土器 一筑前国の焼塩土器を中心にー
  - ・高句麗壁画古墳と文化 一衿の変遷についてー



実習により調査能力を高めます。



専門書がならぶ考古学研究室。

## 歴史学科Q&A

- Q 歴史は好きだけど、就職は民間を希望。大丈夫？
 

A 歴史学科のゼミでは、課題設定・情報収集と整理・プレゼン・議論・文章化というプロセスを繰り返すことで、研究能力を高めます。でも、こういう能力って、どんな仕事にも求められるもの。4年間で育んだ能力をいかし、民間で活躍している先輩はたくさんいます。
- Q 学芸員資格はどうやったらとれるの？
 

A 卒業に必要な単位に加えて、学芸員資格取得課程の授業をブラサルファで受講する必要があります。博物館での実習もあります。また、分野にもよりますが、さらに専門的な知識や技能を身に付けるために、卒業後に大学院へ進学するケースも多くみられます。

- Q 教員になりたいが、歴史学科で学ぶメリットは？
 

A 中学校の社会科教員や高校の地歴科教員の免許は他の学部・学科でも取得できますが、歴史学科で専門的な知識や研究手法を身に付けておくと、いざ教壇に立った時に、教科書の内容をきっちり理解したうえで授業することができます。話題も豊富になりますよ。

- Q カリキュラムに入っているゼミってなに？
 

A 少人数で実施する発表中心の授業で、科目名では「演習」といいます。受講者はテーマについて調べ、レジュメ(発表資料)を作成してプレゼンテーションし、研究を深めます。他の受講生や教員と意見交換することで、コミュニケーション能力も高めます。

## 資格取得者 INTERVIEW (1)

**教員** 中学校の社会科教員、教壇に立ってわかったこと。 **Aさん**

教員になりたくて、中学校の社会と高校の地理歴史の教員免許を取得しました。教員免許をとるには教職科目を多く取らないといけませんが、実際に教壇に立ってみると、歴史学科で専門科目をしっかり勉強したことが役に立っています。



### 教員免許取得のための時間割サンプル [3年次]

	MON	TUE	WED	THU	FRI
9:00			地歴科教育法	地誌学	
10:40			西洋の文化と歴史	日本史特講	
13:00	欧米各国史	西洋史演習		西洋史特講	
14:40	東洋史特講	人文地理学			
16:20			社会科教育法	概説社会学	西洋史演習

## 資格取得者 INTERVIEW (2)

**学芸員** 考古学の学芸員を目指しています！ **Bさん**

高校までは考古学になじみはなかったのですが、専門の先生の授業が刺激的で、発掘や研究に興味を持ちました。ゼミの先輩には、卒業後すぐに発掘現場の仕事に就いた先輩もいますが、大学院で研究を続けている先輩もいます。私はどうしようかなあ。



### 学芸員資格取得のための時間割サンプル [3年次]

	MON	TUE	WED	THU	FRI
9:00					
10:40			博物館展示論	考古学演習	日本史特講
13:00		考古学演習	朝鮮史		
14:40	東洋史特講	博物館実習 I			
16:20	文化財学概論	博物館資料保存論		考古学特講	歴史学資料論

## 1. ゼミ研修旅行案内

歴史学科では専修ごとに、あるいはゼミごとに研修旅行が行われています。史跡や博物館を訪れ、現地・現物をこの目でみることにより知見を深めます。まさに「百聞は一見にしかず」の実践です。研修旅行を通じて教員や学生同士の親睦もはかれます。また、研究報告が中心のゼミ合宿を実施することもあります。

### これまでの行き先

- ・鎌倉 (日本中世ゼミ)
- ・京都 (日本中世ゼミ)
- ・広島 (日本近世・近代史ゼミ)
- ・沖縄 (日本近世・近代史ゼミ)
- ・台湾 (東洋史専修)
- ・タイ (東洋史専修)
- ・九重 (西洋史専修)
- ・阿蘇 (考古学専修)



アユタヤ(タイ)

## 2. 歴史学科を母体とする学会、七隈史学会

歴史学科には、教員・大学院生・学生・卒業生を中心に運営され、市民にも開かれた歴史学の学会「七隈史学会」があります。毎年秋に福岡大学キャンパスを会場に研究発表大会が開催され、学界をリードする研究者を招聘しての公開講演と、教員・大学院生・学生・卒業生による研究発表が行われています。歴史学科の学生にとっては、普段はなかなか聞くことのできない最新の研究成果に触れる貴重な機会になっています。

### 近年の公開講演のテーマ

- 2022年講演 藤原辰史氏「ナチスの食料戦争」
- 2021年講演 福岡良明氏「大衆教養主義の戦後史」
- 2020年講演 桃木至朗氏「東・東南アジア史の時代区分論に2020年をどう位置づけるか」
- 2019年講演 岡本隆司氏「世界史と中国史」
- 2018年講演 松田陽氏「考古学と市民をつなぐ地域の記憶」



# 教員紹介

※2023年4月1日現在



西谷 正浩 教授

**日本史** 専門分野  
「日本中世史」

専門は日本中世史です。日本の中世は、古代につながる古い社会と今日につながる新しい社会が交差した転換期です。現在、私たちは先行きのみえない転換の時代にいます。大転換を生き抜いた中世人の貴重な体験は、現代の私たちにも示唆を与えてくれます。



山田 貴司 准教授

**日本史** 専門分野  
「中世後期の地域権力論」

室町時代から安土桃山時代までの西国をフィールドに、アジアの諸地域やヨーロッパ勢力との交流も視野に入れつつ、地域権力(戦国大名や国衆)の政治・軍事・文化的動向を研究しています。この時期に特有のダイナミックな史的展開と一緒に解きあかしていきましょう。



梶原 良則 教授

**日本史** 専門分野  
「日本近世・明治維新史」

幕末維新期に力をつけ、やがて幕府を倒して近代国家の建設を行った西南雄藩を中心とした藩政改革(行政・財政・軍事改革や経済政策等)や西洋近代科学技術(近代的銃砲や蒸気軍艦等)の導入、外国の文物・情報を手に入れる窓口となった長崎の研究を行っています。



福嶋 寛之 教授

**日本史** 専門分野  
「昭和期の教育と国家」

昭和の戦争と教育の関わりについて研究してきました。最近では日本列島の外に視野を広げ、朝鮮・台湾・満洲国、ハワイ・アメリカ・ブラジルなど、海外で生まれ育つ日本人二世を日本国家がどのように統治しようとしたのかについて研究を進めています。



山根 直生 教授

**東洋史** 専門分野  
「中国唐・五代十国・宋代史」

中国の9～11世紀が専門です。「唐宋変革論」としての議論も多いこの時代を、現地調査の手法、軍事社会史・社会学からの知見を借りてとらえ直そうとしています。直近の研究課題は、宋代に多くの軍人が寄進して建立された河北省定州市開元寺塔の石刻資料です。



則松 彰文 教授

**東洋史** 専門分野  
「中国清代の社会と経済」

中国清代の研究をしています。私はとくに、18・19世紀の世界と中国という視角を大事にしています。西欧諸国のうち最もつながりの深い英国と清国の関係史を研究していますが、その際に、中国茶とインドアヘンは不可欠の要素です。これも世界史の醍醐味と言えます。



渡邊 裕一 准教授

**西洋史** 専門分野  
「中・近世ヨーロッパ史」

中・近世のヨーロッパ、とくに南ドイツの都市アウクスブルクを対象に、環境史、災害史、疫病史の視点から研究を進めています。災害やペスト流行など危機的な状況に直面した社会の対応に着目し、中・近世ドイツ都市に生きた人々の日常と非日常にアプローチしています。



森 丈夫 教授

**西洋史** 専門分野  
「初期アメリカ史」

アメリカ合衆国が独立する前の北米を専門としています。この時代は一般にイギリス人の移民に焦点が当たりますが、現在は広い視点から時代像を見直す研究が進んでいます。私は帝国という広域的な政治体制の動向と先住民-ヨーロッパ人の関係について研究しています。



福元 健之 講師

**西洋史** 専門分野  
「近代の医療・衛生史」

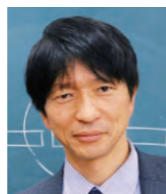
工業化した都市社会で、人間の身体をめぐる社会環境がどう変化したのかを考えています。いま一番興味があるのは、結核という病気を治療するためのサナトリウム施設がどこで、どのように機能したのかです。私たちの身体から歴史を深く理解することを目指しています。



古澤 義久 准教授

**考古学** 専門分野  
「東北アジアの先史文化」

韓国、北朝鮮、中国東北地区、ロシア沿海州といった東北アジアの新石器時代～青銅器時代の文化を研究しています。そして、それらの地域と縄文時代～弥生時代の九州の関係についても研究しています。また、戦国時代～清代の中国貨幣についても研究しています。



桃崎 祐輔 教授

**考古学** 専門分野  
「古代・中世の考古学」

古墳時代の馬具や騎馬文化、祭祀や酒造り、古代・中世の仏教考古学、日宋・日元貿易に関係する沈没船に積まれた鉄素材や陶磁器などを研究しています。みずから遺跡や遺物、研究テーマを見つけ出し、知的好奇心を追求する学生を求めています。厳しく学問を鍛えるので一緒に研究しましょう。



大重 優花 助手

**考古学** 専門分野  
「中近世の金工品」

卒業論文がきっかけで鐘を研究しています。普段は除夜の鐘等でしか見る機会はないですが、鐘や刻まれた銘文は歴史を雄弁に語ってくれます。考古学は、モノから人類の過去を研究する学問です。皆さんも夢になれるモノをみつけて、人類の歴史を明らかにしましょう。

# 歴史学科の年間スケジュール

4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>入学式</li> <li>科目登録／前期開始</li> <li>対面式・新入生歓迎会(1年次)</li> </ul> 	9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>後期開始</li> <li>七隈史学会大会 歴史学科を母体とする学会の研究発表会・講演会です。</li> </ul> 
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育実習 4年次の教員免許取得希望者の実習。時期は実習先によります。</li> </ul>	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>学園祭</li> <li>卒業論文構想発表 3年次のゼミ(専修)単位で実施。時期はゼミ(専修)によります。</li> </ul>
6月		11月	
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>前期終了／定期試験</li> <li>オープンキャンパス</li> </ul> 	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業論文提出(4年次)</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>博物館実習 4年次の学芸員資格取得希望者の実習。時期は実習先によります。</li> <li>ゼミ(専修)研修旅行・合宿 3～4年次のゼミ(専修)単位で実施。時期や行き先はゼミ(専修)によります。</li> <li>歴史学入門演習研修旅行(1年次)</li> </ul> 	1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>後期終了／定期試験</li> <li>卒業論文口頭試問(4年次) 提出した卒業論文について、指導教員の質疑に答える口頭試験です。</li> <li>卒業論文発表会 優秀な卒業論文の執筆者が、歴史学科の教員・学生の前で口頭発表します。</li> </ul> 
9月		2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>専修分け説明会(2年次) 自身の興味・関心に即して、2年次からの専修を選択します。</li> <li>ゼミ分け説明会(3年次) 自身の興味・関心に即して、3年次からのゼミ(卒業指導教員)を選択します。</li> </ul>
		3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業式(4年次)</li> </ul> 

## 歴史学科が刊行してきた歴史学の入門書

大学での学びを充実させるためのポイントは、暗記中心の「高校の歴史学」から、問いと考察を重視する「大学の歴史学」へのスムーズな移行です。これを支援するために、歴史学科ではこれまでに3冊の入門書を刊行しています。書店や図書館にあったら、ぜひ手にとってみてください。教科書に書いてあることは正しいの？書かれていない史実は不要なの？そんな問いかけから、学びははじまるのです！



福岡大学文学部歴史学科編 『歴史はおもしろい』 (西日本新聞社、2006年)



福岡大学文学部歴史学科編 『歴史はもっとおもしろい』 (西日本新聞社、2009年)



福岡大学文学部歴史学科編 『18歳からの歴史学入門』 (溪流社、2019年)

# 日本語日本文学科

広い視野で学ぶ  
日本語と日本文学を通して  
専門的知識と洞察力を備えた、  
豊かな人間性を持つ人材を育む。

私たちの文化、社会、生活の根幹となる日本語と、それにより表現された日本文学。日本語日本文学科では、全時代をカバーする教授陣によって、それらを体系的に学びます。また、充実した比較文学のカリキュラムは、「世界の中の日本」というより広い視野での研究を可能にしています。演習中心の少人数制授業を通して、日本語と日本文学の根幹を学び、専門的知識とともに、ものごとを深く考える力を備えた、豊かな自己の確立を目指します。

## 取得可能な主な資格

- 中学校・高等学校 教諭一種免許
- 日本語教員

福岡大学 人文学部 Webサイト >



## 求める人材像 (求める能力)

<b>A</b> 知識・理解	高等学校の教育内容を幅広く学修し、日本語学・日本文学を学ぶに十分な基礎学力を有している人
<b>B</b> 技能	学習や課外活動、幅広い読書経験をもとに、正確に物事を考え自らの言葉で表現できる人
<b>C</b> 態度・志向性	自らの日本語能力と日本文学の素養をさらに向上させ、積極的に生かしていこうとする人
<b>D</b> その他の能力・資質	自己研鑽により、英語の資格を取得した人やスポーツ活動・競技会等で顕著な成績をおさめた人

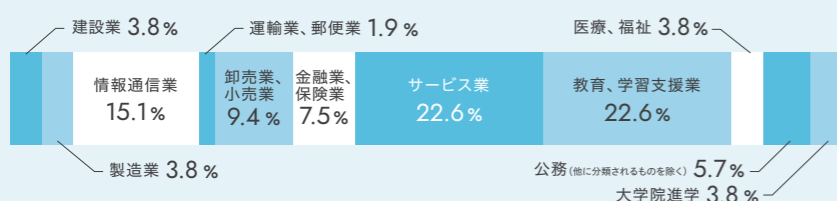
求める人材像  
(求める能力)  
の詳細は



## 日本語日本文学科での4年間

1年次	2年次	3年次	4年次	卒業後
基礎教育	専門教育	専門教育	論文・就職	
<b>基礎を学ぶ</b> 新入生はまず、「日本語日本文学基礎演習」で大学での学び方の基礎を身に付けます。「日本文学史」「日本語学概論」「日本文学概論」「比較文学概論」で学科のさまざまな専門分野の知識を得て2年次以降の専門教育の準備を行います。さらに「古典文学講読」で古典の基礎を学びます。	<b>基礎を学び、「調査研究法」で自らの興味、関心を発見する</b> 卒業論文を指導する10人の教員が、それぞれ調査研究法の授業を担当します。この授業を通じて、調査の方法、データの収集とその分析、書誌学や文献学の初歩、研究方法とその組立て方などを学びます。3年次の演習や4年次の卒業論文につながる重要な科目で、4科目以上履修しなければなりません。また、講読や日本語史などの基礎的な科目も1年次より引き続きカリキュラムに組み込まれています。	<b>ゼミに所属 一学生自らが主体的に考え、発表する演習</b> 調査研究法を担当した10人の教員は、それぞれ演習(ゼミ)を担当します。通常3年次は二つのゼミに所属しますが、授業は3年次と4年次の合併で行われ、学年を超えた縦のつながりが生まれます。自ら調べ、考え、まとめ、発表することによって、卒業論文のテーマを発見していきます。その他、各ジャンルの特講では、より深い専門的な講義が行われています。	<b>卒業論文</b> 3年次で履修したゼミの中から一つを選び、4年間の学習の成果として卒業論文を作成します。日本語日本文学科のカリキュラムは、この卒業論文に向けて組み立てられており、必修科目となっています。論文作成のために費やした多くの時間は、卒業後の貴重な思い出となることでしょう。	<b>教育をはじめ さまざまな分野で活躍できる人へ</b>

## 主な就職・進路先 (2022年度卒業生実績)



● 人文学部の主な就職先は [53ページ](#) >

## 在学生の声

日常にあふれる言葉全てが学問の対象。  
言葉と向き合う姿勢が大きく変化した。

### Q1 この学科の魅力は？

多くの文学作品に触れてその語彙や表現について考えたり、言語としての日本語がどのような特徴を持つか考察を重ねたりすることで、日本語をさまざまな視点から学ぶことができます。本学科で勉強を始めてから、日常にあふれる言葉が、日々、学問の扉として目の前に現れるようになりました。言葉と向き合う姿勢が大きく変わったと感じます。

### Q2 好きな授業は？

日本語教員を目指す人が受講する「日本語教育法Ⅱ」です。授業では、『『～しましょう』と『～しませんか』はどのように使い分けるか』などの問いが出され、自分の言葉で説明します。感覚的に理解できているはずなのに説明ができない苦しさ、毎回悩まされました。「話せる」と「説明できる」の間には大きな差があることを痛感した授業です。



河野 友希 さん

人文学部 日本語日本文学科 3年次生  
福岡県 城南高校出身

※2022年取材時の情報です。

## 時間割 [2年次後期]

	MON	TUE	WED	THU	FRI
9:00	生涯スポーツ論	中国語ⅡA	新しい地球観	漢文学講読Ⅱ	
10:40		インターミディエイト・イングリッシュⅡ		インターミディエイト・イングリッシュⅡ	
13:00		日本語Ⅱ	文化人類学B	古代語調査研究法	日本語教育法Ⅱ
14:40		現代語調査研究法	生涯学習概論B	古典文学講読Ⅲ	中国語ⅡB
16:20					特別支援教育論

その他カリキュラムの詳細は >



## 卒業生の声

日本語の価値を再確認し  
魅力を味わいながら研究する。

和歌について学ぶゼミでは、一首ずつ分析的に解読し、言葉の意味や使われ方、技法、表現の工夫、歌人、時代背景など細部まで突き詰めて研究しました。研究の手順や資料・データの扱い方を知り、一つの物事に真摯に向き合って極めることを学びました。この経験は、国語教師として働く今も、さまざまな場面で役立っている宝物です。

また、先生や友人など大学での多くの出会いと経験が、人間的な成長につながりました。先生方とは卒業後も関係が続いており、ゼミの先生からいただいた「人というのは、やるべきことを見つけた時に変わることができる」という言葉を今も忘れずに大切にしています。

言葉や文学は、私たちにとって非常に重要なものです。学生生活を通して言葉や文字を見つめ直すことでその価値を再確認し、魅力を味わいながら磨くことが大切だと改めて実感しています。



園田 克利 さん (2009年卒業)

大野城市立御陵中学校  
人文科学研究科 日本語日本文学専攻 博士課程前期(2011年修了)  
人文科学研究科 日本語日本文学専攻 博士課程後期(2017年満期退学)

※2022年取材時の情報です。

# 専門科目について

## 専門科目の特徴

- 専門科目は、日本語学系列、日本文学系列、比較文学系列の三つに分かれます。一つの専門に集中するのではなく、他の専門の科目も取るようにすることで、幅広い、バランスの取れた学習をすることができます。
- 系列が三つに分かれているだけでなく、時代も各時代をカバーしています。本学科のカリキュラムでは、基本的な知識の習得と、専門性の高い学習の両立が可能となっています。



## 教員の構成



# 教員からのメッセージ

※2023年4月1日現在



衣畑 智秀 教授

### 日本語学 古代語

日本語の文法史を研究しています。特に関心のあるテーマは、「係り結び」や疑問文の歴史です。係り結びはどのように成立し消滅したのか、係り結びの消滅は、日本語の文法にどのような影響を与えたのか。その影響関係は、現在も係り結びが使われる琉球諸語で、どのような形で表れているのか。授業では、係り結びが活発に使われていた上代・中古を中心に、必要があればその後の歴史も含めて学んでいきます。

#### 〔衣畑ゼミの卒業論文〕

- ・動詞「ことわる」の歴史の変遷について
- ・さげすみの副助詞「なんか」の歴史の変遷
- ・動詞「過ぐ」の歴史の変遷
- ・中古和文における助動詞の研究 ～「めりき」「けるなめり」
- ・上代における「日」についての考察
- 音節語ヒ・フ・カ・ケの意味分析 —



山縣 浩 教授

### 日本語学 近代語

現代共通語の歴史的背景に関する研究を中心にしながら、地域語の歴史的変遷や地域語の運用・意識に関する研究を行っています。「日本語力」は、社会人として最も基礎的な能力であり、全ての学問を支えるものです。この力は、「ことば」に対する多面的な関心と問題意識によって言語感覚を磨いていくことによって高められると考え、学生諸君に日々接しています。

#### 〔山縣ゼミの卒業論文〕

- ・筑後方言における不快感を表す語
- 大牟田方言を中心に
- ・赤川次郎の文体—『杉原爽香』シリーズの色彩語
- ・確認要求表現の地理的諸相—九州北部地域を中心に
- ・近代日本語における時間節の史的探究
- ・明治女流作家の言文一致体
- ・嵯峨の屋お室の文体



江口 正 教授

### 日本語学 現代語

現代日本語関係の科目と、日本語教員養成科目を担当します。普段言葉を使うときにはいちいち文法は気にしませんが、言葉の使い方を少し真面目に考えると、不思議なところが出てきます。そういう謎を見つけ、解いていくのが私の目標です。いつも自分が使う言葉の中に、誰にも見つけられなかったことのない「謎」が潜んでいるのが分かった時はとてもワクワクするのですが、その感じを共有できるように一緒に学んでいきたいと思っています。

#### 〔江口ゼミの卒業論文〕

- ・「文字を書く」ことの言語化について
- ・感動詞研究 談話管理理論から見た「あーね」論
- ・出雲方言の文法—文末の「ニ」
- ・文末名詞「形」～新聞記事における「形」の機能～
- ・動詞に後接する「ばかり」の研究
- ・形式名詞「甲斐」の意味・機能について



大坪 亮介 准教授

### 日本文学 古典文学(中世)

中世文学、特に南北朝動乱を描いた軍記物語『太平記』を主たる研究対象としてきました。およそ六十年にもわたって朝廷が分裂し、全国規模で戦いが繰り返された混沌の時代を、当時の人々はいかに理解し、いかに叙述しようとしたのか。また、『太平記』はいかなる時代的背景によって、いかに変化していったのか。こうした点に興味を持っています。



高橋 昌彦 教授

### 日本文学 古典文学(近世)

江戸時代中期から後期の文人たちを研究しています。江戸といえば、「町人文化」というイメージで語られてきたこれまでの文学史に対して、公家や大名、武士や僧侶などの伝統的文化の牽引者たちを、あらためて評価しようという視点に立っています。現代、知識偏重を批難する風潮がありますが、学問に関して、知識に無駄はありません。学生諸君にもより多くの知識を身に付けてほしいと思います。

#### 〔高橋ゼミの卒業論文〕

- ・玉藻前説話の変遷
- ・『笈の小文』研究
- ・黄表紙とその時代
- ・『日本詩史』攷
- ・西鶴にみる「武道」について





畑中 佳恵 准教授

日本文学 近代文学

日本近現代文学を研究しています。とくに、「長崎」イメージの形成と文学作品の関わりについて調べたり考えたりしてきました。大学での数年間は、自他の常識となっている価値観やイメージをいろいろな角度から吟味することやその重要性を学べる、かけがえのない期間です。自分と異なる時代、属性、人間関係を生きる人々の視点が織り込まれた文学作品は、その学びを手助けしてくれます。さまざまな作品との出会いを楽しみながら、一緒に読み解いていきましょう。



中野 和典 教授

日本文学 近代文学

昭和期以降に書かれた日本文学を研究しています。この研究領域は、いわゆる「時の洗礼」を受けていないという意味では最も洗練されていないものと言えますが、それゆえに「現在の問題」により直接的に接近できる可能性も持っています。ただし、それは目の前にあることだけに目を向ければ見えてくるというものではありません。時代や場所を越えてより多くのものごとくに目を向けることによって初めて見えてくる問題を、学生の皆さんと一緒に追究していきたいと考えています。

【中野ゼミの卒業論文】

- ・芥川龍之介「蜜柑」論
- ・壺井栄「二十四の瞳」論
- ・小川洋子「博士の愛した数式」論
- ・太宰治「人間失格」論
- ・大岡昇平「野火」論
- ・宮本輝「星々の悲しみ」論



永井 太郎 教授

日本文学 近代文学

専門は明治末から大正期にかけての近代文学です。内田百閒という作家の研究ですが、同時代の小説や思想にも関心を持っています。授業では夏目漱石や内田百閒をはじめ、多くの作家を扱うようにしています。個々の作品について論じるだけでなく、小説に関する、より一般的な問題についても考えていきます。

【永井ゼミの卒業論文】

- ・太宰治「葉桜と魔笛」論
- ・宮部みゆき「火車」論
- ・中島敦「古潭」論
- ・安部公房「パベルの塔の狸」論
- ・江戸川乱歩「孤島の鬼」論



須藤 圭 准教授

比較文学 古典文学(中古)

源氏物語をはじめとした、平安時代に成立した中古文学を研究しています。これらの中古文学は、抜群に面白いストーリーやキャラクターを持つことはもちろん、現代においても、絵画、芸能、映画、漫画、アニメ、舞台など、さまざまな作品に影響を与えています。およそ1000年前に書かれた中古文学を、いま、私たちが読むことの価値は、どこにあるか。このことを考えながら、文学が持つ想像力と可能性を問いたいと思っています。

【須藤ゼミの卒業論文】

- ・高畑勲「かくや姫の物語」論
- ・『源氏物語』に描かれた女性たちの「影」
- ・『とりかへばや物語』における女君の容姿と表現
- ・王朝物語における冒頭表現の方法と史的展開
- ・八代集恋部における「月」の表現



林 信蔵 准教授

比較文学 近代文学

比較文学を担当しています。比較文学とは、文学作品をそれ自体としてだけではなく、それと隣接するさまざまな要素との関係から考えてみる学問と言いかえることができます。私は、日本近代文学におけるフランス文学・文化の影響、音楽や絵画に造詣が深い作家の文学作品の特徴について考えてきました。また、日本文学がどのように海外で紹介されているのかなどについても関心があります。

【林ゼミの卒業論文】

- ・三島由紀夫「女神」における「アメリカ」と「ヨーロッパ」
- ・村岡花子訳「赤毛のアン」論
- ・一躍された愛の言葉をめぐる一
- ・林芙美子のバリ表象
- ・谷崎潤一郎「少年」論
- ・一なせ光子は「少年」と呼ばれるのか一
- ・梶井基次郎「檸檬」における色彩表現

学科年間スケジュール (一例)

4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 前期開始/入学式</li> <li>■ 学部指導懇談会 … 教員と1年次生が初めて顔を合わせます。</li> <li>■ 新入生歓迎会(1年次) … 2年次生が新入生を歓迎します。</li> </ul>
5月	
6月	
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 前期試験</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オープンキャンパス … 教員と在学生が高校生に学科を紹介します。</li> <li>■ 夏休み</li> <li>■ ゼミ合宿(3・4年次) … 卒論執筆に向けて合宿するゼミも。</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 後期開始</li> </ul>
10月	
11月	
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 卒業論文提出(4年次) … 日本語日本文学科は卒論が必修です。</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 後期試験</li> <li>■ 卒業論文口頭試問</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 卒業論文発表会 … 優秀な卒業論文をみんなの前で発表します。</li> <li>■ 演習ガイダンス(2年次) … ゼミの希望届けを出し、3年次の配属を決めます。</li> <li>■ 履習ガイダンス(1年次) … 調査研究法の履習について説明します。</li> <li>■ 予銭会(1~4年次) … 卒業生を送り出す会ですが、全学年が参加可能です。</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 訪書旅行(2年次) … 原書や文学遺跡に直接触れることで得られる感動を体験できる機会として、2年次に実施する二泊三日の訪書旅行があります。目的地は京都を中心とした関西圏です。現地の図書館・博物館などで貴重な典籍を目にしたり、宿舎に戻って百人一首大会をしたりして、学生と教員が交流を深めます。</li> <li>■ 卒業式</li> </ul>



進路について



就職

本学科卒業後の就職先としては、広く言葉の能力や文学的感性を要求される職業が挙げられます。最も代表的なものは教職です。現在は、教員の需要が少なく、厳しい状況下にありますが、その中でも、本学科では中学校や高等学校の教員として、九州地区だけでなく、愛知県や東京都、千葉県など中部地区、関東地区での教員採用試験に合格して活躍している卒業生も少なくありません。

日本語教員は国内外で日本語を教えている卒業生がいます。教員以外では、国家・地方公務員や卸売・小売業などの一般企業でも広く活躍しています。



進学

卒業後、さらに専門的に学びたい人のために大学院があります。大学院は博士前期課程と博士後期課程の二つの課程があり、前期課程は2年間で修士論文を執筆します。後期課程は3年間で、博士論文の審査を通ると博士の学位が与えられます。学部卒業生にとって、大学院に進学するのも一つの道でしょう。真剣に学び、高度な力を身に付けた人に、もっと学びたいという気持ちが出てくるのは自然なことです。

また、そういう希望が生まれるくらい勉強してほしいと思います。前期課程を修了した学生には専修免許状が与えられ、国語の教員を目指す人にも、大学院で学ぶことは有益です。

# 教育・臨床心理学科

教育と臨床心理、  
2つの領域の統合で  
人を育み、人の心に関わる。

教育・臨床心理学科では、「教育学」と「臨床心理学」の2つの領域を総合的に学ぶことで、自分の生涯にわたるキャリア形成について主体的に考え、人を支援するための知識とスキル、態度を身に付けていきます。将来の進路に応じた、公認心理師トラック、キャリアデザイントラック、学校教員トラックの3つのトラックで学んでいきます。

## 取得可能な主な資格

- 公認心理師国家試験受験資格 (大学における必要な科目)
- 中学校(社会)・高等学校(公民) 教諭一種免許
- 社会教育主事(基礎資格)
- 日本語教員

福岡大学 人文学部 Webサイト >



## 求める人材像 (求める能力)

<b>A</b> 知識・理解	教育学と臨床心理学の2つの分野を学ぶのに十分な基礎学力を有している人
<b>B</b> 技能	人と社会に向きあい、課題を発見し、解決にむけて他者と協力できる人
<b>C</b> 態度・志向性	人と社会に興味をもち、新しい学びや出会いに積極的な人
<b>D</b> その他の能力・資質	自ら目標を立てて、英語の資格を取得した人や課外活動などで顕著な成果を挙げた人

求める人材像 (求める能力) の詳細は



## 在学生の声

考え方が「自分軸」から「相手軸」に変化。  
心理学で生徒に寄り添える教育者を目指す。

### Q1 この学科の魅力は？

教育学と心理学の両方を学ぶことができる点です。私は、「心理学を活用して、学校教育をより多くの視点で考えられる社会科の教員になる」という夢があり、公認心理師も目指せる本学科を志望しました。教育に関する心理学だけでなく、司法犯罪心理学や知覚認知心理学などの専門的な内容も、経験豊富な先生方から楽しく学ぶことができます。

### Q2 好きな授業は？

学校現場の今を学ぶ「学校インターンシップ実習」です。地元の中学校で40時間の実習を経験しました。これまで何かを相手に伝えるときは、「自分はこれで分かるから」と「自分軸」で判断をしていましたが、実習を通じて生徒一人一人の多様性を実感し、どのようにすればわかりやすいかをより深く考えるようになりました。



柳田 花蓮 さん

人文学部 教育・臨床心理学科 3年次生  
福岡県 東筑高校出身

※2022年取材時の情報です。

### 時間割 [3年次前期]

	MON	TUE	WED	THU	FRI
9:00					生涯学習支援論 A
10:40	教育相談	公民科教育法	学校インターンシップ実習		
13:00	司法・犯罪心理学				総合的な学習の時間と特別活動の指導法
14:40	発達心理学	専門演習 I	社会教育演習 A		
16:20	労働と法制度	法と子どもの権利	社会科教育法(地理歴史分野) I		
18:00				地理歴史科教育法 地理 二部	

その他カリキュラムの詳細は >



## 卒業生の声

臨床心理学で学んだ物事の考え方は  
専門職に限らず幅広い状況で役に立つ。

心理士として、患者さんやそのご家族の体や心の痛み、つらさを和らげるためのケアを行っています。高校生の時に大学病院に入院することがあり、最初は院内学級の教師になりたいと思い、本学科に進みました。本学科で学ぶうちに、「緩和ケア」に興味を持ち、臨床心理学を生かして少しでも患者さんの力になればこの仕事に就きました。

大学時代、臨床心理学の講義で「目の前のことだけでなく、その前後も含めて考える」ことを学びました。おかげで、診療の現場では、患者さんや家族が今抱えていることだけではなく、これまでどのように生きてこられたのか、これから先をどのように過ごしていきたいのかを、「点でなく線で」考えるようになりました。こうした臨床心理学での学びは、専

門的な仕事だけでなく、人と関わる上であらゆる場面に生かされると、社会に出て改めて実感しています。



川井 美早紀 さん (2016年卒業)

福岡大学医学部  
特別寄付講座 地域医療管理学講座  
人文科学研究科 教育・臨床心理学専攻 博士課程前期 (2018年修了)

※2022年取材時の情報です。

## 教育・臨床心理学科での4年間

**1年次**

基礎教育

「キャリア形成基礎論Ⅰ」を受講し、「公認心理師トラック」、「キャリアデザイントラック」、「学校教員トラック」の特徴を知ると共に将来の進路イメージを作り、1年次終了時にトラック選択を行います。

希望が集中した場合には、GPA(1年次の成績)で振り分けることもあります。

**2 / 3 / 4年次**

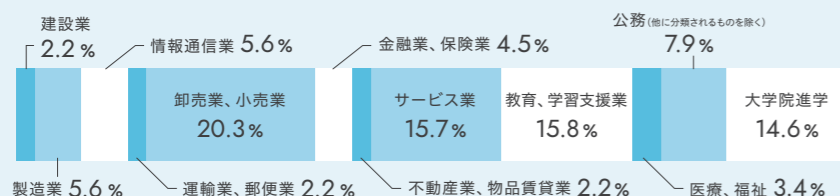
専門教育 / 論文・就職

- 所属するトラック(詳細は24ページ〜)の科目を中心に学びます。各トラック独自の特色のある実習の機会があります。
- 他のトラックで開講されているさまざまな専門科目も履修可能です(一部制限あり)。
- 2年次後期には「キャリア形成基礎論Ⅱ」を受講し、自分のこれからの学びとキャリアについて具体的に考えます。
- 3年次からは、選択したトラックにかかわらず、自分の興味関心に従って専門演習(ゼミ)を選択することができます。

**卒業後**

地域社会や学校、病院、企業等で専門的知識とスキルを生かして、人を支援する人材へ

## 主な就職・進路先 (2022年度卒業生実績)



● 人文学部の主な就職先は [53ページ](#) >

## 本学科が採用している「トラック制」とは？

トラック制と似たものに「コース制」があります。コース制は専門に特化した学びが可能である一方、他のコースの授業が取りにくい、コース同士の交流が少ない、などのデメリットもあります。

本学科の最大の特長は教育学と臨床心理学の両方が学べること。その持ち味をこれまで以上に生かすために、私たちは★「トラック制」を導入しました。



**Point**  
トラック制によって、例えば「教育や学校現場に理解のある公認心理師」、「子どもの心理や対応に詳しい学校教員」、「教育と心理の知識を生かせる社会人」を目指すことができます。

「教育学」と「臨床心理学」の両方を学ぶ魅力を最大限生かす  
=「トラック制」!

## 公認心理師トラック

心に寄り添い、人に関わる  
心理のプロフェッショナルを目指して。

公認心理師を目指す人向けのトラックです。「総合大学の良さ」を生かし、医学部、病院、附属校とも連携しています。学部のみならず大学院も公認心理師対応のカリキュラムになっています(実習の関係から、人数制限があります)。

### 実習紹介

#### 心理実習

福岡大学病院、福岡大学附属高校、精神保健福祉センター、発達教育センター、少年鑑別所などで見学等の実習を行います。公認心理師が社会の中で果たす役割を具体的に学ぶことはもちろん、公認心理師としてのキャリアについても考えます。

### 充実したセミナー

#### 公認心理師国家試験・現役合格体験談セミナー

現役合格者に、合格に向けた具体的な取り組みについて紹介してもらいます。学部での学びはもちろん大学院での経験、年齢が近い公認心理師ロールモデルとして多くのことを知ることができる、大変貴重な機会です。



### 予想される進路

- 大学院進学(公認心理師)
- 公務員・各種団体職員(福祉、司法、矯正領域の心理専門職)
- スクールカウンセラー
- 一般企業におけるカウンセラー、人事・教育・マーケティング部門等の職員
- 医療機関職員
- 福祉施設職員
- NPO、NGO職員 …etc.

### Graduate's Voice 卒業生の声

2021年3月まで勤務した児童相談所では、これまで一時保護所で子どもたちの生活場面での行動観察や心理療法を行いました。現在は子どもへの心理検査、心理療法、家族面接に携わっています。「チームで子どもたちのためになる支援を」を目標に、日々自己研鑽に励んでいます。



末永 智子  
[福岡県精神保健福祉センター]

## キャリアデザイントラック

教育学と臨床心理学の学びを  
社会の多様な領域で生かす。

教育学と臨床心理学は専門職になるためだけの学問ではありません。このトラックでは、講義や演習に加え、トラック独自の実習を通し、民間企業、官公庁、NPOなど多様な領域で活躍できる人材の育成を目指します。

### 実習紹介

#### キャリアデザイン調査法、キャリアデザイン演習

社会調査法に関する基礎的な知識と技能の習得を目指して、フィールドワークを行います。また、調査活動を通じた出会いや経験を自身のキャリア形成に生かすことも目的としています。

### 充実したセミナー

#### 就活対策セミナー、キャリアデザインセミナー

教育・臨床心理学科生が授業で身に付けた能力や資質を生かして、就職活動等を成功させていく。そのためのテクニックを学ぶためのセミナーを、優れた専門家を招いて実施しています。



### 予想される進路

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| <b>[業界]</b>        | <b>[職種]</b>       |
| ● 地元有力企業、関東関西の有力企業 | ● キャリアカウンセラー、     |
| ● 公務員              | ● キャリアコンサルティング、   |
| ● 自治体、公益財団法人、NPO   | ● 人事担当、企画立案 …etc. |
| ● 教育関連企業、人材育成・派遣企業 |                   |

### Graduate's Voice 卒業生の声

“とにかくやってみなければわからない”。ゼミ合宿で訪れた町の合い言葉です。彼らが持っていた町を復興するための情熱は、大きな街から訪れた私がちっぽけに見えるほど魅力的なものでした。そこで見たものは、社会に出た今でも忘れられません。参加した小さな合宿で私は一生を支える大きな出来事を体験することができました。



加莊 夏美  
[クルーズ株式会社]

## 学校教員トラック

多様な社会で生きていく子どもたちを育てる  
教員・支援者の養成。

このトラックでは、「多様性」をキーワードに、多様な子どもたちへの支援や多様化する社会を生きる子どもたちの育成の在り方を考える講義・演習、さらには課外セミナーを通し、学校教員や教育支援者を養成します。

### 実習紹介

#### 学校インターンシップ実習

学校現場(小・中・高)やフリースクールなどの放課後学習支援の場での活動と大学での振り返りを交互に行いながら、子どもや教育現場を多面的に捉える力を身に付けます。

### 充実したセミナー

#### LP×多様性セミナー、教採対策セミナー

課外でも、多様性(性の多様性、外国人児童生徒等)に関する学びを深めたり、教員採用試験に向けた対策をしたりする機会があります。教員との距離も近く、学生同士の交流の機会にもなっています。

### 予想される進路

- 中学校教諭(社会科)、高等学校教諭(公民科)
- 小学校教諭(※別途プログラムの受講が必要)
- NPO(フリースクール)、教育関係企業
- 大学院進学(教育学の大学院、教職大学院等)
- 公務員(教育行政職) …etc.

### Graduate's Voice 卒業生の声

私は、卒業論文で「セクシュアル・マイノリティ」に関する研究に取り組みました。多様性が重視されている現代において、「セクシュアル・マイノリティ」に関する知識は、小学校教諭にとって必要不可欠です。卒業論文の内容について先生方やゼミの仲間と議論したことは、とても貴重な経験でした。



横沼 一志  
[下関市立勝山小学校]

# 教員・研究の紹介

教育・臨床心理学科に所属している教員をご紹介します。

※2023年4月1日現在



植上 一希 教授

専門分野  
「教育学」  
「キャリア教育」

研究テーマは専門学校における教育とキャリア形成です。日本の中心的職業教育機関といえる専門学校における教育やキャリア形成の実態や意義の解明を進めるために、専門学校関係者に対するさまざまな調査を実施しています。



坂本 憲治 准教授

専門分野  
「臨床心理学」  
「多職種協働」  
「キャリアカウンセリング」

主に青年期・成人期を対象とした心理支援の研究をしています。一対一の関係の中で行う治療的カウンセリングだけでなく、健康な人々の成長に役立つカウンセリングや、多職種と協力して行うチームアプローチに関心を持っています。



田村 隆一 教授

専門分野  
「フォーカシング指向心理療法」  
「夢フォーカシング」  
「カウンセリング」

カウンセリングの技法の一つであるフォーカシングを研究しています。まだはっきりと言葉にならない感覚に注意を向けて、そこから生まれるものを大事にする方法です。フォーカシングによる夢分析も研究しています。



藤田 由美子 教授

専門分野  
「教育社会学」  
「『ジェンダーと教育』研究」  
「子どもの社会学」

これまでの研究テーマは以下の通りです。(1)幼児期における子どものジェンダー構築、(2)幼児教育・保育・子育て支援におけるジェンダー問題、(3)子ども向けメディアに描かれるジェンダー。



本山 智敬 教授

専門分野  
「臨床心理学」  
「パーソンセンタード・アプローチ(PCPA)」  
「エンカウンター・グループ」

ロジャーズのPCPAを臨床の基盤とし、カウンセラーの傾聴の態度の育成、またエンカウンター・グループを中心としたグループ・アプローチを学校現場や組織の人間関係づくりに生かすための実践と研究を行っています。



勝山 吉章 教授

専門分野  
「西洋教育史」

主としてフリードリヒ・フレーベルについて研究しています。1840年に世界で初めて幼稚園を設立したフレーベルは、遊びに教育的意義を認め、遊具や遊戯を開発しました。従って、遊びや遊具の教育的意義についても研究しています。



佐藤 仁 教授

専門分野  
「比較教育学」  
「教師教育」

アメリカ合衆国を中心に、諸外国の教育制度や教育政策を研究しています。特に、教員養成の質を確保する仕組みに関心があり、諸外国の実態を分析し、日本の教員養成制度への示唆を導き出すことを目指しています。



徳永 豊 教授

専門分野  
「特別支援教育」  
「臨床心理学」  
「障害支援心理学」

「障害の重い子どもとの授業における目標設定と学習評価」や「障害のある子どもの早期発達支援」など、乳幼児の発達研究を基礎としつつ、近年は障害のある人の就労支援も含め、幅広く研究・活動しています。



松永 邦裕 教授

専門分野  
「子どもの心理臨床」

不登校や発達障害、被虐待の子どもなど、子どものさまざまな問題を発達の視点(子どもの「そだち」)から捉え、臨床心理学的な援助の在り方について実践的な研究を行っています。



山岸 賢一郎 准教授

専門分野  
「教育学」  
「教育哲学」  
「道徳教育学」

教育や道徳教育について哲学しています。例えば、道徳教育が有意義かつ道徳的なのであるための条件について考えたり、道徳科の授業をより良いものにするための方法について考えたりしています。



伊藤 亜希子 教授

専門分野  
「異文化間教育学」  
「比較教育学」

異なる文化的背景を持つ人々が共に生きるために、どのような教育支援を行うことができるのか、ドイツと日本における理論、政策、実践を研究しています。多文化共生のまちづくりにも関心を寄せています。



高妻 紳二郎 教授

専門分野  
「教育行政学」  
「教育経営学」

英国を素材に、教育を支えるさまざまな仕組み(制度、行政等)の評価・改善に関して、従来の公教育システムが変容し地方教育行政の枠から飛び出て台頭するニュータイプの公教育の功罪を証的に研究しています。



添田 祥史 教授

専門分野  
「社会教育・生涯学習」  
「成人基礎教育」

夜間中学や識字教室を主たる研究フィールドにしています。何らかの事情で学齢期に教育を受けることができなかった人の学習権保障に関心があります。



長江 信和 准教授

専門分野  
「臨床心理学」

インターネットを介した遠隔心理支援(遠隔カウンセリングやアセスメント、コンサルテーション、心理教育)の開発および効果検証を行っています。また、公認心理師の資質向上についても研究テーマとしています。



満身 史織 講師

専門分野  
「臨床心理学」  
「子育て支援」  
「コミュニティ・アプローチ」

乳幼児を育てる親や、学童期の子どもに対して地域に出向いて、居場所づくりを中心とした予防的支援の活動を実践しながら、そのより良い方法について研究しています。



吉岡 久美子 教授  
(村上 久美子)

専門分野  
「メンタルヘルスリテラシー」  
「福祉心理学」  
「教育・学校心理学」

“生涯にわたる心の健康”について、QOL(Quality of life)を基礎に研究を進めています。特に、児童・思春期の支援に関する国際比較研究と高齢期の支援に関する研究(認知症、ケアラーのケア、チームアプローチ)への関心が高いです。

# 教育・臨床心理学科Q&A

Q1 ムラック制についてもう少し教えてください。

A1 24ページのイメージにあるように、本学科のムラック制は自分の将来のキャリアを意識して選択し、そのムラックの授業を中心しつつ、他のムラックの授業も履修できる仕組みです。実習科目はそのムラックに所属している学生しか履修できませんが、それ以外は大きな制限はありません。ムラック選択は、1年次の終わりに行います。例え入学時にはまだ自分

のキャリアについて漠然としか考えられていなくても、ムラック選択までに、「キャリア形成基礎論」という授業で、各ムラックについて学んだり、自分の将来のキャリアについてしっかり考えたりする機会を設けています。なお、特定のムラックに希望が集中した場合には、GPA(1年次の成績)で振り分けることもあります。

Q2 教育学と臨床心理学の両方を学ぶことの良さって何?

A2 本学科の学びの基礎は、教育学と臨床心理学によって作られます。中には、「教育学だけ学びたい」「臨床心理学だけ学びたい」という人もいるでしょう。ですが、この2つを学ぶことは将来に大きな可能性を開くことになります。先輩の声を聞いてみましょう。

先輩Aさん  
(スクールカウンセラー)

心理職として働くには、「心理学のことだけ知っていればいいというわけではない」ということを教育学の授業を通して気付かされました。子どもを取り巻く学校や社会の抱える課題について理解を深めたことは、子どもと向き合うためにも必須だと思えます。

先輩Bさん  
(民間企業)

私はチームで仕事にあたることが多く、教育学の授業で体験したグループでの調査や集団と個の心理についての学びは、チームの雰囲気をつくったり、チームを引っ張っていったりするとき、とても役に立っています。

先輩Cさん  
(小学校教諭)

教育学の学びはもちろんです。臨床心理学の授業を通して学んだ「カウンセリングマインド」や「傾聴のスキル」は、自分が子どもに向き合う姿勢の基礎となっています。そのため、落ち着いた子どもや保護者と向き合うことができています。

どうでしょう? 教育学と臨床心理学の両方を学ぶ良さ、少しは感じられるでしょうか。

Q3 3つのムラックに分かれる中で、教育学と臨床心理学の両方を具体的にはどのように学びますか?

A3 ムラック制のメリットは、ムラックを越えて授業を取ることができる点です。それを生かして、時間割を作ります。

Aさん 公認心理師ムラック 3年次生  
公認心理師の資格を取ってスクールカウンセラーとして働きたいから、学校教員ムラックの授業もたくさん取っています。

時間割[前期]	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	心理学実験				
2		関係行政論	心理学的支援法		グローバルゼーションと教育
3	多様性の教育学	社会・集団・家族心理学			教育福祉論
4				専門演習I	
5		法と子どもの権利	精神疾患とその治療		

Bさん 学校教員ムラック 3年次生  
学校現場を知り、実践力のある教員になりたい。キャリア教育にも関心があります。

時間割[前期]	MON	TUE	WED	THU	FRI
1					
2	カリキュラム実践論	人文地理学A	学校インターンシップ実習		グローバルゼーションと教育
3	生徒指導論	教育方法とICTの活用			
4		専門演習I	社会科教育法I	キャリア教育論	
5			教育相談	学習・言語心理学	自然地理学A

Cさん キャリアデザインムラック 3年次生  
地域で人を支える仕事ができるようになりたいから、生涯学習について学んでいます。

時間割[後期]	MON	TUE	WED	THU	FRI
1					
2				学習方法開発論	産業・組織心理学
3	障害者・障害児心理学	キャリアカウンセリング	教育福祉論	教育社会学	
4		社会教育学	生涯学習概念B	専門演習II	国際化と日本
5	労働と法制度		社会教育演習B		

Dさん キャリアデザインムラック 2年次生  
インターンシップ実習で企業のことを知って、将来は人材育成の仕事に就きたいです。

時間割[後期]	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	生涯スポーツ論	中国語IIA			
2	教育の原理・課程論	インターディプロマイングリッシュII	インターンシップ実習I	インターディプロマイングリッシュIII	生涯学習概念B
3	社会学B	キャリア形成基礎論II		経済学B	産業・組織心理学
4		社会教育学		教育福祉論	中国語IIB
5					教育・学校心理学

■各ムラック専門科目: 公認心理師ムラック系科目 キャリアデザインムラック系科目 学校教員ムラック系科目 ※授業の開講時期はイメージです。年次によって開講時期や時間割は変わる可能性があります。

高度な英語力を身に付け、  
国際的な視野や異文化への  
理解力を持つ  
グローバルな人材に。

英語学科では英語学とスピーチ・コミュニケーションを主に学ぶ「言語・コミュニケーションコース」と、英米の文学・文化を主に学ぶ「文化・文学コース」の2コースを設置しています。ただし、両コースともに「読む・書く・聴く・話す」の4技能の高度化を前提としており、IELTS、TOEIC®等の資格試験でハイスコアを得ることも目標の一つになります。また、高度な英語力を身に付ける過程を通して国際的な視野や異文化への理解力も養い、将来、グローバルに活躍できる人材となれるように学んでいきます。

取得可能な主な資格

- 中学校・高等学校 教諭一種免許
- 日本語教員

福岡大学 人文学部 Webサイト >



求める人材像 (求める能力)

<b>A</b> 知識・理解	高等学校の教育内容を身につけており、さらに英語の学習を深めてゆくのに十分な基礎学力を有している人
<b>B</b> 技能	学習や課外活動から得た経験を踏まえて、自らの視点で物事を順序立てて説明することができる人
<b>C</b> 態度・志向性	広い教養と深い専門知識を身に付け、国際社会、地域社会に貢献したいと考えている人
<b>D</b> その他の能力・資質	自己研鑽により、英語の資格を取得した人やスポーツ活動・競技会等で顕著な成績をおさめた人

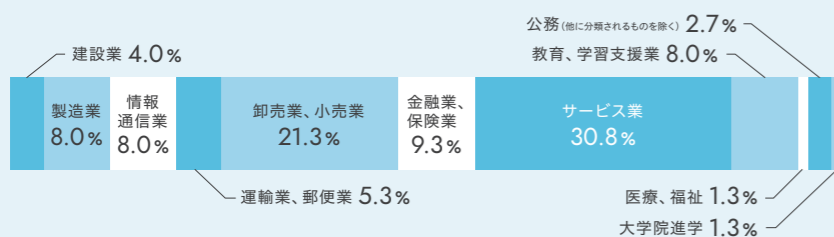
求める人材像  
(求める能力)  
の詳細は



英語学科での4年間

1年次	2年次	3 / 4年次	卒業後
基礎教育	専門教育	専門教育・論文・就職	
<b>基礎作り</b> 「英文法」や「英会話」といったスキル系科目で英語力の土台を作ります。 「概論」で、4つの専門分野(英語学、スピーチ・コミュニケーションコース、イギリス文化・文学、アメリカ文化・文学)の基礎を入門的に学びます。	<b>専門分野にゆるやかにシフト</b> 「英会話」や「ライティング」といったスキル系科目で、英語力をさらに向上させます。 「概論」での学習をもとに、自分の関心がある分野を見定め、「言語・コミュニケーションコース」と「文化・文学コース」のどちらかを選択し、徐々に「広い学習」から「深い学習」にシフトします。コース選択後も、「両コース共通科目」で他コースの学習もできます。	<b>専門分野を能動的に探究</b> 2年次に選択したコースに基づき、さらに専門分野(英語学orスピーチ・コミュニケーション/イギリス文化・文学orアメリカ文化・文学)を1つ選び、その「演習」(ゼミと呼ばれる少人数制クラス)を履修。自ら問題を発見し、その答えを探究することで、創造的に生きる力を養います。	<b>グローバル化がさらに進む次代の社会で真の国際人として活躍</b>
<b>What's SIE?</b> [Study In English プログラム] 2年次以上の一部の授業において、英語能力の高い学生のみを選抜した少人数クラスを作り、そこで、原則として英語のみを使用するハイレベルな授業を行います。			

主な就職・進路先 (2022年度卒業生実績)



● 人文学部の主な就職先は **53ページ** >

在学生の声

「スピーキング」の楽しさに触れて、  
英語がもっと好きになった。

Q1 この学科の魅力は？

ネイティブスピーカーの先生とのコミュニケーションの機会が豊富な点です。授業はもちろん、休み時間も積極的に話し掛けてくださる先生ばかりで、スピーキング力が向上しました。学生同士のディスカッションの機会も多く、授業で学んだ内容を皆と共有することで実場面で生かせる英語が身に付いていると実感しています。

Q2 好きな授業は？

動画やアプリを使って発音のアクセントを学ぶ「英語音声学B」です。例えば、日本人が正しく発音しにくいとされる「L」と「R」の発音をそれぞれ録音し、正しい発音と聞き比べます。リスニングだけでは分かりにくい発音も、音の高さやアクセントの違いを検証することで、自分がどこで間違っているのかを、理論的に学ぶことができました。



横尾 美咲 さん

人文学部 英語学科 2年次生  
福岡県 八女学院高校出身

※2022年取材時の情報です。

時間割 [2年次後期]

	MON	TUE	WED	THU	FRI
9:00	生涯スポーツ論	中国語ⅡA	英語史B		新しい地球観
10:40			英語読解ⅠB	言語学概論B	インターメディアト・イングリッシュⅡ
13:00		心理学B	英会話ⅡB	メディアと英語文学B	英語学の諸相ⅠB
14:40		インターメディアト・イングリッシュⅡ		英語ライティングB	中国語ⅡB
16:20				英語音声学B	

その他カリキュラムの詳細は >



卒業生の声

高度な英語力を磨ける多彩な授業。  
研修や語学留学で“生きた英語”を学べた。

出向先の北九州市で、コンベンション開催実現に向けた国際会議の誘致支援や海外誘致活動に携わっています。

入学前から強い魅力を感じていたのは、ネイティブスピーカーによる指導や、マルチメディア・デジタル教材を活用した講義が、少人数制で実施されていることでした。「読む・書く・聴く・話す」の4技能に重点を置いた指導で、英語力を磨くことができました。

2年次には、夏季休暇と春期休暇を利用して、イギリス・バース大学とカナダ・カルガリー大学に短期留学しました。一部の研修が単位認定される点は本学科を選んだポイントでもあり、現地の言語や文化に触れる意義は大きいと感じていました。先生方との後押しや多方面からの協力のおかげで留学が実現

できました。留学の経験で英語学習への意欲をさらに掻き立てられ、人間的な幅と深みが増したと実感しています。

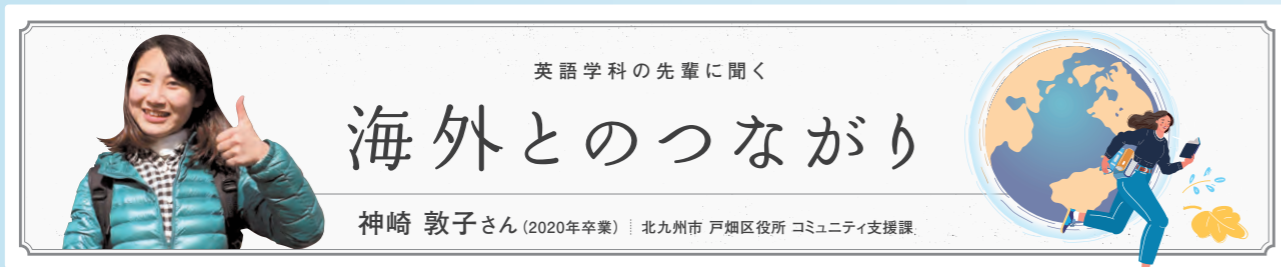


東 陽太 さん (2009年卒業)

公益財団法人 北九州観光コンベンション協会 誘致部  
(名鉄観光サービス株式会社より出向)

※2022年取材時の情報です。





🌍 リーズ大学 への交換留学

中学時代に国際協力や海外との文化交流に興味を持ち、大学1年次に海外で国際協力ボランティアを経験。そして3年次生の8月、イギリス・リーズ大学の交換留学に参加しました。イギリスはフェアトレードや環境保護活動の先進国であり、リーズ大学では国際関係学や環境学、SDGs関連分野など、さまざまな学問の中から興味のある科目を選択することができます。私は主にSDGs関連分野を履修し、授業やグループワーク、



湖水地方へ旅行

フィールドトリップを通じて実践的な学習を進めました。特に印象的だったのは、日本文化を紹介するイベント「桜フェスティバル」を日本人留学生のみで企画・実施したことです。イベントの会場探しからクラウドファンディングでの費用集め、集客の



ための広報活動、収益を北海道地震の被災地に寄付するところまで、一連の運営に携わりました。日々意見を出し合い、協力しながら一つのイベントを成功に導けたことは、とても貴重な経験となりました。

留学中は同じフラット(寮)で暮らす仲間との交流も大切にしました。最初はありのままの自分を出すことが難しかったのですが、共に試験勉強に取り組み、誕生日会や旅行などたくさんの思い出を重ね、いつしか何でも話せるようなかけがえのない友情を築くことができました。

🌍 留学中の学びと就職活動

留学生活は、想像をはるかに超えて有意義なものでした。さまざまなバックグラウンドを持つ人と関わる中で、考え方の幅や価値観が広がり、コミュニケーション能力も向上したと思います。また、SDGs関連分野を深く学ぶうちに、将来はSDGsに積極的に取り組んでいる地方行政に勤めて地域創生に貢献したいと思うようになりました。留学期間後半から

は、公務員試験の教材を取り寄せて現地で勉強を始めました。以前は、挑戦したいことがあっても先のことを考え過ぎてためらっていたのですが、留学経験から「どんなこともまずはやってみよう!」という積極的な姿勢が身に付き、帰国後は福岡県内で開催されているセミナーや講演会に参加して、将来への考えをより深めることができました。

🌍 社会で生きている大学での経験

就職活動を進める中で、地元である北九州市の持続可能なまちづくりが世界のモデル都市として注目されていることを知り、市政に貢献したいと考えました。現在は市民センターの管理運営に携わっています。仕事で難しいことがあっても、めげずに自分で調べ抜く精神力や周りを頼る積極性は、英語で進む授業についていけず悔しい思いをし

た留学経験で養いました。また、留学先で多種多様な国籍の人々と出会い、さまざまな考えに触れたことで一人一人の個性を受け入れられるようになり、円滑なコミュニケーションが求められる今の仕事にも役立っています。



🌍 高校生へのメッセージ

有意義な留学生活を送るためには、まず自分の心の声と向き合い、留学の目的や経験したいことを明確にしておく作業が大切です。この取り組みは、後に控える就職活動にもきっと役立ちます。この留学で得た貴重な経験や、さまざまな国籍の人々との出会いは、自分自身を成長させるきっかけとなりました。そして、新たな物事の見え方や視点に気付かされました。また、今まで過ごしてきた環境から長期間離れることで、多くの方に支えられているありがたみを身に染みて感じることもできました。学外での学びや異文化交流には、不安や困難があるかもしれませんが、その逆境を乗り越えた経験は、必ず大きな心の支えとなります。皆さんが夢に向かって一歩踏み出すことを心から応援しています。



フラットメイトの誕生日会

💡 英語圏文化研修  
University of Calgary

英語学科では、カナダのカルガリー大学での海外研修を「英語圏文化研修」としてカリキュラムに組み込んでいます。期間は8月から9月にかけてです。英語運用能力の強化とともに、異文化を体験して国際感覚を養うことを目的としたプログラムで、2年次以上の学生が参加できます。この研修の最大の特徴は次の通りです。

- ✔️ 事前・事後学習を通して渡航前に十分な準備ができるとともに、研修で身に付けた英語力を持続・発展させることができる。
- ✔️ 全行程に英語学科専任教員が引率として同行するので、海外生活が初めての学生も安心して参加できる。
- ✔️ ホームステイを通して現地の生活を学べる。
- ✔️ 各国からの留学生と共に学ぶことによって、国際感覚を身に付けることができる。



🇨🇦 Summer Homestay Adventure in Canada

Larry Kimber

English Department students, who sign up for this program, will spend four weeks in August studying English at the University of Calgary. You will make friends with a number of international students on campus and learn many things about Canadian culture as well. Your English skills will certainly improve and you will have wonderful experiences being in a homestay and enjoying the natural beauty of the Canadian Rockies. Some activities you will take part in include, for example, hiking, camping, horseback riding, and white water rafting. Your summer in Canada will be an adventure you will never forget.

参加者のメッセージ

田原 康佑



東京タワー級の高さを誇るタカカウ滝にて

初めての留学だったため、カナダに着いてホストファミリーと合流した時はとても不安でした。しかし、おどおどしていた自分に対して、ホストファミリーは優しく話し掛けてくれ、すぐに不安もなくなりました。

学校生活では、授業スタイルに驚きました。海外からの留学生もみんな積極的に質問し、疑問に思ったことはすぐに聞いていたのです。その雰囲気の影響され、自分も積極的に発言できるようになりました。授業以外でも、綺麗な湖や山へのアクティビティーや大学でのパーティーなどがプログラムされており、日本では味わえない絶景や雰囲気を楽しむことができました。

カナダでの1カ月は何をすることも英語を話すことが必要でした。そのため、英語力の向上はもちろんですが、人それぞれ得られるものは他にもたくさんあると思います。自分がそうであったように、皆さんにとっても人生の中で特別な1カ月間となることでしょう。



# 教員・研究の紹介

英語学科に所属している教員をご紹介します。

※2023年4月1日現在

## 言語・コミュニケーションコース

### ■英語学

**久保 善宏 教授** 専門分野 / 英語学(統語論)

英語と他の言語における統語現象を考察し、各言語間に見られる統語的差異の説明を試みることによって、英語の普遍性と個別性の解明を目指しています。

**古賀 恵介 教授** 専門分野 / 英語学

英語の文法・語法背後にある意味の構造を、認知言語学という分野の理論を用いて分析しています。

**白谷 敦彦 教授** 専門分野 / 英語学(語法研究)

英語を学習して「みなな」が抱く疑問を解決すべく研究しています。例えば、朝・昼・夕はin the morning, in the afternoon, in the eveningなのに夜だけat nightなのはなぜか、「コンピュータで」はon/in/by/with a computerの4つがあるが、その使い分けはどうなのかなどです。

**長 加奈子 教授** 専門分野 / 英語学

英語の文法や語彙の意味、日本人英語学習者の英語の特徴をコーパスを用いて分析しています。

**スティーブン・ハウ 教授** 専門分野 / 英語学(History of English)

I am currently working on primary universals of human language, which means the essential characteristics that all human languages share. I am also interested in how we communicate 'yes' and 'no'.

**毛利 史生 教授** 専門分野 / 英語学(統語論)

英語の研究を日本語やロマンス系言語に照らし合わせながらやっています。特に生成文法という理論に基づいて、形式と意味の関係を明らかにしようと奮闘しています。

**山田 英二 教授** 専門分野 / 英語学・音韻論

英語および日本語の音声・音韻の研究を行っています。日本語では、語や句におけるピッチアクセントの配置について、英語では、語や句における強勢(ストレス)の配置について、いずれも生成文法の枠組みで分析を行っています。

**竹安 大 准教授** 専門分野 / 英語学(音声学・音韻論)

主に実験音声学・実験音韻論の観点から、英語と日本語の音声知覚・産出に関する分析を行っています。また、ここ数年間はテスト理論を用いた教育効果測定や評価システムの構築にも携わってきました。

**多田 浩章 准教授** 専門分野 / 英語学(統語論)

統語論と意味論・語用論のインターフェイスについて研究しています。

## 文化・文学コース

### ■イギリス文化・文学

**井石 哲也 教授** 専門分野 / イギリス文化・文学

皆さんはイギリスという国に興味がありますか? 「小説」(フィクション)という文学ジャンルが勃興したとされる18世紀と古い時代とそれ以降のイギリスの文化・文学が私の研究対象です。

**園田 暁子 教授** 専門分野 / イギリス文化・文学

イギリス・ロマン派を中心とする、18世紀～19世紀のイギリス文学を対象とし、著作権の成立・発展を思想史、文学史の中で捉えなおすことを目指して研究しています。

**鶴田 学 教授** 専門分野 / イギリス文化・文学

シェイクスピアを中心とした英国演劇について研究しています。

**福原 俊平 准教授** 専門分野 / イギリス文化・文学

19世紀イギリスにおける、小説と文化の相互関係を研究しています。具体的には、トマス・ハーディという作家の小説を中心に、「文学と建築」、「文学と身体」などを研究テーマとしています。

**渡部 智也 准教授** 専門分野 / イギリス文化・文学

19世紀イギリスの小説家、チャールズ・ディケンズの小説を中心に研究しています。現在は、作品に描かれる「眠り」の描写の役割とその意味の解明を研究テーマとしています。

**岩崎 雅之 准教授** 専門分野 / イギリス文化・文学

20世紀のイギリス小説(E. M. フォスター、ヴァージニア・ウルフ、カズオ・イシグロなど)について研究しています。また、小説を題材にした映画も研究対象としています。

**ジェシカ・シーモア 講師** 専門分野 / イギリス文化・文学

Children's and Young Adult Literature, Tolkien Studies, Popular Culture, and Literary Adaptation

**棚町 温 講師** 専門分野 / イギリス文化・文学

イギリスの初期近代演劇(ウィリアム・シェイクスピアなど)と現代演劇(キャリル・チャーチルなど)について研究しています。

**船田 佐衣子 講師** 専門分野 / イギリス文化・文学

19世紀イギリスの小説家ディケンズの文体について研究しています。主にメタファー(隠喩)やシミリー(直喩)など、作品の中に見られる比喩表現に着目し、認知言語学的観点からその仕組みを解明することをテーマとしています。

### ■スピーチ・コミュニケーション

**石井 和仁 教授** 専門分野 / スピーチ・コミュニケーション、談話分析

言語の運用理論研究。日本語および英語の実際の運用に内在するコミュニケーション的ルール分析をコーパスを用いた談話分析の手法で行い、必要に応じて両者の対照分析も行う。

**一瀬 陽子 教授** 専門分野 / 第二言語習得、第三言語習得、異文化理解、PBL(課題解決型学習)

母語を獲得した後、第二言語や第三言語を学ぶ際のメカニズムの解明について研究しています。

**伊藤 益代 教授** 専門分野 / 言語学、言語習得、統語論、スピーチ・コミュニケーション、語用論

現在は、子どもがどのように語用論的知識を身に付けていくのか、および大人が語用論的知識を解釈する際には処理負担がかかるのか、などなかなか面白い内容ですよ。

**大津 敦史 教授** 専門分野 / 英語教育学

e-learningを中心とするマルチメディアを利用した英語教育の研究と実践、その他英語教育方法論全般。

**奥田 裕司 教授** 専門分野 / 英語科教育法、学習環境デザイン、教材開発

英語学習者が学習を楽しむ気持ちで持続的・自発的に進んでいくにはどうすれば良いのでしょうか。「英語学習の楽しさを引き出す学習環境デザイン」に焦点を当てた研究や学習システム・教材開発を進めています。

**ラリー・キンパー 教授** 専門分野 / TESOL, Computer Assisted Language Learning (CALL)

The Role of Computers for Teachers and Learners in Second Language Education: Theory and Practice

**ティム・クロス 教授** 専門分野 / Critical Media Literacy, Cultural Studies

Critical Media Literacy, Cultural Studies, The Politics of Local Identity and National Culture, 茶道南坊流、博多祇園山笠

**福田 慎司 教授** 専門分野 / 英語教育学

多くの日本人にとって外国語である英語をどのように学べば効果的に身に付けられるのか研究しています。

**松尾 キャサリン 教授** 専門分野 / Speech Communication

Intercultural Communication and Intercultural Communicative Competence Development, Dialogic Linguistics and Meta-Linguistics, Development of a Dialogic Pedagogy for Foreign Language Education, Dialogic Analysis of Classroom Discourse, Debate Education, Communication as Persuasion, Democracies, Ethics and Rhetoric

### ■アメリカ文化・文学

**秋好 礼子 教授** 専門分野 / アメリカ文化・文学

現在は、19世紀中・後期アメリカ文学における身体的差異表象に焦点を当てています。また、単行本として出版された小説だけでなく、当時の新聞や雑誌にも目を向けています。

**大島 由起子 教授** 専門分野 / アメリカ文化・文学

アメリカ文学(メルヴィル、北米先住民)について研究しています。

**ジェファソン・ピーターズ 教授** 専門分野 / アメリカ文化・文学

Children's Literature, Fantasy, Popular Culture, and Comparative Literature and Culture

**高橋 美知子 教授** 専門分野 / アメリカ文化・文学

20世紀のアメリカ小説を中心に研究をしています。私を文学に目覚めさせた作家であるF・スコット・フィッツジェラルドの作品を題材にすることが多いですが、ジョン・アーヴィングやポール・オースターにも興味を持っています。

**光富 省吾 教授** 専門分野 / アメリカ文化・文学

アーネスト・ヘミングウェイ研究、ジャック・ケルアックを中心とするビート・ジェネレーション研究、アメリカ映画を題材にした文化の研究をしています。

**坂井 隆 准教授** 専門分野 / アメリカ文学、特に演劇分野

主な研究対象はアメリカの近現代演劇で、特に今は、アメリカを代表する劇作家テネシー・ウィリアムズに興味を持っています。また、舞台芸術自体の限界と可能性、つまり、舞台上で表現できるものをどこまで拡張できるのか、といった美学的な問題にも関心を持っています。

**銅堂 恵美子 准教授** 専門分野 / アメリカ文化・文学

ウィリアム・フォークナーやトニ・モリスンを中心に、人種やジェンダーの問題に興味を持って研究しています。

**樋渡 真理子 准教授** 専門分野 / アメリカ文化・文学

20世紀の南部文学を研究しています。ウィリアム・フォークナーの研究を中心に、南部小説における「人種混交」が最近の研究テーマです。

# 英語学科Q&A

- Q** 英語学科の情報などはどこで調べられますか?
- A** 専用ウェブサイトを開設しています。学科の特色やカリキュラム、英語学科ブログなど、以下のリンクからぜひチェックしてみてください。

人文学部英語学科 ウェブサイト  
<https://www.hum.fukuoka-u.ac.jp/eng/>



より素早い学科情報提供のため、Twitterアカウントも設置しています。学科の教員がつぶやいています。こちらもぜひチェックしてみてください。

人文学部英語学科 公式アカウント  
[https://twitter.com/Fukudai\\_LE](https://twitter.com/Fukudai_LE)



- Q** 留学の制度はどうなっていますか? 在学中に留学できますか?

- A** 留学には、**英語学科独自の留学プログラム**である**英語圏文化研修**の他、**交換留学**、**海外研修**、**認定留学**の3つがあります。

- **英語圏文化研修(カルガリー研修)**は、**英語学科独自の海外研修プログラム**です。夏期休暇中に**カナダに1カ月弱**滞在します。助成金の支給や単位認定もあり、派遣学生には留学助成金が支給され、留学先大学での授業料が免除されます。留学先で取得した単位は本学の単位として認められます(ただし、全てではありませんので、なるべく本学のカリキュラムと類似する科目を選択することが肝要です)から、4年間で本学を卒業することが可能です。
- **交換留学**は、期間は**1年間**で、協定校は英語圏では英国に3大学あります。選考試験がありますが、派遣学生には留学助成金が支給され、留学先大学での授業料が免除されます。留学先で取得した単位は本学の単位として認められます(ただし、全てではありませんので、なるべく本学のカリキュラムと類似する科目を選択することが肝要です)から、4年間で本学を卒業することが可能です。
- 全学部を対象とした**海外研修は1カ月弱**で、英語圏の研修先は英国に1大学、米国に2大学、豪州に1大学あります。選考や助成金の有無は派遣先により異なります。
- **認定留学**は、事前に本学の許可を得て留学する制度です。学費は本学と留学先の両方に納入する必要がありますが、単位認定が可能です。

- Q** 授業(での使用言語)は英語ですか?

- A** ネイティブスピーカーの先生の授業は、基本的には英語になります(英語学科教員のうち**6人**がネイティブスピーカーです)。そうでない場合は日本語になることが多いですが、英語で授業がなされることもあります。例えば、**SIE(Study in English)**プログラムでは、2年次～4年次の専門教育科目の一部において、英語能力の高い学生のみを選抜した少人数クラスを作り、そこで、原則として英語のみを使用するハイレベルな授業を行っています。



- Q** 学生生活や授業などについて、先生に相談することはできますか?

- A** 英語学科では、3人から4人の学生に対して1人の教員が指導する「**アドバイザー制度**」を導入しています。学習についてはもちろん、学生生活全般についてもきめ細かくに対応しています。また、教員にはそれぞれに**オフィスアワー**が設けられていますから、その時間であれば(予約をとれば他の時間帯でも)自由にオフィスを訪ねることができますよ。

- Q** 「ゼミ」とは何ですか?

- A** **ゼミ(演習)**とは3・4年次の2年間を通して、同じ教員の下で、専門性を深める授業の事です。各ゼミは10人程度の少人数制であり、学生一人一人にきめ細かな指導が行われます。気心の知れた仲間と活発に意見を交わすことにより、コミュニケーション力も高まります。さらに広く、深く学ぶことを目指して、複数のゼミに所属することもできます。2023年度開講ゼミのテーマは以下をご覧ください。

## 【言語・コミュニケーションコース】

- **英語学演習**
  - 身近なところで潜む音声現象の分析
  - 英語学習を科学する
- **スピーチ・コミュニケーション演習**
  - 言語心理学一トのこのころの仕組みや言語習得を考えよう
  - Talking about Japanese-ness in English: critical media literacy examines national identity

## 【文化・文学コース】

- **イギリス文化・文学演習**
  - カズオ・イシグロの作品読解を通じ、ひろく現代社会のあり方を研究
  - ウィリアム・シェイクスピア: 英語・英文学の礎の一つとして
- **アメリカ文化・文学演習**
  - American Dream とは何か
  - ブロードウェイ・ミュージカル研究



- Q** 英語が使える職業に就けますか?

- A** 英語が使える職業というと、英語インストラクター、通訳、翻訳家、ツアーコンダクター、ジャーナリスト、ホテル・スペシャリスト、商社マン、航空管制官、外国と関わる政府機関・民間団体のスタッフといった職業が思い浮かぶでしょう。しかし、一見海外と関係のなさそうな企業や一般消費者になじみのない企業であっても、製造拠点や取引先を海外に持ち、日常的に海外とのやりとりがあるところもたくさんあります。将来を考える際には、まず視野を広げてみるのが大切です。「将来英語を使う職業に就きたい」と希望される方は、ぜひ本学学科スタッフやキャリアセンタースタッフと話をしてみましょう。どのような業界に進むにしろ、共通して必要となるのは、まず基礎がしっかりとした英語力です。また、コミュニケーションをとる上では、相手の宗教・文化・風俗・慣習・政体などを知っておくことが必要となってきますし、聴く・話す以外にも読む・書くことを正確にこなすことが要求されます。このような総合力をぜひ身に付けてください。また、英語学科には語学力を生かして活躍している卒業生が各方面にいますから、コンタクトをとって勉強方法などを聞くのもとても参考になると思います。

# ドイツ語学科

ヨーロッパの真ん中へ！  
多様性を学ぶ「ヨーロッパ特別コース」  
思考と表現の力を鍛える「ドイツ語圏コース」  
ドイツ語をナビゲーターに、21世紀を歩いて行こう。

初歩から学ぶドイツ語と、幅広い運用能力を培う英語。留学生と多言語で学ぶ、日本と欧州文化。

確かな語学力と、多様な価値観の理解に裏打ちされた、他者との交渉に堪える力を身に付け、ドイツ系企業やドイツの日本企業で活躍しましょう。

大学院に進学することで、語学力と問題解決能力にさらに磨きかけられます。

## 取得可能な主な資格

- 中学校・高等学校 教諭一種免許 (ドイツ語)
- 日本語教員

福岡大学 人文学部 Webサイト >



## 求める人材像 (求める能力)

<b>A</b> 知識・理解	高等学校の教育内容を幅広く学習し、ドイツ語圏文化を学ぶに十分な基礎学力を有している人
<b>B</b> 技能	学習や課外活動から得た経験を踏まえて、自らの視点で物事を順序立てて説明することができる人
<b>C</b> 態度・志向性	ドイツ文化に関する高度な専門知識を身に付け、グローバルな社会で活躍する社会人になることへの夢を持ち、専門知識を社会のために積極的に活用したいと考えている人
<b>D</b> その他の能力・資質	自己研鑽により、英語の資格を取得した人やスポーツ活動・競技会等で顕著な成績をおさめた人

求める人材像 (求める能力) の詳細は



## 在学生の声

多国籍の学生と話せる刺激的な日々。  
ドイツを学んで世界が広がった。

### Q1 この学科の魅力は？

ドイツの歴史や文化を幅広い観点から学べる西日本唯一のドイツ語学科で、自分の興味を広げることができるのが特徴です。ドイツ語の習得を目的に入学しましたが、ドイツ語圏の文化や歴史に親しむことで、言葉の背景にあるものを知ることができ、深い学びにつながっています。また、本学科は留学に関するプログラムも盛んです。世界を肌で感じることで、学ぶ意欲も増えています。

### Q2 好きな授業は？

フランス語学科の学生と合同で実施する「クロスカルチュラル・リテラシーA」です。グループに分かれ、与えられたテーマをもとに意見交換をする授業で、後期からは留学生を迎えて行われます。発表などを通じて、自らの思考を深めることができました。国籍を問わずさまざまな人と話す機会がある大学生活はとても刺激的です。



中島 阿子 さん

人文学部 ドイツ語学科 2年次生  
埼玉県 川口北高校出身

※2022年取材時の情報です。

### 時間割 [2年次前期]

	MON	TUE	WED	THU	FRI
9:00		インターディエイト・イングリッシュ I	ヨーロッパ文化基礎論 A		
10:40	地球圏科学入門	プレゼンテーション基礎 A	ドイツ語 II A		ドイツ語 II B
13:00	生涯スポーツ論	社会思想史		ラテン語 A	宗教学 A
14:40	コミュニケーション基礎 A		ドイツ文学史 A		インターディエイト・イングリッシュ III
16:20				クロスカルチュラル・リテラシー A	

その他カリキュラムの詳細は >



## 卒業生の声

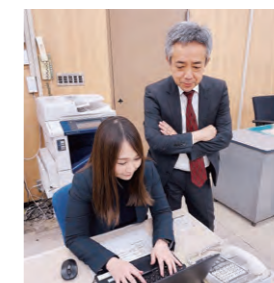
1カ月のドイツ留学で価値観が変化。  
異なる考えを受容する力は仕事でも必須。

福岡を拠点とする地方銀行で、法人や個人事業主を対象に、融資の提案や経営へのアドバイス、金融情報の提供を行っています。

在学中は1カ月間、ドイツでの研修に参加しました。異なる文化や習慣、考え方を持つ人々と触れ合ったことで、自身の価値観が大きく変わったと思います。異なる意見や考えを持つ人を受け入れる姿勢は、円滑な人間関係づくりや臨機応変な対応が求められる現在の仕事に欠かせない要素であり、とても役立っています。

本学科では、ドイツ語を軸にドイツ語圏とそれを取り巻くヨーロッパの社会や文化についても学んでいきます。ヨーロッパや世界の情勢を知ることによって、自分自身の視野も広がったと思います。「留学し

たい」「英語以外の語学を学びたい」といった小さな興味からのスタートでも、先生方が必ず私たちの興味や関心を引き出し、素晴らしい体験をもたらしてくれました。



八木 琴美 さん (2019年卒業)

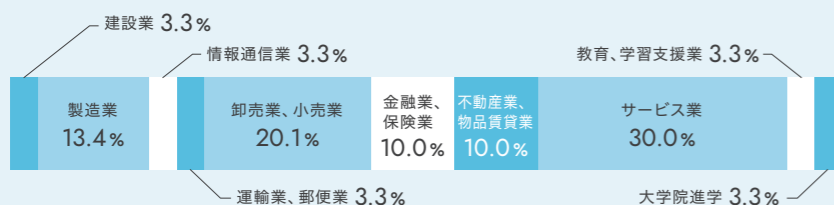
西日本シティ銀行 吉塚支店

※2022年取材時の情報です。

## ドイツ語学科での4年間

	1年次	2年次	3 / 4年次	卒業後
ヨーロッパ特別コース	基礎教育	専門教育	専門教育・論文・就職	ヨーロッパと日本の懸け橋となって国際舞台で活躍する人に
	「ヨーロッパ学入門」でヨーロッパの成り立ちと今を学ぶ。「日本語リテラシー」で自国文化の発信力を養う。	留学生との共同授業、ドイツ語圏現地研修や留学を通じて、ヨーロッパの文化に親しみ、コミュニケーション、プレゼンテーション力を伸ばす。	ヨーロッパの言葉と文化の理解をさらに深め、英語やドイツ語を基底言語としたゼミを通じて、外国語でのプレゼンテーションや議論の能力を養う。	
ドイツ語圏コース	基礎教育	専門教育	専門教育・論文・就職	複眼的思考力を養いグローバル化社会を舞台に活躍する人に
	「ゲルマニスティク入門」でドイツ、スイス、オーストリアなど、ドイツ語圏文化への関心を養う。	ドイツ語圏現地研修でドイツを身近に体験し、文化の違いを肌で感じることで、複眼的思考力の基礎を作る。	地域文化・言語文化・表象文化に関するゼミを選択し、関心あるテーマを深めていく。ゼミでの討論や論文作成を通じて、問題解決能力を高める。	

## 主な就職・進路先 (2022年度卒業生実績)



● 人文学部の主な就職先は [53ページ](#) >

# 学びの流れ

## 1年次生 学びのはじまり

「基礎講読」から「講読」までの授業でドイツ語の基礎を身に付けます。「ゲルマニスティク入門」または「ヨーロッパ学入門」でドイツ、ヨーロッパについて広く学びましょう。4年間、ドイツ語圏および、ヨーロッパについて段階的かつ専門的に研究するための第一歩です。

## 2・3年次生 現地研修と留学へ

「基礎講読」から「講読」までの授業でドイツ語応用能力を獲得し、「演習I」、「概論」、「特講」で専門的知識を習得しながら、考える力とまとめる力を伸ばします。「現地研修」(短期留学)でドイツ・ヨーロッパを体感することも、半年か1年間の交換留学をすることも可能です。

### ✈️ 留学について

#### 短期留学

費用	50万円程度(授業料とは別に負担)
場所	イェナ大学(16世紀創設の伝統校)、ホテル滞在
期間	8月(授業約3週間、研修旅行4~5日)
事前学習	出発までに、渡航とドイツ滞在に必要な基礎知識を習得します。
現地サポート	ドイツ語学科専任教員が引率。ただし、週末は自由行動のため、旅行に出た学生等には電話で対応。

ドイツ語で発表！



ゲートとシラーの像



サッカー観戦も



ヴァルトブルク城



#### 交換留学

協定校	①フリードリヒ・シラー大学(イェナ大学) ②デュースブルク・エッセン大学
期間	1学期(半年)または2学期(1年)
派遣定員	各大学5人(計10人/1年)
出発	秋(10月)または春(4月)
出願資格	成績等に関する制限あり
その他	大学からの渡航費補助あり

〔留学実績〕 2018年:10人(①5②5)  
2019年:10人(①5②5)  
2020/21年:新型コロナウイルス感染症の影響により派遣中止  
2022年:8人(①5②3)

### 「フリードリヒ・シラー大学イェナ」留学体験記

大釜 凜さん(2020年入学)



私は2022年の10月から翌年2月までの約半年間、交換留学制度を使いドイツのイェナに留学しました。生活の違いに戸惑うことも多く、壁にぶつかっては挑戦し続ける日々でした。

最初の方の講義では、教授が話すドイツ語も、速く、分からない単語ばかりでいつも不安でした。それでも積極的にドイツ人との関わりを持ち、クラスメイトとドイツ語で話をしていくうちに、今ではドイツ語を学ぶことも話すことも楽しいです。そして、毎日ネイティブのドイツ語に触れるので、彼らのように綺麗な発音がしたいという気持ちが芽生えるようになり、音声学の講義には特に力を入れました。疑問があれば積極的に質問をし、毎日練習することで、試験では好成績を取ることができ、

留学前よりもドイツ語の発音に自信を持てるようになりました。

正直、半年という時間は思っていたよりも短く、ドイツ語が聞き取れるようになってきて、ようやくドイツ生活にも慣れてきたところで留学が終わってしまい、少し悔しいです。しかし、この悔しさがドイツ語力をより高めたいというモチベーションになっています。

この交換留学は、語学以外にも、人との出会いや挑戦することの大切さを学び、同時に自分自身を見つめ直すことができた時間だったと実感しています。もし留学に興味があればぜひ行ってほしいです。新しい世界での出会いと経験は、人生においてとても貴重なものになります。



Webでオーキャン配信中!

ドイツ語学科のウェブサイトから  
仮想オープンキャンパスが楽しめます。



## 3・4年次生 ゼミで専門性を高めよう

### 金山ゼミ

#### ドイツ発見的世界

中島 萌香さん(2020年入学)



金山ゼミでは、王子がウエイトレスと恋におちる甘く切ないお話である「アルト・ハイデルベルク物語」というひとつの作品を読み通すことで、ドイツ語力を養っています。原文の翻訳をゼミ生みんなで考えながら、文法事項なども含めた丁寧な説明を受けることができます。作品を読み終わる頃にはドイツ語の文法力そして独文学を楽しむ心が育まれます。また、ドイツに近代的手工業品としてのルーツがある球体関節人形がティーチングアシスタントとして解説やドイツについてのさまざまなお話をしてくれるので、楽しみながら学ぶことができます。卒業論文を作成する上で重要なテーマ探しのきっかけを得ることもできます。そして、前期や夏季休業中の課題である文章を使いながら卒業論文の書き方などの指導をしていただけるため、卒業論文作成の準備を行います。他にも、ドイツ語での手紙やメール、年賀状の書き方といった実用的なドイツ語についても学習しています。

### 森澤ゼミ

#### ドイツ語を通して知る

中野 亜耶さん(2020年入学)

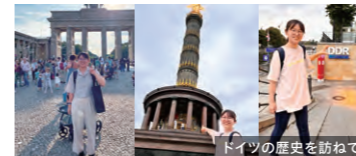
森澤ゼミでは、「ことば」をベースにおいて、自分の興味のある分野でテーマを選び、様々な方法で研究します。先生と相談した上で決定した研究内容については、各学期に1回ずつ、パワーポイントを用いてプレゼンテーションを行い、他のメンバーと議論します。発表後は、プレゼンテーションの良かった点や悪かった点も共有するため、研究だけでなく、プレゼンテーションのスキルアップも行うことができます。また、新聞等で見つけたドイツ語圏の国々に関する記事について、他のメンバーと議論するミニ発表では、ドイツ語圏の国々の社会や文化に関する多くの時事情報を得ることができます。私は、ドイツの食文化について研究しています。初めはドイツのジャガイモや肉に関する食の歴史を考察しました。しかし、現在、ドイツではヴィーガンとベジタリアンの割合が増えており、肉が大きなウエイトを占めていたドイツの食文化が変化しつつある点に着目しています。変化の背景には、動物福祉、環境問題への懸念、肥満などの生活習慣病予防のための食育などがあります。食文化について研究していますが、食だけでなく、食をめぐるドイツ人の考え方の変化についても分析を行っています。



### 富重ゼミ

#### 批評の力を

金丸 美穂さん(2020年入学)



このゼミは主に「批評」というものを行っています。文学、映画や曲の歌詞、時事ニュースを取り上げ、意見を交換し、深く掘り下げることで理解に近づくことが目的です。授業中は机を向かい合わせにしているので互いの顔が見え、意見交換がスムーズにできます。休日に博物館に行ったり、食事をしたりと仲のいいゼミです。

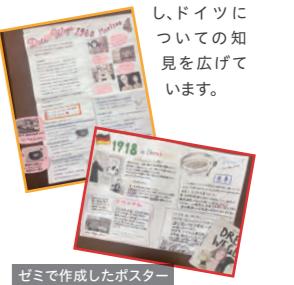
私はオスタルギーという現象の研究をしています。第二次世界大戦後、東西に分割されたドイツは、1990年に東独が西独に吸収される形で再統一されます。オスタルギーとは、ソ連の影響圏で社会主義であった旧東独地域に住む人々が、統一後にかつての生活を懐かしく想う気持ちのこととされています。私は高校生のときに読んだ記事でそのような人々がいることを知り、報道されている統一を喜ぶ声の裏にさまざまな感情があることに興味を持ちました。これから卒業論文に向けて、東ドイツ時代の生活を扱った映画作品等から、人びとの心情の複雑さを考察していきたいと思っています。

### ゴシックゼミ

#### 現代史の中の 人びと

椎屋 浩香さん(2020年入学)

私が所属するゴシックゼミでは、ドイツ語で書かれた『Drei Wege』というマンガを使って研究をしています。マンガは3人の女性が主人公で、それぞれ生きた年代が「1918年/第1次世界大戦終結時」、「1968年/ドイツの学生運動時」、「2018年/現在」と分かれています。ゼミ生はそれぞれ自分が興味を持った年代ごとに分かれてグループを作り、会話を読み込み、また各ページに出てくる本や音楽、服装、食べ物などについて詳しく調べ、それらがマンガの内容とどうつながりがあるのか、実際にそれらが当時の人々にどのような影響を与えたのかについて、分かったことを共有



## 4年間の集大成 卒業論文と卒業研究

### 新しい映画運動としての ニュー・ジャーマン・シネマ

江崎 寿宏さん(2019年入学)

私は、大衆文化の一つである映画に着目し、ドイツ映画革新の動きとして起こったニュー・ジャーマン・シネマを研究テーマとしました。ニュー・ジャーマン・シネマは、1960年代に既存の古いドイツ映画からの脱却を目指し、ドイツの若い映画人たちが巻き起こした映画運動です。特徴の分析のために、他国で起こった「アメリカン・ニューシネマ」や「ヌーヴェル・ヴァーヴ」といった新たな傾向との比較、実際の映画作品から見える社会事情などを考察しています。工夫した点として、ゼミの授業で学んだ映画音楽やドイツの映画ポスターなどにも触れ、多角的な観点から卒業論文を書きました。

研究の中で、ニュー・ジャーマン・シネマが商業主義に抗いつつ、芸術的な独自性を生み出した一方で、国際性を増しながら、時代と共に変化していったことが分かりました。さらに、多様性の強調や相互理解がテーマとして扱われた点では、ニュー・ジャーマン・シネマが時代を先駆けていたと捉えることもできます。



「戦後ドイツの映画ポスター」を手に

### 「環境先進国ドイツ」の 脱原発政策の行方

濱田 英里さん(2019年入学)

私は地元が環境モデル都市に指定されていることもあり、「ドイツの環境政策」に興味を持ってドイツ語学科に入学しました。ドイツ語で環境に関するドイツの記事が読めるようになった時はとても達成感がありました。そして、ドイツの環境政策の中でも「脱原発」というテーマに興味を抱き、卒業論文のテーマにも選びました。

この政策は、ドイツが2022年12月末までに国内にある全ての原子力発電所の稼働を停止し、原子力に頼らない電気供給を実現する、という取り組みです。本来であれば、すでにドイツの原発は止まっているはずですが、ウクライナ戦争を契機とする電力不足に耐え切れず稼働の延長を決めました。11年の歳月を懸けた計画も電力危機には太刀打ちできなかったのです。このように脱原発政策の過渡期に卒論を執筆したため、日々更新される情報を考察する必要がありました。この過程は今しかできないことだったと感じます。また卒論執筆を通して文章を理論立てて構築し、より広い視野で物事を理解することができるようにもなりました。



ドイツの友人と

卒業後のさまざまな未来 君たちの羽ばたく先は

ドイツ鉄道ICE 1等車両乗務員として勤務中!

松浦 亜沙子 さん (2011年3月卒業、ドイツ在住)

「英語以外の語学を勉強してみたい」という動機で入学したドイツ語学科では、語学だけでなく文化や歴史を学び、今まで知らなかった世界を知ることができました。特に2年次に参加した現地研修は、短期間ではあったものの、私にとって大きな刺激となりました。その際に初めてドイツを鉄道で旅行をし、鉄道旅行に魅力を感じたことから、ゼミ論では【鉄道】をテーマに日独比較をしました。

大学卒業後、ヨーロッパ旅行を専門とする旅行会社に就職し、その間にドイツ支店へ1年出向の機会を得ました。その後、再度ドイツ語をしっかりと学びなおすために語学留学し、現在はドイツ鉄道(Deutsche Bahn)に転職して、高速列車ICEの1等車両の乗務員として勤務しています。学生時代から好きだったドイツ鉄道旅行に職員として携わることができていることにとてもやりがいを感じていますし、何よりドイツ語学科での学びや経験が今につながっていると実感しています。



ドイツと日本を結ぶ貿易商社を経営

篠原 友美 さん (2001年3月卒業、株式会社ブルックスジャパン代表取締役)

入学前は「何か海外と関わる仕事がしたい」という漠然とした夢を持っていただけでしたが、在学中にドイツ語やドイツ文学だけでなく、ドイツの歴史・文化・習慣等を学ぶことができたこと、夏期ドイツ現地研修(当時はハンブルク大学)を経験させていただいたことがその後の人生で大いに役立つことになりました。

卒業後、ヨーロッパやアジア諸国の製品を輸入する仕事に就き、2007年に輸出入取引を中心とする商社を設立しました。

現在取引国は世界30カ国以上に渡りますが、主軸となっているビジネスはドイツの工業用機械を輸入し、日本の産業へ卸売する事業で、売上の約半分を占めています。在学中に学んだことがドイツとのコミュニケーションを円滑にし、ビジネスの成功に導いてくれています。



多言語環境で国際貿易

重松 あや さん (2017年3月卒業、西日本鉄道(株) 国際物流事業本部)

私は現在、国際貿易の仕事をしています。業務内容は、貨物を航空便・海上便のどちらで輸送するかを提案したり、海外駐在事務所の設立に携わったりと、多岐に渡っています。そうした業務のなかで共通しているのは、毎日外国語を用いている点です。

外国語を活かせる職業に就きたいと考えていたこと、また、もともとヨーロッパに興味があり、ヨーロッパで中心言語として話されているドイツ語を学びたいと思ったことから、西日本の私立大学で唯一、専門の学科でドイツ語を学べる福岡大学に進学しました。大学3年次には、ドイツへ半年間の短期留学を果たし、憧れだったドイツでの生活を存分に満喫しつつ勉学に励みました。

この経験を通し、価値観や知見が広がったのはもちろん、やはり語学力を向上させることができました。日々の業務でもその経験を活かしたことで、2023年4月から3年間、タイのバンコクで駐在員として働く機会を得ました。ドイツ語圏ではありませんが、異文化理解力を評価してもらえた結果だと思います。今後は現地スタッフと協力し、より多くのお客様に西鉄の輸送サービスを使ってもらえるよう邁進したいと思っています。



英語の先生になった先輩もいます!

ドイツ語学科では「英語」の教員免許状(中学校・高等学校教諭一種)を取得することができます。そのためには学業成績が一定の基準を満たす必要があり、二つの外国語を並行して学ぶには相当の努力が求められますが、英語とドイツ語の二刀流にチャレンジする価値は大いにあります。「ドイツ語は役に立たない」なんて思っていないですか? ドイツ語は英語の兄弟のような言語です。似ているけれどちょっと違う。その違いが大切です。ドイツ語を学ぶことで、英語の姿がくっきりと見えてくるのです。

ドイツ語学科を卒業した先輩の中には、実際に英語の先生になって福岡市内・県内の学校で教壇に立っている方もいます。中には卒業後に大学院に進み、ドイツ語を専門的に研究しながら英語の先生になる勉強を続けた方も。現在はもちろん教員として活躍中です。外国語の面白さを人に伝える仕事。とても魅力があると思いませんか? ドイツ語学科での学びはその出発点になるのです。



教員・研究の紹介

※2023年4月1日現在



金山 正道 教授

専門分野  
「ドイツ文学」

福岡で3代100年にわたる教育研究に従事してきました。祖父は西南学院大学教授(英文学)、父は修猷館高校教諭(日本数学会会員)です。私の授業のモットーは「真実に、楽しく」です。



マーレン・ゴツィック 教授

専門分野  
「比較文化(日独)」「日本学」「社会学」「芸術学」

ドイツと日本を比較しながら現代社会や芸術の研究をしています。



堺 雅志 教授

専門分野  
「ドイツ・オーストリア文学」

ドイツ文学の中でも特に世紀末ウィーンを中心とするオーストリア文学が専門。ドイツ語圏の映画、スポーツ、衣食住についても興味を持っています。



田口 武史 教授

専門分野  
「ドイツ文化」「ドイツ文学」

近代のドイツ語圏におけるVolk(民衆/国民/民族)の諸相を文学や思想、社会状況など多面的な切り口で分析しています。



富重 純子 教授

専門分野  
「ドイツ文学、とくにユダヤ系ドイツ語文学、東欧のドイツ語文学」

ハイネのようにユダヤの出自を持ち、ドイツ語で書いた作家、東欧にも広がっていたハスブルク帝国出身の作家たちなどの研究をしています。ヨーロッパの映画も、研究テーマの一つです。



永田 善久 教授

専門分野  
「ドイツ文学」

ヤコブ・グリム(グリム兄弟の兄)の思想を研究しています。「ヨーロッパ学ICT」授業も担当します。



森澤 万里子 教授

専門分野  
「ドイツ語学」「歴史社会言語学」

場面や相手に応じたことばの使い分けによって人はどのように人間関係を築こうとするのか、その分析をテーマの一つとしています。



有馬 良之 准教授

専門分野  
「ドイツ事情」

学校制度を中心とした若者のあり方、環境、家族、犯罪といった問題をできる限り広い視野で考察しています。



片岡 宣行 准教授

専門分野  
「ドイツ語学」

ドイツ語の文はどんな仕組みになっているのか、文の形と意味はどう関わっているのかを研究しています。外国語学習法の研究・開発にも関心があります。



平松 智久 准教授

専門分野  
「ドイツ文学」

18~19世紀に活躍したゲーテによる代表作「ファウスト」の研究を中心として文学と自然科学(自然哲学・自然科学)の関連を探っています。



アンドレ・ライヒャルト 准教授

専門分野  
「ドイツ文学」「言語学」「メディア学」「ドイツ語教授法」

記号学を用いて日本のサブカルチャーの研究をしています。



スサナ・デル・カステイヨ 講師

専門分野  
「ドイツ語学」

豊かなオノマトペ(擬声語・擬態語)を持っている日本語がドイツ語でどのように翻訳されているかを研究しています。

課外活動



■ドイツ語クラブ「シュタムティッシュ」活動中!

多彩なイベント ドイツ語学科では、授業時間外のドイツ語学習やドイツ文化体験をサポートするドイツ語クラブ(大学公認愛好会)を主宰しています。ドイツ映画鑑賞会、新歓コンパやピクニック、自作ソーセージやシュニッツェル(カツレツ)の料理会、合宿、仮装パーティー、ドイツの卓上ゲーム会、ドイツ留学相談会、七隈祭への出店、クリスマス会などのイベントを催しています。

■チャレンジ!

独検1級に合格! ドイツ語技能検定試験対策自主勉強会をしたり、通訳としてのインターンシップ(企業研修)にも挑戦したりしています。ドイツ語学科で学ぶと、卒業までに独検2級レベルの力がつくことが期待されます。中には3・4年次で準1級・1級に合格する人もいます。

詳しくはドイツ語クラブウェブサイトをご覧ください。



# フランス語学科

ヨーロッパを深く学ぶ  
「ヨーロッパ特別コース」と  
フランスをさまざまな角度から多面的に学ぶ  
「フランス語圏コース」。  
言葉を武器に、自由で個性的な生き方を見つける。

フランス語の習得を通して、長い歴史を持つフランス、そしてヨーロッパの文化に触れ、これを理解し、深く味わうとともに、ネイティブスピーカーの教員をはじめ、ヨーロッパからの留学生や、留学先で知り合う人々との出会いと対話を通して、自ら考え発言する力を磨きます。  
4年間で養われる自立の精神と確かなフランス語運用能力とが、国内外での社会貢献を支える礎となるはず。

## 取得可能な主な資格

- 中学校・高等学校 教諭一種免許 (フランス語)
- 日本語教員

福岡大学 人文学部 Webサイト >



## 求める人材像 (求める能力)

<b>A</b> 知識・理解	高等学校の教育内容を幅広く学習し、フランス語圏文化を学ぶに十分な基礎学力を有している人
<b>B</b> 技能	学習や課外活動から得た経験を踏まえて、自らの視点で物事を順序立てて説明することができる人
<b>C</b> 態度・志向性	フランス文化に関する高度な専門知識を身に付け、グローバルな社会で活躍する社会人になることへの夢を持ち、専門知識を社会のために積極的に活用したいと考えている人
<b>D</b> その他の能力・資質	自己研鑽により、英語の資格を取得した人やスポーツ活動・競技会等で顕著な成績をおさめた人

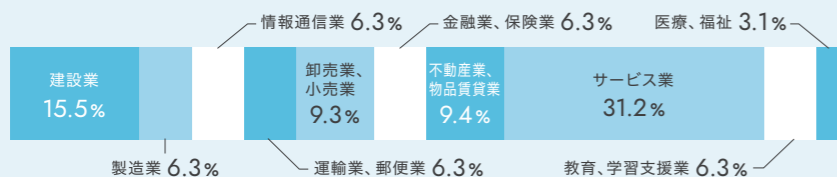
求める人材像 (求める能力) の詳細は



## フランス語学科での4年間

	1年次	2年次	3/4年次	卒業後
ヨーロッパ特別コース	基礎教育 「ヨーロッパ学入門」でヨーロッパの成り立ちと今を学び、「日本語リテラシー」で日本を発信する能力を養う。	専門教育 留学生を交えた環境でコミュニケーション、プレゼンテーションの基礎力を伸ばす。	専門教育 / 論文・就職 外国語運用の経験を積みながらヨーロッパ文化への理解をいっそう深め、次のステージへの揺るぎない土台を築く。	卒業後 高次のコミュニケーション能力を武器に国際舞台で活躍する人へ
	フランス語圏コース フランス語の基礎を固め、フランス文化の豊かな広がりを目を開く。	週4回の密度の濃い授業とフランス語圏現地研修でフランス語の語感を磨く。	少人数制ゼミに所属し、各自の関心に沿った研究を通して論理的思考と正確な意思伝達能力を獲得する。	卒業後 フランス語に堪能で自由・独立・個性を尊ぶ知性と品格ある人へ

## 主な就職・進路先 (2022年度卒業生実績)



● 人文学部の主な就職先は [53ページ](#) >

## 在学生の声

フランス語を使って異文化交流。  
さまざまな価値観に触れるのが楽しい。

### Q1 この学科の魅力は？

フランス語の文法だけでなく、文学や文化についても学べます。普段は話す機会の少ないフランス語ですが、留学生との会話や交流など、座学で学んだ内容を声に出して発信するチャンスも多く、語学力が着実に身に付いていると感じます。発音が難しいといわれるフランス語ですが、ほとんどの学生はゼロからのスタートなので初心者でも安心してチャレンジすることが可能です。先生との距離が近いのも魅力です。

### Q2 好きな授業は？

「クロスカルチュラル・リテラシーA」では、決められた議題についてグループに分かれて留学生と一緒にディスカッションを行います。欧米やアジアなどさまざまな国の文化や価値観について話し合う機会はとても興味深く、貴重だと感じます。こうした交流がきっかけで自分の世界が広がるのは、楽しく新鮮な体験です。

### 🕒 時間割 [2年次前期]

	MON	TUE	WED	THU	FRI
9:00		朝鮮語ⅡA		プレゼンテーション基礎A	
10:40			フランス語ⅡB	比較文学概論	フランス語ⅡA
13:00	生涯スポーツ論		フランス語圏現地研修	フランス文学史A	コミュニケーション基礎A
14:40	ヨーロッパ文化基礎論A		社会学A	コンピュータ入門Ⅰ	朝鮮語ⅡB
16:20				クロスカルチュラル・リテラシーA	

その他カリキュラムの詳細は >



横内 香音 さん

人文学部 フランス語学科 2年次生  
福岡県 香住丘高校出身

※2022年取材時の情報です。

## 卒業生の声

世界で2番目に多く話されている公用語。  
だからこそ、もっと広い世界とつながれる。

現在は、「都市開発事業本部」という部署で商業施設の運営管理に携わり、集客イベントの企画立案をはじめ販売促進業務を担当しています。

私は入学前から、将来は福岡の街づくりに貢献したいと考えていました。そのためには学生のうちから世界中の都市を見ておく必要があると考え、「2番目に多く話されているフランス語を学べば、より広い世界を知ることにつながるはず」と思い、進学を決めました。

1年間のフランス留学中は、フランス国内だけでなく多くの国に足を運び、福岡の良さや足りないものに気付くことができました。留学中に気付いた街づくりに関するアイデアはノートに書き留め、今でも仕事に生かしています。

留学先ではSNSでコミュニティを作り、パーティーや小旅行を企画しました。ここで身に付けた「周りを巻き込む力」は現在の仕事でも、同僚やテナントに協力を求める際に非常に役立っています。



鶴 弦人 さん (2020年卒業)

西日本鉄道株式会社 都市開発事業本部  
ソラリアステージ運営室

※2022年取材時の情報です。

# 二つのコースで フランスを ヨーロッパを 実践的に、深く学ぼう!



**ヨーロッパ特別コース(10人程度)と  
フランス語圏コース(40人程度)に分かれ、  
少人数クラスでアットホームな雰囲気の中、  
フランス語とフランスを中心としたヨーロッパ文化を学びます。  
ヨーロッパの言葉と文化を知り、あなたの未来を切り拓きましょう!**

ヨーロッパ特別コースは、定員10人。ネイティブ教員による授業を数多く配したカリキュラムで、フランス語のコミュニケーション力を鍛えます。ドイツ語学科ヨーロッパ特別コースと合同のクラスでは、フランス語圏・ドイツ語圏からの留学生を交えた多言語環境に身を置くことになります。「語学強化プログラム」で、英語・ドイツ語(どちらか一方を選択)の運用能力も培います。授業や演習では、高度なコミュニケーションの基礎となる、ヨーロッパの地域文化・言語文化・表象文化、それに自文化である日本文化への理解を深めます。

フランス語圏コースでは、ヨーロッパだけでなく、アフリカ、北中米諸国をはじめ全世界で広く用いられるフランス語の世界を探究します。ゼロから始めるフランス語のトレーニングを積み重ねるとともに、フランス語圏の地域文化・言語文化・表象文化をさまざまな角度から学びます。3・4年次のゼミでは、それぞれのテーマを見つけ、フランス語力を鍛えながら行う調査と考察の結果を発表します。問題の発見と解決、それを分かりやすくプレゼンテーションするという社会人としての基礎を身に付けます。

両コースとも、1年間の交換留学(フランス、ベルギー)や1カ月間の現地研修(ベルギー)に参加し、海外生活を体験することができます。これに参加できない学生も、常時迎え入れている留学生との交流の機会に恵まれます。中学・高校の教員免許(フランス語、英語)、日本語教員免許が取得でき、大学院進学の道もあります。国際的な職場で活躍する職業人として、成熟した市民として、教養と見識を備えた家庭人として、豊かな人生を築くための足場がここにあります。



## ✈️ 海外語学研修体験記

三角 彩恵さん [東筑高校卒]

私は海外語学研修でベルギーに3週間、フランスのパリに1週間滞在しました。ベルギーのルーヴァンラヌープでは素敵な先生方や友人と出会うことができました。研修の初めのころは、現地の方の言っていることを聞き取ることがままならなかったのですが、日を追うごとに積極的に会話を楽しめるようになり、自分の成長を感じることができました。ベルギー滞在時には友人たちとベルギーの美味しいものを食べたり、ビールを飲んだり、街へ出掛けたり、日本とは異なる文化や慣習に毎日触れることができ、とても刺激的な日々を送っていました。フランスのパリでは目に入るもの全てが魅力的で圧倒されました。レストランのメニューなどはフランス語表記のものも多く、自分のフランス語の能力を試すとても良い機会になりました。現地の方は私の拙いフランス語でも、フランス語で話しかけたことを喜んでくださり、たくさん会話を楽しむことができ、改めてフランス語を学ぶ楽しさや、現地の方と現地の言葉(フランス語)で会話する喜びを感じました。この研修を通して私は自分の成長を感じることができました。この4週間は私にとってかけがえのない宝物です。



## ✈️ 交換留学体験記

守尾 ユーリ 拓海さん [済々黌高校卒]

私は、ベルギーのリエージュ大学に1年間留学していました。ベルギーは国内で三つの言語が話され、またさまざまな国に囲まれた小国であるため人々がすごく温かく親切です。自分がこの国で生活することなど決まるまでは想像もつきませんでしたが、今ではどこよりもベルギー、特にこの日本とは全く違う街、リエージュの虜です。大学では現地の友達はもちろん、世界中から来た友達と毎日濃い時間を過ごしました。出会う人々からは、特に勉学の面で刺激を受けることが多く、自己研鑽の必要性をここで感じたことは未だかつてありません。文化の面においても、宗教や歴史からくる日本にはない価値観や習慣を肌で感じるとともに、外から見ると、日本という国の素晴らしさも知り、自分の将来の展望は大きく変化しました。また、留学生の間では英語での会話がほとんどなので、フランス語と英語を両方上達させることができます。授業はフランス語でも英語でも受けることができますが大変難しいです。ベルギーで過ごしていた時間が今の人生で最も刺激的で、価値観や思考を多様化させ、自分自身に幅を持たせ豊かにしてくれていると確信しました。この文章を読んだ皆さんは少なからず留学に興味を持っているはず。この交換留学のプログラムを使って留学に行くことを心の底からお勧めします。何度人生があらうと、私は、ここリエージュに留学をすることでしょう。



溝上 耀史さん [日本放送協会学園卒]

Salut! 僕は今、交換留学制度を使ってベルギーのルーヴァン・カトリック大学で勉強しています。僕が住んでいるルーヴァン・ラヌープはブリュッセルから車で約1時間のとても小さな町で、多くの学生がkotと呼ばれる学生寮に住んでいます。このkotにはさまざまな種類があり、中でもkot mangaに住んでいる学生は日本人留学生の生活の手助けをしてくれます。僕が履修しているフランス語の授業は基本的に全てフランス語で行われていて、DELF・DALFの級によってクラス分けされています。授業は主に会話することに焦点が置かれていて、文法は日本で勉強した範囲で十分カバーできると思います。そして、授業や現地の学生との会話を通して、教科書では学べない、生のフランス語を学ぶことができます。また、クラスにはさまざまな国から来た留学生がいるため、たくさんの友達を作ることが可能です。週末はクラスで知り合った友達や日本語を学んでいる現地の学生と一緒にsoiréeをしたり、バーに行ってビールを飲んだりして楽しんでいます。また、彼らとの会話を通してさまざまな生き方を知り、将来への可能性の幅が広がりました。ここでは毎日フランス語と触れることができるので、僕は楽しくて毎日があっという間に過ぎていきます。そして、学部を卒業した後に必ずここに戻ってこようと思わせる魅力があります。皆さんにも交換留学を通してたくさんの素晴らしい経験を積んでもらいたいです。[追記]留学生同士の会話には英語が用いられることが多く、英語を多少話そうとすれば、友達を作る上で役に立つでしょう。そして、留学をする前に、できるだけたくさんの単語を覚えることをお勧めします。



川上 玲央さん [筑前高校卒]

僕は交換留学生として1年間、フランスのセルジー・ポントワーズ大学に留学しました。セルジー・ポントワーズ大学には日本語学科があり、日本人の留学生はその学科に所属しながら、その学科の日本語を勉強する学生と一緒に学校生活を送りました。授業は日本語の授業のアシスタントをしたり、自分のレベルに合ったフランス語の授業をフランス人の先生とフランス語で勉強したりするものがありました。授業では話すことがメインなのでフランス語のレベルアップになりました。学校はパリから車で40分ほどで、年間の定期券もあったので授業の後はよくパリに観光に行きました。僕が住んでいた場所はセルジーという地区でパリほど物価が高くない、スーパーやレストランも多くあるので生活には困りませんでした。また、近くに小学校や幼稚園があり、人も多いので安全面では安心できました。フランスではしばしばバカンスという2、3週間の休みが設けられます。そしてフランスはEU加盟国なので、時間があればベルギー、スペイン、オランダ、ドイツ、イタリアなどさまざまな国に旅行に行くことができました。このように、普段できないようなことができるのが留学です。毎日目まぐるしく変わる環境にストレスを感じず、むしろ楽しもうとする心さえあれば、留学は必ず成功します。たくさんの人に出会い、自分ができること、可能性を広げたい人には福岡大学の交換留学プログラムはおすすめです。



**Point** フランス語学科では、ベルギーで3週間、フランスのパリで1週間、合わせて4週間の集中フランス語研修を「フランス語圏現地研修」としてカリキュラムに取り込み、単位を認定しています。また交換留学制度により、フランスまたはベルギーの大学で約1年間の長期留学が可能です。



# ゼミ紹介

## 井関ゼミ

中庭 恵ティファニー さん [糸島高校卒]

私が所属する井関先生のゼミでは、「18世紀フランス」をテーマにそれぞれ気になった事を調べ、パワーポイントを使いながらプレゼンします。私自身プレゼンの仕方やレポートの書き方が全く分かりませんでした。先生が丁寧に教えてくださったり、ゼミのメンバーの人それぞれのプレゼンも参考にしたりしながら楽しくプレゼン、レポートを作成する力をつける事ができ、ゼミだけでなく他の授業の課題にもとても役に立ちました。ゼミのメンバーの発表に対し、質問を出し合いながらみんなでテーマについての理解を深める事ができるのは少人数のゼミだからできる事だと思います。

また、私は課外活動として、社交ダンスのサークルに所属しています。ほぼ毎日の練習と週末の遠征がありながらも、ゼミ活動に取り組み、また井関先生やメンバーの協力の下、活動する事ができます。私以外にも課外活動をしているメンバーの舞台をみんなで観に行く機会もあり、刺激を受けました。

フランスの事はもちろん、4年次の就活のための講座も開いてくださり、私たち学生のためにさまざまな取り組みを考えてくださる素敵な先生です。



# 進路・就職

本学科ではフランス語、それに英語の教員免許が取得でき、それを生かして各種学校の教員となった卒業生も少なくありません。その他、出版、放送などのマスコミ、銀行、商社、旅行会社、金融関係など、幅広い分野からの求人があります。

## ■主な進路・就職先

一般企業	マスコミ、旅行会社、商社、銀行 など
教育研究分野	教員、大学職員、 日本語教員(フランス、タイ、韓国) など
官公庁などの専門職	国家公務員(国税庁)、 地方公務員(消防、警察) など
大学院への進学	本学大学院人文科学研究科(仏語学仏文学専攻)、 他大学の大学院



## ■Graduate's Voice 卒業生の声

フランス語学科での学びは私の人生にとって有意義なものになっています。フランス語をはじめとして、そこで身に付けた事が日々の仕事に生かされているからです。現在は、駅係員として乗車券の販売や改札口での案内をとおり、お客さまの旅のお手伝いをしています。毎日数千人の方に利用していただいております。フランス語圏のお客さまもいます。特に印象に残っているのは、パスポートを車内で紛失し、困り果てていたスイス人のお客さまにフランス語で対応し、無事パスポートを届ける事ができた時です。この時は、フランス語学科で学んで本当によかったと実感しました。フランス語学科では、言語だけではなく、文化、社会、芸術等さまざまなことを学べます。特に、3年生からのゼミでは、少人数のため先生に質問がしやすく、同じゼミ生とも仲が深まり、充実した生活が送れます。

私は在学中に魅力を感じたフランスについて生涯学んでいくつもりです。皆さんもぜひフランス語学科で夢中になれることを探そう旅に出発してみましょう!

En route!



辻 沙織 さん  
JR九州サービス  
サポート株式会社  
[光陵高校卒]

私が日本でフランス語を学ぼうと思ったのは、いろいろな外国語に興味を持っているという理由でしたが、日本語以外の言語でフランス語を選んでよかったと思います。福岡大学のフランス語学科ではフランスの他に、ベルギー、カナダといったフランス語圏の文化の魅力を知ることができ、フランスに留学すること、さらに大学院に進むことを決めました。映画鑑賞などのイベントにも参加できて、学科でフランス語とフランス語圏の文化や文学などを学ぶことができ、充実した大学生活を過ごすことができました。交換留学の制度を利用してセルジー・ポントワーズ大学に留学することもできました。フランスの大学生と一緒に授業を受けたり、各国の留学生とフランス語の授業を受けたり、さまざまな人間と出会い、私の人生にとって重要な経験でした。勉学以外にも、フランスだけではなく、ドイツ、スペイン、イタリアなどの国に友人たちと旅行しました。留学のおかげで、今までとは違う世界に触れ、視野を広げ、自分にはまだ多くの可能性があると感じています。

現在、福岡大学大学院人文科学研究科仏語学仏文学専攻博士課程後期で、フランス語を対象とする言語学の研究をしています。フランス語学科で身に付けた知識と経験が生かされていると実感しました。大学院にも留学制度があるため、チャンスがあればぜひもう一度留学に行きたいと思っています。



宜桐 肖 さん  
福岡大学大学院  
人文科学研究科博士課程  
後期  
[長春外国語学校卒]

# 教員・研究の紹介

フランス語学科に所属している教員をご紹介します。

※2023年4月1日現在



小池 美穂 准教授

専門分野 フランス・ルネッサンスにおける文学、哲学、思想

16世紀フランスのある詩人が、「多くの食事でも、その中に美味しいと思える料理がいくつかあったならば、それはあなた自身で調理したものと同じ」と対話の中で書いています。ここでは、感覚的な美味しさではなく、「美味しい」と言えるのは、その味を知り、どのような材料を使っているのかを知っているからこそ言える「美味しさ」なのです。フランス語学科ではこのようにたくさんの「食事」をあなたの方に提供します。その中で自分自身で「美味しい」と思えるものを見つけてください。失敗を恐れずに、そのとき自分が良いと思ったことに突き進んでください。Bon appetit!!(たっぷり召し上がれ)



鈴木 隆美 教授

専門分野 19、20世紀フランス文学、思想  
(恋愛論、ジェンダー論、舞踏論、身体論)

フランス文化は、日本では絶対ありえないものに満ちています。笑っちゃうくらい洗練された料理やスイーツ、途方もない数の美味なワインから始まり、重々しい威厳を誇る宗教建築、スノッブ極まりない劇場、その中で繰り広げられる優雅で皮肉の効いた社交術やら、はたまた人の目を一切気にしていないかと思える、傲岸不遜な自分勝手ぶり等。そういったものを一つ一つ観察し、歴史的背景を調べ、日本文化との違いを考えるのは、なんと楽しい冒険であることか。そんな美食の国、芸術の国、個人主義の国フランスに触れる快楽、そして何よりもフランス人とフランス語で語り合うことの楽しさを少しでも共有できたら、と願っています。



エマニュエル・アンティエ 教授

専門分野 フランス語教育・外国語教授法・異文化間コミュニケーション

フランス語と日本語はかけ離れた言語です。外国語としてお互いの言語を学習する人にとっては、かけ離れているからこそ魅力的です。かけ離れた言語の世界を知ること、自分の視野を広げることもあり、自分自身を再発見することにもつながります。日本語を学習中の私も、毎日、その発見を楽しんでいます。私は、日本人にとってどうやったら効果的にフランス語を教えられるのかということに研究しています。これまで外国語学習は何となく苦手と思っていた人も、言語が変わることで、あるいは学習方法を変えることで、その楽しさに目覚めることでしよう。皆さんも、福岡大学のフランス語学科のメンバーと一緒に、言語間の旅に出掛けましょう。新しい自分に会えるはずですよ。



井関 麻帆 准教授

専門分野 18世紀フランス文学(特にルソー)

外国語を学ぶことは「発見」の連続です。フランス語を学習するさまざまな疑問が湧いてきますが、答えを探していく過程で新しい文化に出会うことができます。さらに視野を広げてみると、フランス語圏であって国や地域によって違いがあることに気付きます。例えば、フランスの国境を超えてスイスやベルギーに行く、フランス語特有の数の教え方にも変化が生じます。また、皆さんが日常的に使っている「カフェオレ」というフランス語も、地域によって表現が異なります。これらの差異の由来を探ると、各地の文化や歴史が深く関わっていることが分かります。フランス語の学習を通して、言葉に内包される文化的要素や歴史的背景を「発見」する喜びと面白さを覚えてもらえたら嬉しいです。



遠藤 文彦 教授

専門分野 19・20世紀フランス文学  
(フロアール、R・バルト、ロチ、M・デュラス、サガン)

「かっこいいけれどむずかしそう」というイメージが定着しているフランス語。確かに習い始めて2、3カ月は英語とのギャップで戸惑うこともありますが、その壁を超え、ラテン系の言語特有の仕組みが見えてくると、するすると頭と体に入ってくるのがフランス語です。その仕組みは、クリアで整然とした規則からなっていて、例外が少なく、いったん基本を身に付ければ一気にいろいろな文章が読め、つづり字を見ただけでどんな単語でも発音できるようになります。フランス文学を専門とする私としては、フランスは文学の宝庫であることを強調しておきたいと思えます。憧れの作品を原文で読めるようになることを目指して、4年間、フランス語の勉強に没頭しましょう!



辻部 大介 教授

専門分野 18世紀フランス文学(特に、モンテスキュー)

フランス語学科での学びを通して得られる多くのものの一つに、過去への関心があげられます。比較的近い過去である20世紀から、19世紀、17-18世紀、ルネッサンス、中世、さらにヨーロッパの源流である古代ギリシャ・ローマへと、時代を遡るほどに、当然ながらわれわれの考え方、感じ方との隔たりは大きくなりますが、にもかかわらず言葉という記号を解読する手続きを重ねるうちに、そうした過去が身近になり、かえって現代の方がわけの分からないことが多いと感じられてきたりもします。遠い時代に生きた人々が遺した言葉に理解をとどかせる喜びを、ぜひ味わってください。



川島 浩一郎 教授

専門分野 フランス語学・言語学

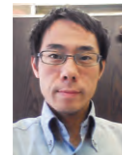
フランス語を公用語とする国は、40カ国ほどあります。フランス語を使って生活している人は、2億人を軽く超えています。フランス語をコミュニケーションツールとすることによって、世界が大きく広がることは間違いありません。英語を母語とする人の中にも、高校や大学の第一外国語としてフランス語を勉強している人は少なくありません。彼らと、英語ではなく、フランス語で会話するのも楽しく有益な経験になります。フランス語ができるということは、英語話者にとっても、ちょっとカッコいいことのように思います。



ヴァンサン・テクセラ 教授

専門分野 現代フランス文学(パティウ、ブランシヨ等)、詩

グローバル化(とりわけ経済の)にもかかわらず、各国はその固有の文化を守ろうとしています。ですから、よくある固定化されたイメージは別としても、ヨーロッパと日本、フランスと日本は、生活様式や考え方が今も大きく異なる別世界です。つまり、フランス語とフランス文化の知識は、世界の多様性を発見する手段でもあるのです。他者を見続けることもなく、遠くにある他の場所を見ることもなく、星を愛で続けることもなしに、一体どうやって人間としての一生を過ごすことができるでしょう。作家ヴィクトル・ユゴーが書いているように、人間とは「星に恋するミズミ」なのです。



山本 大地 教授

専門分野 フランス語学・言語学

新しい言語を学ぶとき、皆さんはどんな目標を立てるでしょうか。ネイティブのようになりたいと思う人は多いかもしれません。私はフランスに行って、色んな国の人に出会いました。中国人、スペイン人、モロッコ人、マダガスカル人……彼らはそれぞれ自分なりのフランス語を話し、流暢な人もいればたどたどしい人もいます。しかし、彼らには共通点がありました。それは「自分の国について語ることができる」ということでした。皆さんも大学4年間で、自分らしいフランス語を、そして日本に関する知識を身に付けてください。



青木 文夫 教授

専門分野 スペイン語・生成文法・フラメンコの詩

スペイン語を中心にロマンス諸語・英語・日本語などを生成文法の立場から研究しています。一番のテーマは統語論と語用論のインターフェイスで、談話での省略(主語や目的語他)の理論的説明を追及しています。あと、この20年くらいフラメンコの詩(カンテ・ホンドと呼びます)の研究をジプシー・イスラム文化のスペインへの影響という観点と、俳句との比較から研究しています。



古賀 健太郎 講師

専門分野 フランス語学・言語学(形態論・統語論)

フランス語を勉強していると、今まで見えなかったものが見えてきます。「街で見かけるフランス語のあの看板、実はこういう意味だったんだ」とか、「旅行番組で現地の人々の言っていることが実は字幕とちょっと違っていた」など、まわりの人たちは知らないことに気付いてしまうのです。いわばちょっとした特殊能力。もっと気付きを得たいと思い始めたあなたはもうフランス語の「沼」にはまっています(私もその1人です)。最初は名詞の性や動詞の活用など、学ぶのは簡単ではないでしょう。しかしある時、バラバラだった点と点が線になる瞬間が来ます。そうなればもうこっちのものです。「Il y a de y ってそういうことだったのか!」さて、これはどういうことでしょうか…謎解きと発見の旅を皆さんとできることを楽しみにしています。



村石 麻子 准教授

専門分野 20世紀フランス文学

小説家アルベール・カミュは、世の不条理に屈することなく作品を生み続けました。「創造すること、それはまた己の運命に形を与えることだ(Créer, c'est aussi donner une forme à son destin)」と言っています。大学時代ほど自由な時間はありません。今後皆さんの人生を切り拓いていくための創造力、皆さんの中に眠る創造力を呼び覚ますべく、学びも遊びも、地の糧を、「いま、ここ」を、存分に享受してください。「Le monde est beau, et hors de lui, point de salut(世界は美しい、そこにしか救いはないんだ)」。



# 東アジア地域言語学科

中国・韓国を中心に  
東アジア地域をとらえた学び。  
ボーダーレスに活躍できる  
人材を目指す。

中国や韓国をはじめ、アジアへの玄関口として発展を遂げた福岡。その福岡で、グローバルに活躍できるリーダーを育成することは本学の使命の一つであり、その一環として設置されたのが東アジア地域言語学科です。主に中国あるいは韓国の言語や文化、地域事情を学ぶ中国コースと韓国コース、いずれかに軸足を置きつつ、もう一方の科目も時間割の可能な範囲で自由に履修。東アジア地域をとらえた社会科学系の学びにも取り組み、さまざまな枠組みを超えて活躍し得る人材の育成を目指します。

## 取得可能な主な資格

- 中学校・高等学校 教諭一種免許 (中国語・朝鮮語)
- 日本語教員

福岡大学 人文学部 Webサイト >



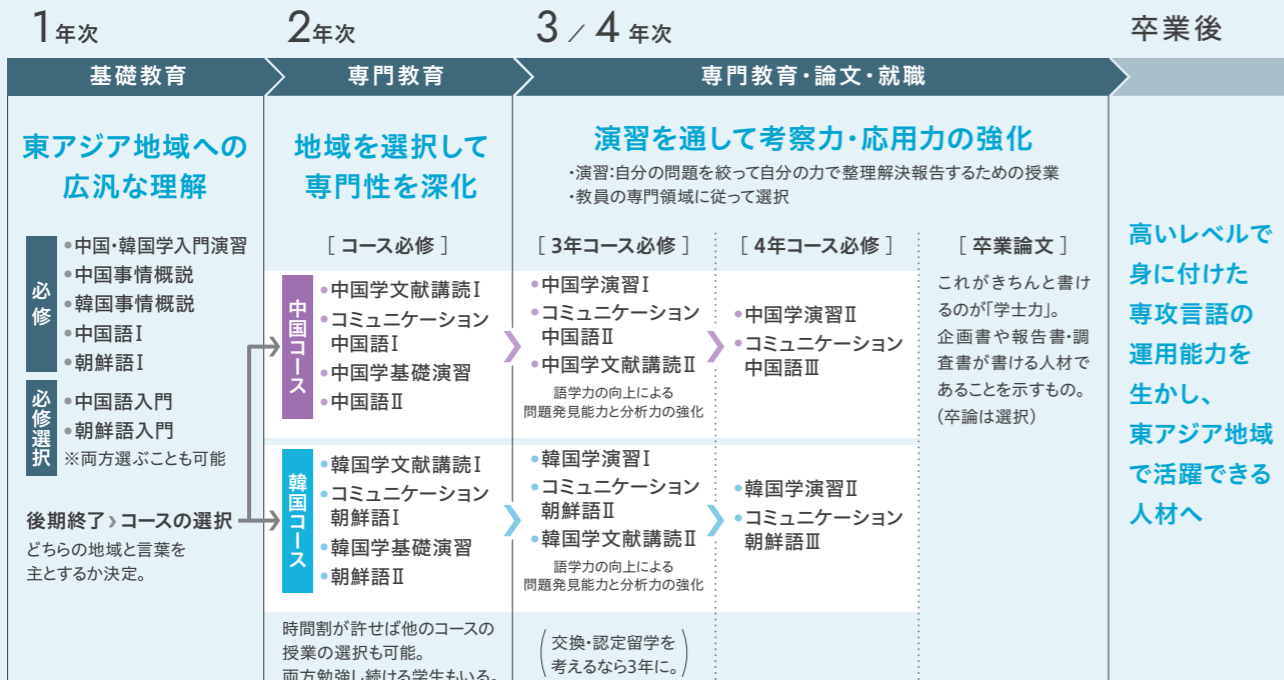
## 求める人材像 (求める能力)

<b>A</b> 知識・理解	高等学校の教育内容を幅広く学修しており、中国や韓国を学ぶに十分な基礎学力を有している人
<b>B</b> 技能	自らの視点で物事を考え説明することができる人
<b>C</b> 態度・志向性	東アジア地域で活躍する国際市民になることをめざし、その力を地域社会のために積極的に活用したいと考えている人
<b>D</b> その他の能力・資質	主体的な活動により、英語や中国語・朝鮮語等の検定に合格した人やスポーツ活動・競技会等で顕著な成績をおさめた人、または国際交流に積極的に参加した人

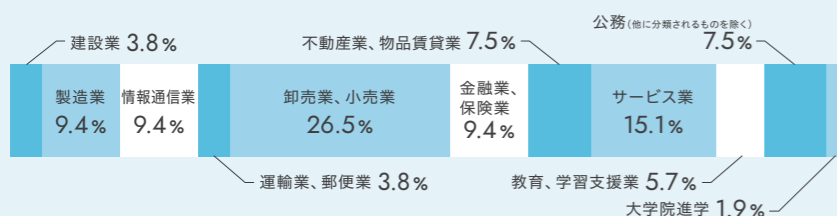
求める人材像  
(求める能力)  
の詳細は



## 東アジア地域言語学科での4年間



## 主な就職・進路先 (2022年度卒業生実績)



● 人文学部の主な就職先は **53ページ** >

## 在学生の声

中国語・韓国語の両方が学べる環境。  
継続力と広い視野が身に付き、成長を実感。

### Q1 この学科の魅力は？

社会的ニーズの高い中国語・韓国語の両方を学べる場所です。2年次からはどちらかを選択しますが、私はどちらの授業も並行して参加していました。かなり大変でしたが、好きで楽しかったから頑張れたのだと思います。また、言語だけでなく文化や歴史、政治など広い視点から東アジア地域を見ることができるのも魅力的です。留学プログラムも充実しています。

### Q2 好きな授業は？

「コミュニケーション中国語ⅠB」です。授業では中国のアニメーションを観て中国語を書き出し、自分で日本語に翻訳します。翻訳の作業はとて新鮮で楽しく、理解できたときの達成感は大きなやりがいにつながっています。言語を楽しみながら学び、友人や先生と共有することで新しい発見もあり、確実に自分の知識になっていることを実感できます。



中原 遥さん

人文学部 東アジア地域言語学科 3年次生  
熊本県 玉名女子高校出身

※2022年取材時の情報です。

## 時間割 [2年次後期]

	MON	TUE	WED	THU	FRI
9:00		日本語学概論Ⅱ	中国語表現法 B	コミュニケーション中国語ⅠB	
10:40		インターメディアイト・イングリッシュⅡ	朝鮮語Ⅱ B		中国語Ⅱ B
13:00		日本語史Ⅱ		韓国言語文化概説 B (言語)	中国語Ⅱ B
14:40		中国語Ⅱ B			中国言語文化概説 B (言語)
16:20	中国学文献講読Ⅰ B	中国学基礎演習 B		日本文学概論Ⅱ	朝鮮語Ⅱ B

その他カリキュラムの詳細は >



## 卒業生の声

将来のために「日本語教員課程」を履修。  
専門的な学びが仕事に直結した。

韓国で日本語教師として働いています。授業は全て韓国語で、ひらがな、単語、漢字、文法などを教える仕事です。

入学前から韓国で日本語教師になることを目標にしていた私にとって、韓国語に特化した専門的な学びができる点はもちろん、「日本語教員課程」を履修できる点がとても魅力的でした。

授業の中で、ニュースなどの難しい文章を翻訳する際に覚えた語彙や表現は、仕事で中・上級クラスの授業を受け持つときによく使います。「模擬授業」で学んだ授業の作り方や準備の仕方も、実践の場ですぐに役立ちました。

在学中はTOPIKや韓国語検定の資格を取得し

たこと、韓国語スピーチ大会に出たこと、留学生と授業を受けて交流したのもいい思い出です。



古場 真朱さん (2019年卒業)

韓国所在 日本語学院

※2022年取材時の情報です。

# 恵まれた多様な留学プログラム(交換・認定留学)

交換留学生制度	<p>[ 本学と交換留学制度のある関係大学 ]</p> <p><b>中国・台湾</b> 華東師範大学(上海) / 輔仁大学(台北) / 揚州大学(揚州) / 広州大学(広州) / 烟台大学(烟台) / 高雄大学(高雄) / 中央財経大学(北京)</p> <p><b>韓国</b> 蔚山大学校(ウルサン) / 釜山大学校(釜山) / 東義大学校(釜山) / 啓明大学校(大邱) / 高麗大学校(ソウル) / 東国大学校(慶州) / 慶北大学校(大邱) / 仁川大学校(仁川) / 東亜大学校(釜山) / 慶熙大学校(ソウル) / 釜慶大学校(釜山) / 培材大学校(大田) / 国民大学校(ソウル)</p> <p>[ 実績 ] 2018年度交換留学 … 29人(韓国25人、中国・台湾4人)</p> <p>留学費用は自費になりますが、1年間、海外の指定大学での留学を本学の1年間と見なし、そこの学習を単位化して卒業が遅れないように工夫した認定留学の制度があります。</p>
認定留学制度	
短期研修	韓国・蔚山大学校 夏期研修 / 中国・揚州大学 春期研修

## 韓国

**岡野 知奈美さん** (仁川大学校)

私は韓国に1年間留学しました。最初は期待よりも不安な気持ちが大きくて心配でしたが、実際に生活していくうちにそんな心配もなくなりました。あっという間に1年が過ぎ、とても有意義な留学生活となりました。留学を通して、目標であった語学力向上という目標を果たし、自分自身が成長することができました。また、たくさんの大切な友達ができ、困った時には親身に手伝ってくれたり、色々な場所に連れて行ってくれたり、とても良くしてくれたことが記憶に残っています。このような友達のおかげで、私の留学生活は楽しく、良い経験になりました。

**池松 雅史さん** (国民大学校)

国民大学校に留学をしました。実際に韓国で生活してみても、日本での生活とは違う点が多岐にわたる経験がすることができました。言語の面では最初は苦労しましたが、授業を受けるにあたって予習復習などをし、また友達をたくさん作ることで言語能力の向上に努めました。他の国の友達もたくさんできました。異国で生活する事で苦労することもありましたが、そこで自分でどのようにするかを考えることで、自分自身の成長にもなりました。初めて経験することばかりで、この留学を通して貴重な経験ができ、留学をして本当に良かったと思います。

**松本 萌乃さん** (慶熙大学校)

慶熙大学校には大学が管理する国際交流サークルがあり、韓国人のバディが必ず1人ついて生活の手助けをしてくれたので、困難なく過ごすことができました。サークルを通して韓国人はもちろん、世界中の留学生と仲良くなることができました。韓国人と交ざって授業はついていくのが大変で、1人で20分程度のプレゼン課題などもあり、何度も挫折しそうになりました。しかし、「やるしかない」という状況だったので必死に乗り越えて、とても貴重な経験になりました。慶熙大学校の周りは飲食店も多く、夜も人通りが多かったので住みやすかったです。

**塩村 若菜さん** (高麗大学校)

高麗大学校は留学生数も多く、韓国以外の国の友達も多くでき、さまざまな価値観や文化に触れることができました。レベルの高い大学での授業は予習復習、課題、発表に追われる毎日でも正直きつと感じる部分もありましたが、自分の発表がうまくいった時や自分の意見を韓国語で伝えることができた時の達成感が大きかったです。また、韓国の地方に行ったり、韓国人の友達の実家に遊びに行ったりと、留学ならではの経験もしました。今考えると、留学の時間は私の人生で一番充実していました。帰国してもこの経験で得たものを生かして、勉学に励みたいです。

**松永 佳太さん** (培材大学校)

私は培材大学校に留学をしました。私が行った培材大学校の期間は半年間だったのですが、半年間で多くのことを学ぶことができました。授業で韓国語を学び、サークルでは文化、習慣を学び、韓国人の友達と遊びに行くと、最近の流行りや流行語などを知れるなど、本当に多くのことを知り、体験することができました。半年間という、普通の1年留学と比べると短い期間の留学でしたが、親親大学の友達や先生方と共に、とても充実した大学生活を送ることができました。そのため、半年間という短い期間ではありましたが、留学をして良かったと心から思います。

**覆本 莉子さん** (啓明大学校)

現地で生活をして初めて気付くもの、日本と違う文化を学べました。より韓国に興味があり、韓国語がより好きになりました。初めは授業で教授が話している韓国語を理解するのに苦労し、毎日予習復習をしました。友達を作ろうと外国語サークルに入り、日本学科の教授と韓国人の友達とで、週に1回日韓交流会を企画したりしました。また、国際センターの活動で高校に「出前授業」をし、日本を紹介しました。夏休みには日本学科の演劇の日本語指導をし、ヨガを習い、旅行をしました。留学で得るものは言語・文化だけでなく、たくさんの出会いです。

**遠座 未来さん** (蔚山大学校)

私は韓国の蔚山大学校に約10カ月留学しました。初めは不安が大きかったのですが、蔚山市内見学や国際交流サークルなどもあり、楽しく過ごせました。留学向けの授業も多く開講されていました。語学堂もあるので十分に韓国語を勉強でき、さまざまな国の友達もできました。勉強も大変でしたが勉強をしつつ、休みの日には遊びに行くという充実した留学生活を過ごすことができました。旅行で行くとは違う留学生活で、視野も広くなりました。留学生活を生かし、これからも勉強していきたいです。

**磯江 菜月さん** (東亜大学校)

私は釜山にある東亜大学校へ交換留学生として派遣され、約10カ月間韓国で生活しました。朝昼は学校に行き授業を受け、授業後に友達とご飯を食べに行ったり遊んだり、充実した1日を送りました。授業は韓国語講座と、後期からは自分の興味のある授業を履修しました。韓国語での授業は自分にとって、簡単なものではありませんでした。しかし、一緒にグループになった人たちが分かりやすく説明してくれるので、苦になることはなく、とても楽しく授業を受けることができました。日本には経験できないこともたくさん行うことができました。

**藤 理奈さん** (東義大学校)

私は釜山にある東義大学校に交換留学に行きました。東義大学校は日本人の留学生が少ないので、その分名前をすぐ覚えてもらえたり、先生方が気にかけてサポートしてくれたりしました。また、韓国以外のさまざまな国の方とも交流することができました。語学堂では、一緒に勉強することで切磋琢磨しあい、徐々に意思疎通が取れるようになるのがうれしく、語学意欲がさらに強くなりました。大学の授業は発表や試験など大変でしたが、友達に助けってもらい乗り越えることができました。留学でしか出会えない縁や経験をすることができ、本当に有意義な10カ月となりました。

**増本 詩織さん** (釜慶大学校)

釜慶大学校は外国人留学生がたくさんいるということもあり、留学生へのサポートが充実していました。留学生をサポートしてくれる学生団体や毎学期行われる韓国文化体験、留学生用の授業もたくさんありました。留学生への環境が整っていたので不安なく充実した留学生活を送ることができ、私の人生の中で一番面白い年間を過ごすことができたと思います。また、この留学経験を通して自分の意見をきちんと伝えるようになり、以前よりも積極的な性格になりました。私にとって韓国留学は韓国語の上達だけではなく、性格的にも変わるきっかけになりました。

**古賀 梨華子さん** (釜山大学校)

私は3年次に釜山大学校に留学しました。釜山大学校の魅力は留学生向けの授業が多いことです。韓国人学生だけでなく、さまざまな国籍の人たちと授業を通して交流することができました。また、釜山について学ぶ授業もありました。釜山の歴史や文化を実際に跡地や観光地を巡って学んだり、グループで野外活動をして発表したりしました。授業以外では、PNUFという釜山大学生と交流するサークルと卓球サークルに所属し、学校外でもご飯を食べに行ったり、カラオケに行ったりしました。大学の周りは学生街なので、にぎやかなのも良かったです。

## 中国・台湾

**田口 祐希さん** (揚州大学)

私は留学する前年に、短期研修で揚州大学に来て揚州の環境や大学を気に入ったこと、揚州大学にHSK(中国語検定)対策を中心とした授業があるため、ここを選びました。前期は最初の3カ月間は中国語が聞き取れず、授業についていけず苦労しました。その後中国語が分かってくると、授業に積極的に参加できるようになり、遠足やスピーチ大会などのさまざまな行事を通して中国人、外国人留学生を問わず仲良くなることができました。私は人見知りをする性格でしたが、この留学を通して自分の価値観や考え方が変わったと感じています。

**太田 梨沙さん** (広州大学)

私が留学することを選んだのは、中国語を学びたいというだけでなく、弱い自分を変えたいと思ったからです。新しい環境とびこんで生活するのは、はじめは大変でした。だけど人は不思議なもので、ゆっくりですが慣れていきます。日本にいるときは思ひもなかったこと、留学してから気付いたことがたくさんありました。実際に留学するのは簡単なことではないと思いますが、現地でいろいろな経験をすることで、それが自分の自信へとつながっていくと思います。せっかくのチャンスなので、興味がある方はぜひ挑戦してみてください。

**増永 奈央さん** (輔仁大学)

台湾の輔仁大学の授業はグループ学習が多いため、台湾人の友達を作りやすいです。また、さまざまな国の留学生と中国語を学ぶ授業もあります。あるテーマを設定して討論をする機会が多くあり、私は最初、自分の意見を中国語で伝えることが苦手でした。しかし周りの留学生から刺激を受けて、負けたくないという思いで毎日勉強に励むうちに、相手を説得できる意見が言えるようになりました。このような環境で互いに高め合いながら授業に臨んだことを、うれしく思います。1年間はとても充実していて、留学に行って良かったと心から思います。

# 学科行事年間スケジュール

※近年のスケジュールを踏まえて作成してあります。状況に応じて、追加・変更があります。

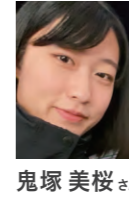
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 対面式</li> <li>■ 科目登録 / 前期開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ フレッシュアップセミナー(1年次生)</li> <li>■ 新入生と教員・在学生研修会</li> </ul>	
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 交換留学選考出願</li> </ul>		
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 特待生表彰式 / 保護者懇談会</li> </ul>		
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 前期終了 / 定期試験</li> </ul>		
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オープンキャンパス 教員と在学生による高校生向け学科案内</li> <li>■ 韓国・蔚山大学校研修(定員あり)</li> <li>■ 上海財経大学との交流会(オンライン)</li> </ul>		
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 後期開始</li> </ul>		
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 韓国・成均館大学校の黄鎬德教授講演会</li> <li>■ 第1回韓国・朝鮮学若手研究会</li> </ul>		
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第3回韓国・高麗大学校との学生交流会</li> <li>■ 韓国文学読書感想文コンテスト(表彰式・記念講演会・サイン会)</li> <li>■ 韓国の作家チョン・ユジョン氏記念講演</li> <li>■ コース分け決定(1年次生) 2年次から中国コースに進むか、韓国コースに進むかを決めます。</li> <li>■ ゼミ分け決定(2年次生)</li> </ul>		
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ キャリアアップセミナー(4年次生の報告)・先輩と語る</li> <li>■ 3年次生向けの就職支援セミナー。就活に向けて社会人や4年次生内定者からのアドバイスを聞きます。</li> <li>■ 卒業論文提出(4年次生)</li> </ul>		
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 後期終了 / 定期試験</li> <li>■ 卒論口頭発表会・口頭試問(卒論提出者4年次生)</li> <li>■ 韓国教員大学校とワークショップ</li> </ul>		
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 中国・揚州大学研修(定員あり)</li> </ul>		
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 卒業式</li> <li>■ 祝賀会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 科目履修説明会(2年次生)</li> <li>■ 合同ゼミ研修(2022年度は大分・熊本)</li> </ul>	

## 資格取得を目指して —なぜ語学教員を目指すのか?



溝田 碧子さん

私が教職課程を履修したのは、教員である両親の影響が大きいです。元々私はキャビンアテンダントとしてチャイナエアラインへの入社を目指していましたが、コロナウィルスの蔓延により、夢への先行きが怪しくなりました。自分が将来どのような人間になりたいのか再度考えた時に、私は自分にしかできないことをしたいと強く感じました。幼い頃から見てきた両親の仕事は常に忙しそうでしたが、楽しそうでもありました。教師という存在は生徒の中で一生残ります。教職課程を履修すると、他の学生よりも履修すべき科目は増えますが、他の学生に比べ知識も豊富になります。私は教職課程の授業を受けるたびに、楽しさや工夫の仕方、先生の努力を学びました。教師が足りない、忙しい、きついといったイメージで判断するのではなく、自分にとって「先生」とはどのような存在だったか思い返してみると、教員への尊敬や魅力を感じられるのではと思います。



鬼塚 美桜さん

私は将来、自営業でカフェと民泊を経営したいと考えています。そしてその傍ら、人に何かを教えることが好きなので、中国語教室を開きたいとも考えています。実際には中国語教室を行うにあたって教員免許は必要ありませんが、教員免許を持っているということは自分の大きな自信になると思いますし、なにより、教員免許を取得するために学ぶ多くの教授法や法律、また、何度も繰り返し行う模擬授業は必ず自分の糧になると考えています。大変だと思うことは、他の学生に比べて授業量やテストの量が圧倒的に多いこと、そして自分が毎回100%を出し切って作る授業でも必ず指摘が入るため、度々悔しい思いをすることです。ただ、その中でも新たな知識を身に付けることができたり、教職課程を履修しているからこそ他学部他学科の学生と交流できたりするため、本当に教職課程を履修してよかったと思っています。

# 教員・研究の紹介

東アジア地域言語学科に所属している教員をご紹介します。 ※2023年4月1日現在



あんどう じゅんこ  
安藤 純子 准教授

**専門分野**  
「日韓・日朝関係」

「木を見て森を見ず」とはならないように—私が学生時代、日韓・日朝関係を学ぶ際に、指導教員から言われたことです。現在、日韓・日朝の問題を考える時、感情的かつ問題の背景や将来の展望を考えずに判断する傾向があります。それでは問題の本質は見えません。日韓・日朝の問題に限らず、何事においても「森」全体を見ることを心掛けてみてください。それから、どんなモノでも構いませんので、大学在学中の4年間で何か打ち込めるモノを見つけてください。そして、卒業時には(少なくとも経済的に)自立できる人材になれるように努力してください。



おおさわ たけし  
大澤 武司 教授

**専門分野**  
「中国近現代史」「日中関係」

私は中国近現代史、中でも戦後日中関係を専門としています。中国が「大国化」する中、日本は中国と政治・経済・文化・安全保障など、さまざまな領域において「双贏」(ウィン・ウィン)の関係を築いていかなければなりません。そのためには相手と自分たちの間のこれまでの関係(歴史)を知ることが大前提となります。現在と将来の日中関係を客観的に分析する力をつけるため、歴史という視点から中国を学び、一緒に中国理解を深めていきましょう。



しゃ へい  
謝 平 准教授

**専門分野**  
「中国語学」「中国語教育学」  
「日中対照言語学」

大学時代は文学が好きでしたが、日本語を勉強し始めてから母語である中国語の特徴や仕組みについて深く研究しようと思うようになりました。今は現代中国語の語順について調べています。世界人口の5分の1もの人々が中国語を使っています。多くの方とコミュニケーションをとれるように、是非中国語を楽しみながら勉強しましょう。



まつざき まひろ  
松崎 真日 教授

**専門分野**  
「朝鮮語教育学」

学生時代に韓国を旅行したことが契機となり、朝鮮語の勉強を本格的に始めました。そして外国語は楽しみながら学ぶことが大切だと感じました。日本語と朝鮮語は語順は同じですが、やはり外国語ですから習得には時間も努力も必要です。朝鮮語学習をより効率的に、より楽しくする方法に関心を持っています。2013年2月までソウルと大邱で合わせて12年間暮らしていました。韓国社会の動向も含め、一緒に朝鮮語を学びましょう。



りゅう ちゅんひん  
柳 忠熙 准教授

**専門分野**  
「韓国・朝鮮文学・思想」

私の専門は韓国・朝鮮の文学と思想です。特に、近代東アジアにおける知識人と社会の変化を考えながら、韓国・朝鮮の知識人の思想と文化について研究しています。皆さんは大学で何を学びたいのでしょうか。皆さんの多くは、大学での生活を、就職など、将来を準備することとして想像しているかもしれませんが、大学は、皆さんの将来の準備をするところであると同時に、皆さんが人々と共に生きていく教養を学び、社会を見る自分なりの観点を育てるところでもあります。この文章を読んでいるあなた、東アジアの文化・歴史・言語という視点から世界を考える教養と観点を、一緒に学んで育ててみませんか。



いぶし けいこ  
伊伏 啓子 講師

**専門分野**  
「中国語学」「東西言語文化交流」

私の専門は中国語学です。特に、近代の中国語の語彙や語法の変化について、当時中国にやってきたキリスト教の宣教師や西洋で中国研究を行っていた中国学者の資料を用いて研究しています。大学時代に中国語と出会い、中国や台湾の留学生と友情を深めながら、楽しく学んできました。その後、思いがけず中国語を通して欧米にも広く繋がりを持つようになり、現在に至っております。失敗を重ねながら、中国語でコミュニケーションを取る楽しさをぜひ皆さんと一緒に味わいましょう。



おがた よしひろ  
緒方 義広 准教授

**専門分野**  
「日韓関係」「現代韓国社会」

現地に長く住み、韓国社会や日韓関係について身をもって学び、考えてきました。専攻は政治学ですが、韓国社会や日韓関係を考えるのにその歴史的・文化的背景を理解することの重要性を感じています。私にとって、大学時代の韓国留学は人生のターニングポイントになりました。日韓をめぐるさまざまな話題、問題について、皆さんと一緒に考え学ぶことはもちろん、大学での時間が、皆さんのこれからの重要な意味をなすよう応援していきます。



たむら かずひこ  
田村 和彦 教授

**専門分野**  
「中国研究」

中国の社会、文化を学んでいます。中国の社会、文化は、見方によってさまざまな像を結びますが、特に日本からみた際の差異と、人々の日常生活に関心を持っています。初めて中国大陸を訪れたのは、ちょうど大学2年次生の夏休みで、それ以来のお付き合いになりました。大学生の時代は、長いようでいて、あっという間に過ぎてゆきます。この短いけれども大切な時間に、隣国である中国への関心を深め、一緒に、そこで暮らす普通の人々の生活を学んでいきましょう。



いん すむい  
尹 秀美 准教授

**専門分野**  
「社会言語学」「日韓対照言語学」

大学で初めて日本語を学び、私が一番好きになった言葉は「どうぞ」です。依頼、祈願や承諾などいろいろな場面で使われますが、私は相手に何かを勧めたり、頼みごとを承諾したりする時の「どうぞ」が好きです。この「どうぞ」には、短い言葉で人を思いやる日本人の心が象徴的に表れているように見えます。大学の4年間、韓国や中国の好きな言葉と、その言葉に隠れているものをたくさん見つけてください。



## 多彩な学習 — これまでの実績

### 中国コースの実績

#### ■ 上海財経大学との交流活動

2019年9月には3泊4日の日程で1年次生から4年次生まで40人の学生が上海財経大学を訪れ、交流活動を行いました。現地では、学科の学生と教員が日本語字幕をつけた映画作品を上映し、中国人の学生たちと中国語や日本語を使って意見交換を行いました。また、小グループに分かれて上海の街を散策し、実際に中国語を使ってみるなど、大学での中国語学習の強い動機づけになる貴重な経験となりました。



#### ■ インターネットを利用したタンデム学習

2019~2022年度には広州大学外国語学院の協力をいただき、オンライン経由のタンデム学習プロジェクトを実施しました。タンデム学習とは、母語の異なる2人がペアになり、それぞれの言語や文化を互いに学び合う学習形態です。学生の中国語レベルに応じてコーディネーターがペアリングを行い、学生自身が学習計画(日程・内容・方法など)を相談しながら決めることで無理なく学習を進められます。新型コロナウイルスの感染拡大で海外渡航が難しい中、とても有効な中国語能力の向上の機会となりました。

〈例〉  
日本語話者と中国語話者のタンデム学習(1時間半の場合)

5-10分...	振り返り
35分...	それぞれの学習活動
35分...	例)中国語学習
35分...	例)日本語学習
5-10分...	次回の計画

### 韓国コースの実績

#### ■ 高麗大学校/培材大学校との交流会

高麗大学校/培材大学校の学生たちが来学し、交流会を行いました。日韓合同チームを作ったクイズ大会では、日本と韓国にまつわる出題にお互いが教え合い、協力して答えを導き出し、大いに盛り上がりました。学生による発表では、日頃学んできた語学力を生かし、韓国語による質疑応答も行われました。行事終了後には、食事会やキャンパス・市内の案内を通じて更に交流を深めました。



培材大学校との交流会:2017年

#### ■ 福大韓国学シリーズ(講演会)

2018年より福大韓国学シリーズの一環として学生や一般人向けの講演会を行っています。講演会では、日本国内そして韓国の専門家をお招きし、授業ではあまり接することができない、韓国そして日韓関係に関わる話を聞くことができます。これまでの講演テーマは、韓国の文学と言語空間、現代韓国の民主主義、現在の日韓関係、在日コリアンの問題などについてのものです。



第2回福大韓国学シリーズ(講演会)の様子

※東アジア地域言語学科について、詳しくは、ウェブサイトをご覧ください。



# 各種課程教育情報

博物館学芸員、社会教育主事、日本語教員、教職の4課程を開設。  
将来の可能性を大きく広げる資格・免許の取得と同時に、  
それぞれの実践のスキルを身に付けていきます。

人文学部では博物館学芸員課程、社会教育主事課程、日本語教員課程、教職課程の4課程を開設し、学生の資格・免許の取得を積極的に支援しています。これらの資格・免許は実務に直結しており、各職に就くことを目指す学生が毎年、数多く履修します。  
また、これらの資格・免許の取得に必要な単位は、基本的に各学科の卒業要件単位とは別に修得するため、履修する学生たちには高い意欲が求められ、その切磋琢磨も有意義といえるでしょう。

## 博物館学芸員課程

人文学部 文化学科および歴史学科

学芸員は、博物館(美術館・歴史資料館など)において、資料の収集や保管、調査研究、展示などを専門に行います。人文学部では、文化学科と歴史学科に学芸員を養成する課程を設けています。学芸員の資格を取得するためには各学科の卒業に要する単位の他に、博物館に関する科目の規定単位を修得する必要があります。

## 博物館に関する科目 ※2023年度入学生適用

[必修科目]	[選択科目]	[必修科目]
● 博物館概論 ● 博物館経営論 ● 博物館資料論 ● 博物館資料保存論 ● 博物館展示論 ● 博物館情報・メディア論 ● 博物館教育論 ● 生涯学習概論A ● 博物館実習 I・II	● 歴史学資料論A・B ● 日本の文化と歴史A・B・C・D ● 西洋の文化と歴史A・B・C・D ● 東洋の文化と歴史A・B・C・D ● 日本美術史 ● 日本美術論 ● 西洋美術史 ● 西洋美術論 ● 考古学概説A・B	● 考古学方法論A・B(含、実習) ● 考古学特講A・B・C・D ● 文化財学概論A・B ● 文化人類学特講 ● 社会人類学 ● 文化地理学 ● 都市地理学 ● 民俗文化論

## 社会教育主事課程

人文学部 文化学科および教育・臨床心理学科

社会教育主事とは、都道府県および市町村の教育委員会に置かれる社会教育の専門的教育職員です。この社会教育主事課程では、学校教育以外で行われる青少年教育、成人教育、高齢者教育などの社会教育を行う人たちへ、専門的かつ技術的な助言と指導を与える専門職員の育成を目的としています。人文学部では、文化学科と教育・臨床心理学科にこの課程を設けています。本課程の修了者は「社会教育士(養成課程)」と称することができます。なお、社会教育主事の資格を取得するには、社会教育に関する科目の規定単位を修得した後、さらに1年以上の社会教育主事補の業務経験が必要です。

## 社会教育に関する科目 ※2023年度入学生適用

[必修科目]	[選択科目]	[必修科目]
● 生涯学習概論A・B ● 生涯学習支援論A・B ● 社会教育経営論A・B ● 社会教育演習A・B ● 社会教育実習	● 生涯スポーツ論 ● 生涯スポーツ実習 ● 博物館情報・メディア論 ● 社会調査実習 ● マス・コミュニケーション論 ● 教育の原理・課程論 ● 教育心理学 ● 道德教育論 ● 日本美術史 ● 日本美術論 ● 西洋美術史 ● 西洋美術論	● 社会福祉論 ● 労働と法制度 ● 地域教育デザイン論 ● 教育学概論 I・II ● 教育人間学 ● 人間形成論 ● キャリア教育論 ● 発達心理学 ● 福祉心理学 ● 教育思想論 ● 教育社会学

## 日本語教員課程

人文学部

国際化が進出し世界各国の日本への関心が高まる中、わが国では日本の伝統的文化と日本語の本質・特色を理解した上で、外国人に日本語を教育する人材がますます求められるようになってきました。この社会的要請に応えるため、本学では、人文学部に日本語教員として適格な人材を養成する日本語教員課程を設けています。この課程を履修し、必要な単位を修得した者には、本学所定の修了証が授与されます。

## 日本語教員に関する科目 ※2023年度入学生適用

[必修科目]	[選択科目]	[必修科目]
● 日本語学概論 I・II ● 日本語史 I・II ● 日本語教育法 I・II・III・IV ● 日本語教授法演習 I・II	● 日本語学特講 Ia・Ib・IIa・IIb・IIIa・IIIb・IVa・IVb・Va・Vb・VIa・VIb ● 日本文学概論 I・II ● 日本文学史 I・II ● 日本の文化と歴史A・B・C・D ● 言語学概論A・B	● 英語学概論A・B ● ドイツ語学概論A・B ● フランス語学概論A・B ● 中国言語文化概説B(言語) ● 韓国言語文化概説B(言語) ● 社会言語学特講 ● 心理言語学特講

## 教職課程

中学・高等学校の教員を志望する学生のために、本学では教職課程を設けています。各学科の卒業に要する単位の他に、教員免許状の取得に必要な教職課程科目の単位を修得することが必要です。  
人文学部および大学院研究科で取得できる教員免許状は英語・ドイツ語・フランス語・中国語・朝鮮語の外国語の他、社会・地理歴史・公民・国語があります。また、小学校教諭免許状取得プログラム(※)に参加することにより、小学校教諭一種免許状の取得に必要な単位を在学中に修得することも可能です。

※教職課程受講料以外に費用が別途必要。

## 教職課程開講科目 ※2023年度入学生適用

● 教職概論 ● 教育制度論 ● 教育行政学 ● 教育法規 ● 教育心理学 ● 特別支援教育論 ● 道德教育論 ● 総合的な学習の時間と特別活動の指導法 ● 教育方法とICTの活用 ● 生徒指導論(進路指導を含む。) ● 教育相談	● 教育実習事前・事後指導 ● 教育実習 I ● 教育実習 II ● 養護実習事前・事後指導 ● 養護実習 ● 教職実践演習 ● 生涯学習概論A ● 生涯学習概論B ● 人権教育 ● 教育福祉論 ● 教科教育法 他
---	---

## 取得できる教員免許状の種類と教科

[学部]	2023年度入学生適用				[大学院]	2023年度入学生適用			
学 科	免許状の種類および教科			その他の免許状	専 攻	免許状の種類および教科			その他の免許状
	中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状	その他の免許状			中学校教諭専修免許状	高等学校教諭専修免許状	その他の免許状	
文化学科	社会	地理歴史・公民			史学	社会	地理歴史		
歴史学科					日本語日本文学	国語	国語		
日本語日本文学科	国語	国語			英語学英米文学	外国語(英語)	外国語(英語)		
教育・臨床心理学科	社会	公民			独語学独文学	外国語(ドイツ語)	外国語(ドイツ語)		-
英語学科	外国語(英語)	外国語(英語)			仏語学仏文学	外国語(フランス語)	外国語(フランス語)		
ドイツ語学科	外国語(ドイツ語)	外国語(ドイツ語)			社会・文化論	社会	公民		
フランス語学科	外国語(フランス語)	外国語(フランス語)			教育・臨床心理				
東アジア地域言語学科	中国コース	外国語(中国語)	外国語(中国語)						
	韓国コース	外国語(朝鮮語)	外国語(朝鮮語)						

## 人文学部の 主な就職先 (2020年度～2022年度)

建設業 ● 大和ハウス工業(株)	● (株)ソラントエア ● ANAエアポートサービス(株)	● 大和リゾート(株) ● スターバックスコーヒージャパン(株)	● 日本郵便(株)
製造業 ● アイリスオーヤマ(株) ● タカラスタンダード(株) ● 凸版印刷(株) ● シャボン玉石けん(株) ● (株)ツムラ ● (株)ディスコ	卸売業、小売業 ● ヤマエ久野(株) ● (株)あらた ● 三愛食品(株) ● (株)ローソン ● イオン九州(株)	生活関連サービス業、娯楽業 ● アイ・ケイ・ケイ(株) ● (株)JTb	サービス業(他に分類されないもの) ● 羽田空港サービス(株)
電気・ガス・熱供給・水道業 ● 九州電力(株)	金融業、保険業 ● (株)西日本シティ銀行 ● (株)福岡銀行 ● 野村證券(株) ● 日本生命保険相互会社 ● 楽天カード(株)	教育、学習支援業 ● 福岡県教員(小学校) ● 佐賀県教員(小学校) ● 熊本県教員(中学校) ● 福岡市教員(中学校) ● 福岡県教員(高校) ● (株)ECC	公務(他に分類されるものを除く) ● 国家公務員一般職 ● 法務省専門職員(人間科学) ● 航空管制官 ● 東京都庁 ● 福岡県庁 ● 福岡市役所 ● 福岡県警察本部
情報通信業 ● 西部ガス情報システム(株) ● (株)ゼンリン ● ソフトバンク(株) ● 楽天グループ(株)	不動産業、物品賃貸業 ● 三井住友トラスト不動産(株)	医療、福祉 ● 独立行政法人国立病院機構 ● 日本赤十字社福岡県支部 ● 日本年金機構	など
運輸業、郵便業 ● 日本通運(株)	宿泊業、飲食サービス業 ● Jf九州ホテルズ(株)	複合サービス事業 ● 全国農業協同組合連合会	